

本調査研究は、(財)日本船舶振興会
の補助金を受けて実施したものです

家屋評価に関する調査研究

——潮風の被害による家屋の損耗
の状況に関する調査研究——

平成 4 年 3 月

財団法人 資産評価システム研究センター

は し が き

財団法人 資産評価システム研究センターは、適切な地域政策の樹立に資するため、地域の資産の状況及びその評価の方法に関する調査研究等の事業を実施することを目的として設立されました。

当評価センターにおける調査研究は、資産評価の基礎理論及び地方公共団体等における資産評価技法の両面にわたって、毎年度、学識経験者及び自治省並びに地方公共団体等の関係者をもって構成する資産評価システム、土地、家屋及び償却資産の各部門ごとの研究委員会において行われ、その成果は、会員である地方公共団体及び関係団体等に配布し、活用されているところであります。

家屋研究委員会においては、本年度の調査研究のテーマとして ①木造家屋に係る経年減点補正率に関する調査研究 ②潮風の被害による家屋の損耗の状況に関する調査研究 ③プレハブ方式建物（木質系）等に係る再建築費等に関する調査研究の3項目といたしましたが、本書は、上記②の調査研究に属するもので、台風常襲地域の沿岸から5 km以内に所在する住宅用家屋の潮風被害による損耗の現況について調査研究を行いました。

この程、その調査研究の成果をとりまとめ、ここに、公表する運びとなりましたが、この機会に、熱心にご研究、ご審議をいただきました委員及び専門委員並びに実地調査に当り、種々ご協力を賜りました地方公共団体の関係者各位に対し、心から感謝申し上げます。

なお、当評価センターは、今後とも、所期の目的にそって、事業内容の充実及び地方公共団体等に役に立つ調査研究に努力をいたす所存でありますので、地方公共団体をはじめ関係団体の皆様のなお一層のご指導、ご援助をお願い申し上げます。

最後に、この調査研究事業は、(財)日本船舶振興会の補助金の交付を受けて実施したものであり、改めて深く感謝の意を表すものであります。

平成4年3月

財団法人 資産評価システム研究センター
理事長 大橋 茂二郎

研究組織

家屋研究委員会

委員長	松下清夫	東京大学名誉教授
委員	加藤裕久	小山工業高等専門学校教授
"	宍道恒信	宍道建築設計事務所長
"	上杉啓	東洋大学教授
"	吉田倬郎	工学院大学教授
"	小松幸夫	横浜国立大学助教授
"	黒田隆	(財)建築物価調査会技術顧問
"	斎藤順男	清水地所(株)技術部長
"	久保富治	(株)大林組 建築生産本部設備工事部工事課長
"	神田良七	安田生命相互会社 参与
"	林省吾	自治省府県税課長
"	堤新二郎	自治省固定資産税課長
"	柿崎暹	自治省固定資産税課固定資産鑑定官
"	池口篤寿	(財)資産評価システム研究センター調査研究部長
専門員	高橋純一	小山工業高等専門学校助教授
"	上村敏之	自治省固定資産税課家屋第一係長(兼)家屋第二係長
"	井上茂	(財)資産評価システム研究センター主任研究員

なお、池口篤寿委員は、川崎委員が途中辞任されたことに伴い、後任として委嘱された。

目 次

I	調査研究の目的等	1
1	目 的	1
2	調査方法	1
(1)	意 義	1
(2)	調査対象団体	2
(3)	調査対象家屋	2
(4)	調査項目	2
(5)	調査方法	3
3	調査結果の集計	3
(1)	取りまとめ方	3
(2)	凡 例	4
II	調査結果の概要	4
1	調査対象団体に関する調査事項	4
(1)	調査対象団体数	4
(2)	季節風	4
ア	季節風の吹く期間	5
イ	季節風の風速	5
(3)	台風上陸による被害の状況	5
(4)	自動車等の交換サイクル	6
ア	自動車	6
イ	ガードレール等	6
2	調査対象建物の概要に関する調査事項	6
(1)	回答状況	6
(2)	床面積	7
(3)	階層数	7
(4)	建築後経過年数	8

(5) 固定資産評価における損耗減点補正率の適用	8
(6) 防風林等の有無	8
(7) 季節風による波しぶきの状況	9
(8) 建築以降の補修、交換等の工事	9
3 各部分別損傷の状況	10
(1) 屋 根	10
ア 棟	10
イ 屋根面	12
ウ 軒	14
(2) 基 礎	16
(3) 外 壁	18
ア 上部	18
イ 中間部	20
ウ 下部	22
エ 窓回り	24
オ 出入口回り	25
(4) 外部建具	27
ア 窓	27
イ 出入口	29
ウ 雨戸	30
エ 網入りガラス	32
(5) その他	34
ア 軒樋	34
イ たて樋	36
ウ 戸袋	38
エ 台所換気扇フード	40
オ 床下換気口金物	42
カ 屋外設置設備機器	43
キ その他	46

Ⅲ	まとめ	48
Ⅳ	計数資料	
1	各部分別被害の損傷一覧	49
2	建物の補修、交換等工事の概要一覧	79
3	調査実施団体の季節風等の状況一覧	81

I 調査研究の目的等

1 目的

固定資産税における家屋の評価においては、再建築価格方式により家屋の評価が行われ、建築後の時の経過によって通常生じる減価分を考慮するために経年減点補正率を用いることが固定資産評価基準に定められているところである。

なお、木造家屋が積雪又は寒冷の影響により、通常以上の損耗が見られる多雪地域及び寒冷地域においては、特別の損耗を考慮するために経年減点補正率を更に減価して適用する積雪寒冷補正率が定められている。

しかし、家屋によっては、種々の状況により、一律に経年減点補正率によりその減価分を求めることが適当でないと思われる場合があり、このようなときには損耗減点補正率を用いることとされている。

ここで、適当でないと思われる場合の一例として、現行の固定資産評価基準の取扱いでは、沿岸から5 km程度までの地域に所在し、台風又は潮風の被害を受けた家屋について適用する場合が想定されているものであるが、これは、地域指定により市町村に在する全家屋を対象とするものではなく、個々の家屋の状況を判断してそれぞれに損耗減点補正率を適用するか否かを決定することとされているものである。

このことから、本調査研究では、家屋の潮風被害による損耗について地域指定により損耗を考慮することの可能性について検討するため、一般的に台風の常襲地帯とされている地域から調査団体を選定し、また、調査対象家屋には主として住宅用家屋の潮風の被害による現況について、沿岸から5 kmのうち沿岸に近い2 km未満の場所に所在する家屋と2 km以上の場所に所在する家屋との実態を把握し、比較・検討する等の調査研究を行うこととした。

2 調査方法

(1) 意義

この調査は、家屋の潮風による被害の状況について検討するに当たり、対象地域を四国及び九州地区に設定し、沿岸から5 km以内に所在する木造家屋（住宅用）及び非木造家屋（一部の建物を除く。）を、調査対象団体毎に18棟を抽出し、

その状況を把握しようとしたものである。

(2) 調査対象団体

四国及び九州地区各県において、次の団体を選定する。

- ① 沿岸部を有し、特に塩害の見られる市（指定市（県庁所在市）を含む。）
- ② 離島を有する県においては、①の他に、それぞれの離島毎に代表的で特に塩害の見られる市（該当市がない場合は町）

ただし、離島のうち、奄美諸島にあっては関係全市町村

(3) 調査対象家屋

① 構造・用途等

沿岸から5 km以内に所在する住宅用木造家屋並びに非木造家屋のうち鉄筋コンクリート造及び鉄骨造の工場・倉庫用建物を除く500㎡未満の建物

② 建築年次

建築後1～5年、6～10年及び11年以上の3区分

③ 選定棟数

②の区分に従い、沿岸から2 km未満及び2 km以上5 km未満の別に木造にあっては各1棟、非木造にあっては各2棟の全18棟を抽出（なお、沿岸から2 km未満の建物を抽出するに当たっては、より沿岸に近いものを抽出するものであること。）

(4) 調査項目

① 調査対象団体に関する調査事項

- ア 季節風
- イ 台風上陸による被害の状況
- ウ 自動車等の交換サイクル

② 調査対象家屋の概要

- ア 回答状況
- イ 床面積
- ウ 階層数
- エ 建築後経過年数
- オ 固定資産評価における損耗減点補正率の適用

- カ 沿岸からの距離
- キ 季節風による波しぶきの状況
- ク 建築以降の補修、交換等の状況

③ 各部分別損傷の状況

- ア 屋根
- イ 基礎
- ウ 外壁
- エ 外部建具
- オ その他

(5) 調査方法

- ① 調査対象団体に対するアンケート調査
- ② アンケート調査に基づく当センター家屋研究委員会委員による実地調査（調査実施団体：徳島県小松島市、愛媛県八幡浜市、福岡県福岡市、熊本県熊本市及び本渡市、宮崎県日向市 以上6市）

3 調査結果の集計

(1) 取りまとめ方

この研究成果は、調査対象団体に対するアンケート調査に基づいて、当センターの家屋研究委員会の委員が、適宜実地調査を行い、さらに報告された各データについて精査、調整のうえ、整理集計するとともに若干の分析を加えて取りまとめたものである。

なお、調査対象家屋に係る沿岸からの距離については、直接、調査項目には入っていなかったが、調査団体毎に全家屋の位置を記した管内図の添付について依頼したことから、この管内図を基に距離を測定した結果、表1のとおりであった。

表1 距離別棟数の状況 (単位：棟、%)

区 分	全 構 造	うち 木 造	うち 非木造
0.0~0.2km	222(46)	73(46)	149(46)
0.3~0.5km	44(9)	15(9)	29(9)
0.6~0.9km	21(4)	8(5)	13(4)
1.0~1.9km	36(8)	11(7)	25(8)
2.0~2.9km	72(15)	26(16)	46(14)
3.0~5.0km	88(18)	27(17)	61(19)
台 計	483(100)	160(100)	323(100)

(注)距離の区分は、0.1kmを単位として固定し、分類した。

(2) 凡 例

収録事項の主な用語の定義等は次のとおりである。

- ・防風林 森林法（昭和26年法律第249号）第25条第1項第5号の規定に基づき防風林及び個人が家屋への塩害を防止する目的で植林した狭長な林帯を含む。
- ・季節風 一般的に、広域にわたりその季節に高い頻度で吹く風をいう。

II 調査結果の概要

1 調査対象団体に関する調査事項

(1) 調査対象団体数

調査対象団体は、四国及び九州地区の各県が選定した結果、次の18市13町3村の計34市町村となった。

徳島県小松島市	宮崎県日向市	鹿児島県徳之島町
香川県高松市	鹿児島県阿久根市	鹿児島県天城町
愛媛県八幡浜市	鹿児島県西之表市	鹿児島県伊仙町
高知県高知市	鹿児島県上屋久町	鹿児島県和泊町
高知県宿毛市	鹿児島県名瀬市	鹿児島県知名町
福岡県福岡市	鹿児島県大和村	鹿児島県与論町
佐賀県唐津市	鹿児島県宇検村	沖縄県那覇市
長崎県福江市	鹿児島県瀬戸内町	沖縄県平良市
長崎県西彼町	鹿児島県住用村	沖縄県石垣市
熊本県熊本市	鹿児島県龍郷町	沖縄県竹富町
熊本県本渡市	鹿児島県笠利町	
大分県大分市	鹿児島県喜界町	

(2) 季節風

潮風の影響を受ける要因として、季節風による波しぶきが家屋にかかり、よりその影響が顕著に現れるということが考えられる。

ア 季節風の吹く期間

季節風の吹く期間については表2のとおりであるが、6月から9月までに吹くとした団体は2団体で、その方位は東南の方向としており、10月から3月までに吹くとした団体は31団体で、そのほとんどが北西の方向としている。

表2 季節風の吹く期間

期 間	団 体 数	構 成 比
6～9月	2	6
10～3月	31	91
そ の 他	1	3
計	34団体	100%

イ 季節風の風速

季節風の風速については、表3のとおりである。

表3 季節風の風速

風 速	団 体 数	構 成 比
約1～5m/sec	13	38
約6～10m/sec	9	27
約11m/sec以上	11	32
不 明	1	3
計	34団体	100%

(3) 台風上陸による被害の状況

家屋への被害の要因として、潮風の他に台風による被害も十分に考えられることから、最近5年間に発生した被害状況を調べたところ、表4のとおり2団体を除く他の団体においては、家屋に何らかの被害が発生していることがわかった。

表4 台風上陸による被害状況

被害の程度	団 体 数	構 成 比
家屋等建物被害等	32	94
農業被害のみ	1	3
被害なし	1	3
計	34団体	100%

(4) 自動車等の交換サイクル

家屋の潮風による被害が見られる地域において、自動車等の交換サイクルについて参考とするため調査した結果は次のとおりである。

ア 自動車

自動車について、調査対象団体で使用される公用車の交換サイクル及び普通乗用車の一般的な買い換えの時期は表5のとおりである。

表5 自動車の交換サイクル

区分	公用車		普通乗用車	
	団体数	構成比	団体数	構成比
5年未満	1	3	1	3
5～7年	20	59	20	59
8～9年	5	15	8	23
10年以上	8	23	5	15
計	34団体	100%	34団体	100%

イ ガードレール等

ガードレール及び道路標識についての交換サイクルは表6のとおりである。

表6 ガードレール等の交換サイクル

区分	ガードレール		道路標識	
	団体数	構成比	団体数	構成比
10年未満	9	26	13	38
10～14年	10	29	9	26
15～19年	7	21	4	12
20年以上	4	12	3	9
不明	4	12	5	15
計	34団体	100%	34団体	100%

2 調査対象建物の概要に関する調査事項

(1) 回答状況

各調査対象団体における構造・用途別及び一定の条件に該当する家屋のうち、全団体からそれぞれ18棟分、合計で612棟分の回答を予定していたが、最終的には483棟分の回答が得られ、回答率は予定数の79%となった。

また、回答のあった全家屋の構造・用途別棟数は表7のとおり、木造160棟、非木造323棟の計483棟である。このうち、木造家屋にあってはその全棟が専用住宅であり、また、非木造家屋にあっては231棟が専用住宅となっている。

表7 構造・用途別棟数

区 分	棟 数	構成比
木 造 家 屋	1 6 0	33
非 木 造 家 屋	3 2 3	67
計	4 8 3 棟	100%

(2) 床面積

延べ床面積については、平均で木造113.64㎡、非木造162.75㎡であり、全構造で146.48㎡である。

また、建床面積については、平均で木造92.73㎡、非木造99.00㎡であり、全構造で96.92㎡である。なお、建床面積別棟数については表8のとおりである。

表8 建床面積別棟数 (単位：棟、%)

区 分	木 造	非 木 造	全 構 造
100㎡未満	1 0 8 (68)	1 8 9 (59)	2 9 7 (62)
100~200㎡	5 0 (31)	1 2 0 (37)	1 7 0 (35)
200㎡以上	2 (1)	1 4 (4)	1 6 (3)
計	1 6 0 (100)	3 2 3 (100)	4 8 3 (100)

(3) 階層数

階層数毎の棟数は、表9のとおりである。

表9 階層数別棟数 (単位：棟、%)

区 分	木 造	非 木 造	全 構 造
1 階 建	8 4 (53)	8 2 (26)	1 6 6 (34)
2 階 建	7 6 (47)	1 9 8 (61)	2 7 4 (57)
3階建以上	0 (-)	4 3 (13)	4 3 (9)
計	1 6 0 (100)	3 2 3 (100)	4 8 3 (100)

(4) 建築後経過年数

建物を抽出する際の区分となった建築後の経過年数別による棟数は表10のとおりである。

表10 建築後の経過年数別棟数 (単位:棟、%)

区 分	木 造	非木造	全 構 造
1～5年	52 (33)	104 (32)	156 (32)
6～10年	53 (33)	111 (34)	164 (34)
11年以上	55 (34)	108 (34)	163 (34)
計	160 (100)	323 (100)	483 (100)

(5) 固定資産評価における損耗減点補正率の適用

現行の固定資産評価基準の取扱においては、台風又は潮風の被害により家屋に損耗が見られ、必要がある場合は損耗減点補正率を適用し、その被害を考慮することができるとされているが、今回の調査で潮風による被害が見られたすべての家屋において損耗減点補正率の適用はなかった。

(6) 防風林等の有無

潮風による被害を抑えるために設置される防風林(又は防風塀)の設置状況については表11のとおりであり、全体で65棟(うち、防風林と防風塀を併設している家屋 2棟)の家屋において設置されていた。また、これらの家屋について、各部分別に被害の状況を見ると、屋根で何らかの被害が見られた家屋が28棟で全体の43%(沿岸から2km以内では25棟)、同じく基礎では5棟で全体の8%(同5棟)、外壁では27棟で全体の42%(同21棟)、外部建具では22棟で34%(同15棟)、その他の外周部では29棟で全体の65%(同26棟)となった。

このことから、防風林等について詳細な状況は把握していないものの、全般に設置しているものの半数程度は、その効果が現れているものと考えられる。

表11 防風林等の有無別棟数 (単位:棟、%)

区 分		2 km未満	2 km以上	合 計
防 風 林	あ り	24 (7)	8 (5)	32 (7)
	な し	299 (93)	152 (95)	451 (93)
	計	323 (100)	160 (100)	483 (100)
防 風 塀	あ り	27 (8)	8 (5)	35 (7)
	な し	296 (92)	152 (95)	448 (93)
	計	323 (100)	160 (100)	483 (100)

(7) 季節風による波しぶきの状況

時期によっては、季節風が吹くことにより直接波しぶきが家屋にかかり、被害が進行することも考えられるが、調査対象家屋についての波しぶきの状況は表12のとおりである。

表12 季節風による波しぶきの状況 (単位：棟、%)

区 分	2 km未満	2 km以上	合 計
波がかかる	84 (26)	0 (-)	84 (17)
波がときどきかかる	107 (33)	14 (9)	121 (25)
波がかからない	132 (41)	146 (91)	278 (58)
計	323 (100)	160 (100)	483 (100)

(8) 建築以降の補修、交換等の工事

建築以降、現在までに補修、交換等の工事が行われた家屋のうち、屋根、外壁、外部建具及びその他の部分別の棟数は表13のとおりである（工事内容の詳細については、計数資料83頁参照）。

表13 各部分別の補修、交換等の工事棟数

(単位：棟、%)

区 分	屋 根 A	外 壁 B	外部建具 C	その他 D	合 計 E	A/E	B/E	C/E	D/E	
木造	30 (19)	27 (17)	19 (12)	11 (7)	87 (100)	34	31	22	13	
	うち2 km未満	21 (13)	22 (14)	12 (8)	9 (6)	64 (74)	33	34	19	14
	2 km以上	9 (6)	5 (3)	7 (4)	2 (1)	23 (26)	39	22	30	9
非木造	23 (7)	46 (14)	27 (8)	39 (12)	135 (100)	17	34	20	29	
	うち2 km未満	18 (6)	36 (11)	22 (7)	31 (10)	107 (79)	17	34	20	29
	2 km以上	5 (2)	10 (3)	5 (2)	8 (2)	28 (21)	18	36	18	28
合 計	53 (11)	73 (15)	46 (10)	50 (10)	222 (100)	24	33	21	22	
	うち2 km未満	39 (8)	58 (12)	34 (7)	40 (8)	171 (77)	23	34	20	23
	2 km以上	14 (3)	15 (3)	12 (2)	10 (2)	51 (23)	27	29	24	20

(注) A～D欄中の()番は、木造160棟、非木造323棟、合計483棟のそれぞれに対する割合を、また、E欄の()番は当該欄内の構成比を示している。

表13にみられるとおり、各部分で補修、交換等の工事を行った家屋は、全家屋に対し1割程度となっており、工事が行われた家屋のみで見ても、約7～8割程度が沿岸から2 km未満の場所に所在する家屋に係る工事となっている。

また、木造、非木造の別では、屋根を除く他の部分については約6～8割が非木造に係る工事となっており、さらに、木造及び非木造の別に工事が行われた棟数をみると、まず、木造については、全体に対する各部分別の割合は、全体

では屋根が34%と多く、2 km未満では外壁が34%で多くなっており、2 km以上では全体と同様に屋根が39%と最も多くなっている。

非木造については、全体では外壁が34%と最も多く、また、2 km未満及び2 km以上の両方でみても、やはり外壁がそれぞれ34%、36%と多くなっている。

なお、これらの工事の内容としては、屋根について、木造では主として、ペンキ塗替えが2～8年程度で行われ、4～6年程度から亜鉛鉄板の一部葺替えが行われ、さらに12年程度を経過すると瓦の葺替え工事が行われている。また、非木造では主にコーキング材によるモルタルの補修、シート防水による雨漏り対策が5年目程度から行われている。

また、外壁については、木造では主として、1年目からペンキ塗替えが頻繁に行われ、5年目以降から壁板の張替えが行われており、非木造では主に2～3年以降のコーキング材によるモルタル補修が行われ、10年目程度からモルタルの塗直し、リシンの吹付が行われている。

外部建具については、木造及び非木造ともに、主として8～10年目程度でアルミ製建具の交換が行われている。

その他の部分については、木造では主として8年目程度から樋及び樋の取付金具の取替えが行われ、非木造では主に、1年目以降から手摺等鉄骨露出部へのペンキ塗替えが行われ、5～7年目程度から鋼製床下換気口、樋、水道管等の交換が行われている。

3 各部分別損傷の状況

(1) 屋根

ア 棟

屋根のうち棟部については、被害が見られた家屋は表14のとおり、全構造で30棟（全体の6.2%）、また、その内訳として、木造が19棟（木造全体の11.9%）、非木造が11棟（非木造全体の3.4%）となっている（図1参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表15のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図2のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表15-2、距離別棟数が図2-2

のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表15-3、距離別棟数が図2-3のとおりである。

表14 屋根(棟部)の被害棟数

区分	被害ありA	被害なしB	A+B C	A/C(%)
全棟数	30棟	453棟	483棟	6.2
うち2km未満	26	297	323	8.0
うち2km以上	4	156	160	2.5
全棟数	19棟	141棟	160棟	11.9
うち2km未満	17	90	107	15.9
うち2km以上	2	51	53	3.8
全棟数	11棟	312棟	323棟	3.4
うち2km未満	9	207	216	4.2
うち2km以上	2	105	107	1.9

図1 被害棟数割合
屋根(棟部)

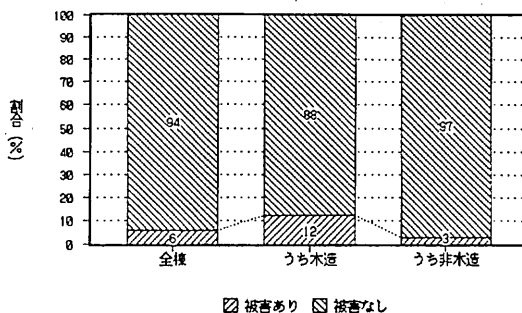
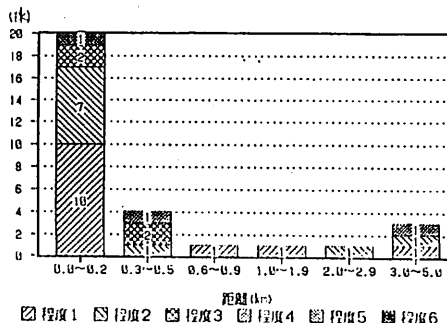


表15 屋根(棟部)の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数(構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、ペンキ剝離、汚染等	13(44%)	12(45%)	1(25%)
2	錆付着、止め金具の腐食 表面剝離	10(33%)	8(31%)	2(50%)
3	損傷、ひび割れ、軽微な腐食	4(13%)	4(15%)	0(-%)
4	一部腐食	2(7%)	1(4%)	1(25%)
5	腐食による穴空き等	0(-%)	0(-%)	0(-%)
6	大部分腐食	1(3%)	1(4%)	0(-%)
合計		30(100%)	26(100%)	4(100%)

図2 沿岸距離別棟数
屋根(棟部)



(注)当該図は、図1(被害棟数割合)のうち、「被害あり」の区分に該当する家庭について被害の程度の別に、沿岸からの距離を区分して取りまとめたものである。以下、その他の部分についても同じ。

表15-2 屋根(棟部)の被害状況(木造)

損傷度	被害の程度	棟数(構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、ペンキ剝離、汚染等	6(31%)	6(35%)	0(-%)
2	錆付着、止め金具の腐食 表面剝離	8(42%)	7(41%)	1(50%)
3	損傷、ひび割れ、軽微な腐食	2(11%)	2(12%)	0(-%)
4	一部腐食	2(11%)	1(6%)	1(50%)
5	腐食による穴空き等	0(-%)	0(-%)	0(-%)
6	大部分腐食	1(5%)	1(6%)	0(-%)
合計		19(100%)	17(100%)	2(100%)

図2-2 沿岸距離別棟数(木造)
屋根(棟部)

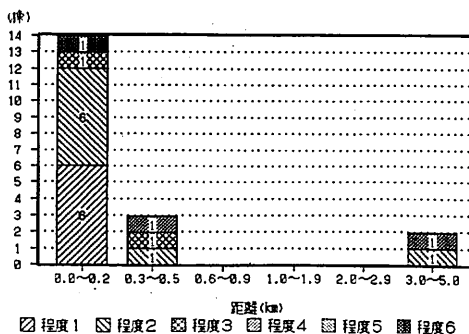
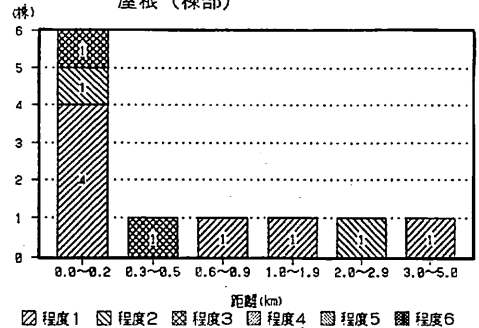


表15-3 屋根（棟部）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、ペンキ剝離、汚染等	7(64%)	6(67%)	1(50%)
2	錆付着、止め金具の腐食 表面剝離	2(18%)	1(11%)	1(50%)
3	損傷、ひび割れ、軽微な腐食	2(18%)	2(22%)	0(-%)
4	一部腐食	0(-%)	0(-%)	0(-%)
5	腐食による穴空き等	0(-%)	0(-%)	0(-%)
6	大部分腐食	0(-%)	0(-%)	0(-%)
合計		11(100%)	9(100%)	2(100%)

図2-3 沿岸距離別棟数（非木造）
屋根（棟部）



屋根のうち棟部については、今回被害があったとした家屋は30棟で全体の6.2%となっており、1割にも満たない状況である。しかも、図2のとおり、被害の見られる家屋のうち80%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるという結果となっている。また、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では19棟で全体の11.9%、非木造では11棟で全体の3.4%となっており、非木造に比べ、木造でより多くの被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

これらの結果、当該部分については、沿岸から0.5km以内に在する場所に被害を受けた家屋が多数見られ、また、その被害の程度も重くなっているが、沿岸から一定の距離があるなど、家屋の所在する地域の風向き及び地勢等によって被害は一般的に減少するといえる。

また、近距離にあり被害のあった家屋について、その被害の原因等実態を正確には把握できなかったことから、そのすべてが潮風によるものであると断言することは困難であり、また、沿岸から2kmを超えるような距離にある家屋についても何らかの被害は見られたが、これも同様にその原因を挙げることはできず、特殊な事例であるとも考えられる。

イ 屋根面

屋根のうち屋根面部については、被害が見られた家屋は表16のとおり、全構造

で76棟（全体の15.7%）、また、その内訳として、木造が39棟（木造全体の24.4%）、非木造が37棟（非木造全体の11.5%）となっている（図3参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表17のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図4のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表17-2、距離別棟数が図4-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表17-3、距離別棟数が図4-3のとおりである。

表16 屋根（屋根面部）の被害棟数

区分	被害ありA	被害なしB	A+B・C	A/C(%)	
全構造	全棟数	76棟	407棟	483棟	15.7
	うち2km未満	64	259	323	19.8
	うち2km以上	12	148	160	7.5
木造	全棟数	39棟	121棟	160棟	24.4
	うち2km未満	36	71	107	33.6
	うち2km以上	3	50	53	5.7
非木造	全棟数	37棟	286棟	323棟	11.5
	うち2km未満	28	188	216	13.0
	うち2km以上	9	98	107	8.4

図3 被害棟数割合
屋根（屋根面部）

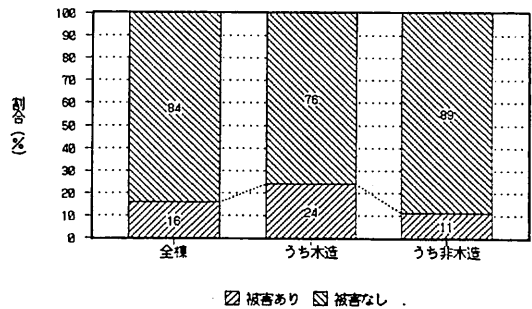


表17 屋根（屋根面部）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、ペンキ剥離、汚染等	28(34%)	25(33%)	1(8%)
2	錆付着、止め金具の腐食 表面剥離	18(24%)	16(25%)	2(17%)
3	損傷、ひび割れ、軽微な腐食	19(25%)	13(20%)	6(50%)
4	一部腐食	6(8%)	5(8%)	1(8%)
5	腐食による穴空き等	1(1%)	1(2%)	0(-)
6	大部分腐食、雨漏り	8(8%)	4(6%)	2(17%)
合計		76(100%)	64(100%)	12(100%)

図4 沿岸距離別棟数
屋根（屋根面部）

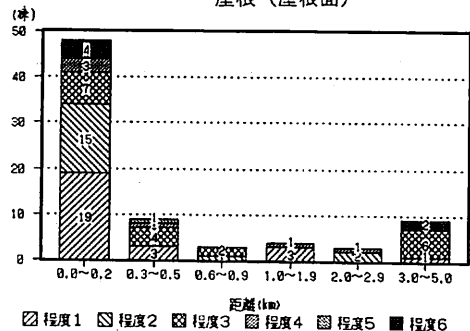


表17-2 屋根（屋根面部）の被害状況（木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、ペンキ剥離、汚染等	12(31%)	12(33%)	0(-)
2	錆付着、止め金具の腐食 表面剥離	13(34%)	12(33%)	1(33%)
3	損傷、ひび割れ、軽微な腐食	9(23%)	7(20%)	2(67%)
4	一部腐食	3(8%)	3(8%)	0(-)
5	腐食による穴空き等	1(2%)	1(3%)	0(-)
6	大部分腐食、雨漏り	1(2%)	1(3%)	0(-)
合計		39(100%)	36(100%)	3(100%)

図4-2 沿岸距離別棟数（木造）
屋根（屋根面部）

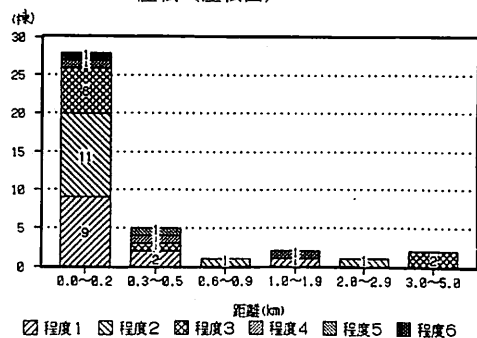
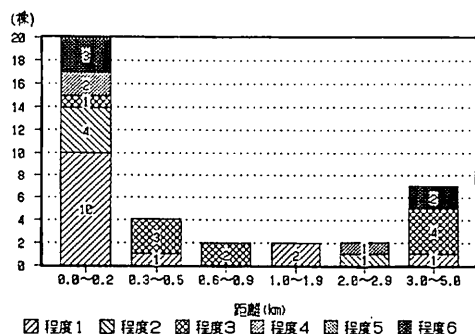


表17-3 屋根（屋根面部）の被害状況（非木造）

被害度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、ペンキ剥離、汚染 等	14(37%)	13(47%)	1(11%)
2	錆付着、止め金具の腐食 表面剥離	5(14%)	4(14%)	1(11%)
3	損傷、ひび割れ、軽微な腐食	10(27%)	6(21%)	4(45%)
4	一部腐食	3(8%)	2(7%)	1(11%)
5	腐食による穴空き 等	0(-%)	0(-%)	0(-%)
6	大部分腐食、雨漏り	5(14%)	3(11%)	2(22%)
合計		37(100%)	28(100%)	9(100%)

図4-3 沿岸距離別棟数（非木造）
屋根（屋根面）



屋根のうち屋根面部については、今回被害があったとした家屋は76棟で全体の15.7%となっており、2割弱という状況である。しかも、図4のとおり、被害の見られる家屋のうち75%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるという結果となっている。また、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では39棟で全体の24.4%、非木造では37棟で全体の11.5%となっており、非木造に比べ、木造でより多くの被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても、前記の棟部と同様のことが言える。

ウ 軒

屋根のうち軒部については、被害が見られた家屋は表18のとおり、全構造で111棟（全体の23.0%）、また、その内訳として、木造が44棟（木造全体の27.5%）、非木造が67棟（非木造全体の20.7%）となっている（図5参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表19のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図6のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表19-2、距離別棟数が図6-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表19-3、距離別棟数が図6-3のとおりである。

表18 屋根(軒部)の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)	
全構造	全棟数	111棟	372棟	483棟	23.0
	うち2km未満	86	237	323	26.6
	うち2km以上	25	135	160	15.6
木造	全棟数	44棟	116棟	160棟	27.5
	うち2km未満	38	69	107	35.5
	うち2km以上	6	47	53	11.3
非木造	全棟数	67棟	256棟	323棟	20.7
	うち2km未満	48	168	216	22.2
	うち2km以上	19	88	107	17.8

図5 被害棟数割合

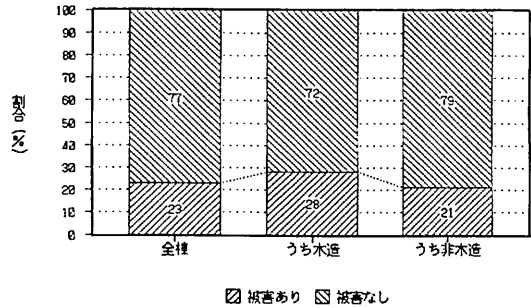


表19 屋根(軒部)の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、ペンキ剥離、汚染等	31(28%)	25(29%)	6(24%)
2	錆付着、止め金具の腐食、表面剥離	44(40%)	36(42%)	8(32%)
3	損傷、ひび割れ、軽微な腐食	17(15%)	11(13%)	6(24%)
4	一部腐食、コンクリート剥離等	13(12%)	10(12%)	3(12%)
5	腐食による穴空き、鉄骨露出等	5(4%)	3(3%)	2(8%)
6	大部分腐食、雨漏り	1(1%)	1(1%)	0(-%)
合計		111(100%)	86(100%)	25(100%)

図6 沿岸距離別棟数 屋根(軒)

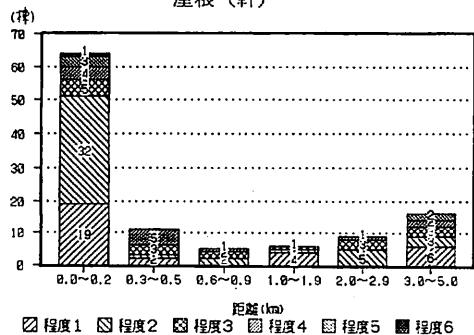


表19-2 屋根(軒部)の被害状況(木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、ペンキ剥離、汚染等	9(20%)	9(24%)	0(-%)
2	錆付着、止め金具の腐食、表面剥離	24(55%)	21(55%)	3(50%)
3	損傷、ひび割れ、軽微な腐食	6(14%)	5(13%)	1(17%)
4	一部腐食、コンクリート剥離等	5(11%)	3(8%)	2(33%)
5	腐食による穴空き、鉄骨露出等	0(-%)	0(-%)	0(-%)
6	大部分腐食、雨漏り	0(-%)	0(-%)	0(-%)
合計		44(100%)	38(100%)	6(100%)

図6-2 沿岸距離別棟数(木造) 屋根(軒)

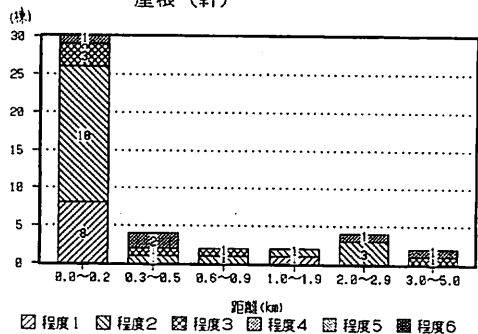
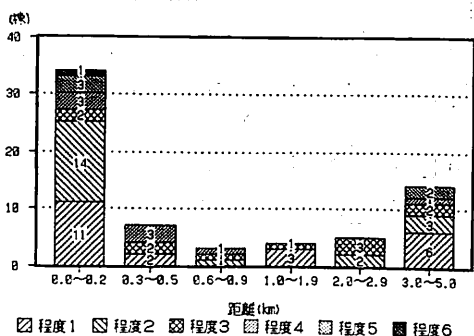


表19-3 屋根(軒部)の被害状況(非木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、ペンキ剥離、汚染等	22(33%)	16(33%)	6(32%)
2	錆付着、止め金具の腐食、表面剥離	20(30%)	15(31%)	5(26%)
3	損傷、ひび割れ、軽微な腐食	11(16%)	6(13%)	5(26%)
4	一部腐食、コンクリート剥離等	8(12%)	7(15%)	1(5%)
5	腐食による穴空き、鉄骨露出等	5(7%)	3(6%)	2(11%)
6	大部分腐食、雨漏り	1(2%)	1(2%)	0(-%)
合計		67(100%)	53(100%)	19(100%)

図6-3 沿岸距離別棟数(非木造) 屋根(軒)



屋根のうち軒部については、今回被害があったとした家屋は111棟で全体の23.0%となっており、2割程度という状況である。また、図6のとおり、被害の見られる家屋のうち68%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるが、一方で、2km以上に在する家屋が23%を占めるということは、屋根における他の部分と異なる状況となっている。

しかし、全般的にみれば棟部と同様に0.5km以内に家屋が集中しており、さらに、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では44棟で全体の27.5%、非木造では67棟で全体の20.7%となっており、非木造に比べ、木造で多くの被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても棟部と同様のことが言える。

(2) 基礎

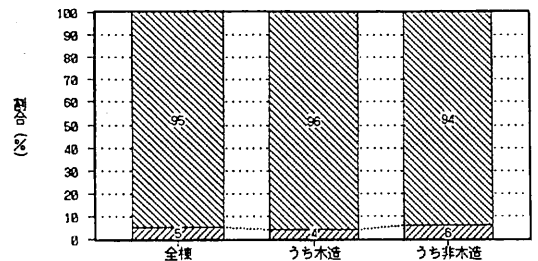
基礎については、被害が見られた家屋は表20のとおり、全構造で26棟（全体の5.4%）、また、その内訳として、木造が7棟（木造全体の4.4%）、非木造が19棟（非木造全体の5.9%）となっている（図7参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表21のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図8のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表21-2、距離別棟数が図8-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表21-3、距離別棟数が図8-3のとおりである。

表20 基礎の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)
全棟数	26棟	457棟	483棟	5.4
うち2km未満	22	301	323	6.8
うち2km以上	4	156	160	2.5
全棟数	7棟	153棟	160棟	4.4
うち2km未満	6	101	107	5.6
うち2km以上	1	52	53	1.9
全棟数	19棟	304棟	323棟	5.9
うち2km未満	16	200	216	7.4
うち2km以上	3	104	107	2.8

図7 被害棟数割合
基礎



▨ 被害あり □ 被害なし

表21 基礎の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、軽微な亀裂	19(73%)	16(73%)	3(75%)
2	錆付着、破損、亀裂	5(19%)	4(18%)	1(25%)
3	陥没、腐朽	2(8%)	2(9%)	0(-%)
合計		26(100%)	22(100%)	4(100%)

表21-2 基礎の被害状況 (木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、軽微な亀裂	6(86%)	5(83%)	1(100%)
2	錆付着、破損、亀裂	0(-%)	0(-%)	0(-%)
3	陥没、腐朽	1(14%)	1(17%)	0(-%)
合計		7(100%)	6(100%)	1(100%)

表21-3 基礎の被害状況 (非木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、軽微な亀裂	13(69%)	11(69%)	2(67%)
2	錆付着、破損、亀裂	5(26%)	4(25%)	1(33%)
3	陥没、腐朽	1(5%)	1(6%)	0(-%)
合計		19(100%)	16(100%)	3(100%)

図8 沿岸距離別棟数
基礎

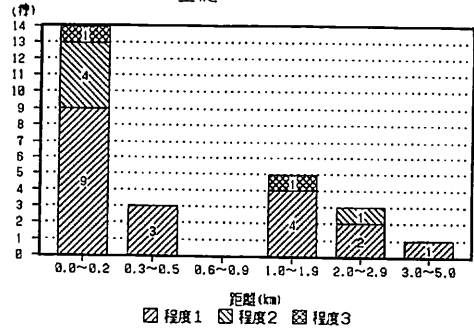


図8-2 沿岸距離別棟数 (木造)
基礎

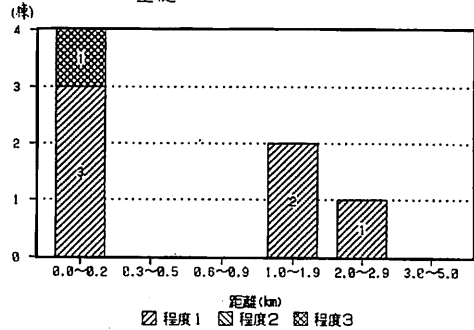
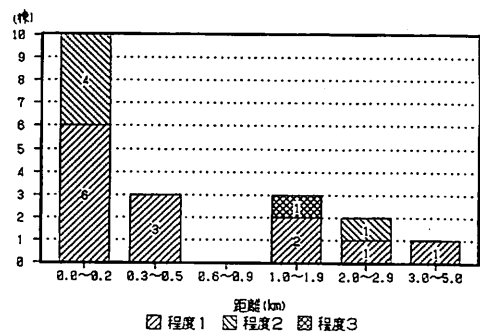


図8-3 沿岸距離別棟数 (非木造)
基礎



基礎については、今回被害があったとした家屋は26棟で全体の5.4%となっており、1割にも満たないという状況である。また、図8のとおり、被害の見られる家屋のうち65%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるという結果となっている。また、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では7棟で全体の4.4%、非木造では19棟で全体の5.9%となっており、木造に比べ、非木造で多少ながら被害が多く現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

(3) 外 壁

ア 上部

外壁のうち上部については、被害が見られた家屋は表22のとおり、全構造で129棟（全体の26.7%）、また、その内訳として、木造が40棟（木造全体の25.0%）、非木造が89棟（非木造全体の27.6%）となっている（図9参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表23のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図10のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表23-2、距離別棟数が図10-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表23-3、距離別棟数が図10-3のとおりである。

表22 外壁（上部）の被害棟数

区 分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)
全 棟 数	129棟	354棟	483棟	26.7
うち2km未満	94	229	323	29.1
うち2km以上	35	125	160	21.9
全 棟 数	40棟	120棟	160棟	25.0
うち2km未満	31	76	107	29.0
うち2km以上	9	44	53	17.0
全 棟 数	89棟	234棟	323棟	27.6
うち2km未満	63	153	216	29.2
うち2km以上	26	81	107	24.3

図9 被害棟数割合
外壁（上部）

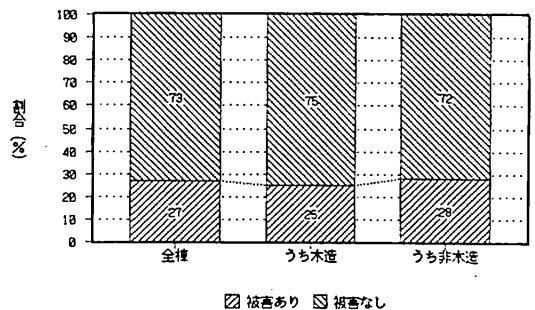


表23 外壁（上部）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	84(49%)	45(48%)	19(54%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	31(24%)	24(26%)	7(20%)
3	表面損傷・膨張	6(5%)	5(5%)	1(3%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	23(18%)	18(19%)	5(14%)
5	腐食、表面喪失	5(4%)	2(2%)	3(8%)
合計		129(100%)	94(100%)	35(100%)

図10 沿岸距離別棟数
外壁（上部）

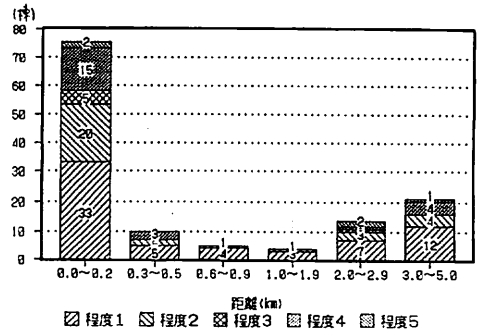


表23-2 外壁（上部）の被害状況（木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	17(42%)	15(48%)	2(22%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	12(30%)	9(29%)	3(34%)
3	表面損傷・膨張	3(8%)	3(10%)	0(-%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	5(12%)	3(10%)	2(22%)
5	腐食、表面喪失	3(8%)	1(3%)	2(22%)
合計		40(100%)	31(100%)	9(100%)

図10-2 沿岸距離別棟数（木造）
外壁（上部）

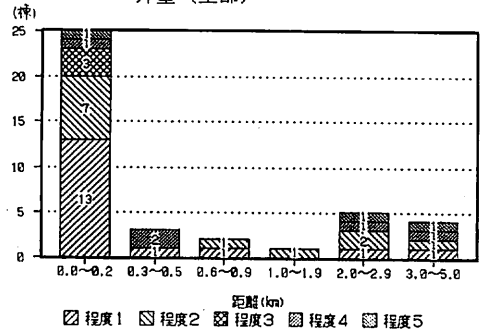
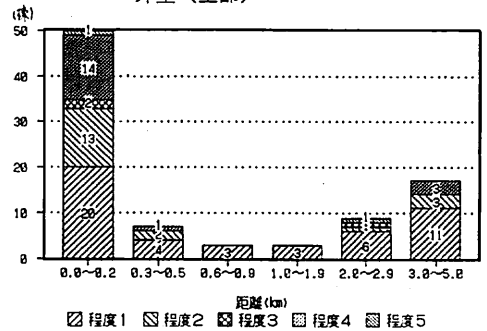


表23-3 外壁（上部）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	47(53%)	30(48%)	17(65%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	19(22%)	15(24%)	4(15%)
3	表面損傷・膨張	3(3%)	2(3%)	1(4%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	18(20%)	15(24%)	3(12%)
5	腐食、表面喪失	2(2%)	1(1%)	1(4%)
合計		89(100%)	63(100%)	26(100%)

図10-3 沿岸距離別棟数（非木造）
外壁（上部）



外壁のうち上部については、今回被害があったとした家屋は129棟で全体の26.7%となっており、屋根及び基礎と比べ被害が目立っている状況にある。また、図10のとおり、被害の見られる家屋のうち66%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるが、一方で、2km以上に在する家屋についても27%を占めると

いう結果となっている。

しかし、一般的にみれば0.5km以内に家屋が集中しており、さらに、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では40棟で全体の25.0%、非木造では89棟で全体の27.6%となっており、木造に比べ、非木造でわずかながら被害が多く現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

イ 中間部

外壁のうち中間部については、被害が見られた家屋は表24のとおり、全構造で108棟（全体の22.4%）、また、その内訳として、木造が41棟（木造全体の25.6%）、非木造が67棟（非木造全体の20.7%）となっている（図11参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造で見ると表25のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図12のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表25-2、距離別棟数が図12-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表25-3、距離別棟数が図12-3のとおりである。

表24 外壁（中間部）の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)	
全構造	全棟数	108棟	375棟	483棟	22.4
	うち2km未満	76	247	323	23.5
	うち2km以上	32	128	160	20.0
木造	全棟数	41棟	119棟	160棟	25.6
	うち2km未満	31	76	107	29.0
	うち2km以上	10	43	53	18.9
非木造	全棟数	67棟	256棟	323棟	20.7
	うち2km未満	45	171	216	20.8
	うち2km以上	22	85	107	20.6

図11 被害棟数割合
外壁（中間部）

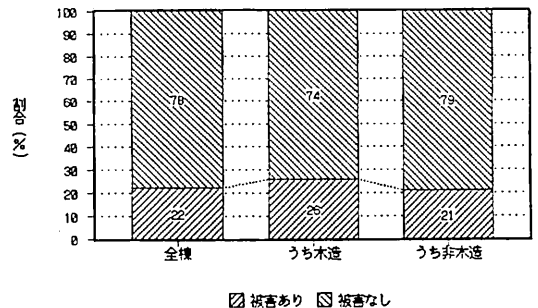


表25 外壁（中間部）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	54(50%)	34(45%)	20(62%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	27(25%)	23(30%)	4(13%)
3	表面損傷・膨張	5(5%)	4(5%)	1(3%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	18(15%)	11(15%)	5(16%)
5	腐食、表面喪失	6(5%)	4(5%)	2(6%)
合計		108(100%)	76(100%)	32(100%)

表25-2 外壁（中間部）の被害状況（木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	17(41%)	13(42%)	4(40%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	12(29%)	10(32%)	2(20%)
3	表面損傷・膨張	4(10%)	3(10%)	1(10%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	4(10%)	3(10%)	1(10%)
5	腐食、表面喪失	4(10%)	2(6%)	2(20%)
合計		41(100%)	31(100%)	10(100%)

表25-3 外壁（中間部）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	37(56%)	21(47%)	16(73%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	15(22%)	13(29%)	2(9%)
3	表面損傷・膨張	1(2%)	1(2%)	0(-%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	12(18%)	8(18%)	4(18%)
5	腐食、表面喪失	2(3%)	2(4%)	0(-%)
合計		67(100%)	45(100%)	22(100%)

図12 沿岸距離別棟数
外壁（中間部）

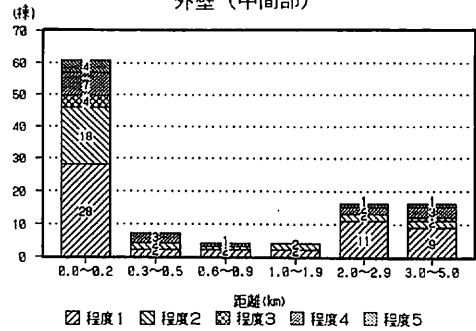


図12-2 沿岸距離別棟数（木造）
外壁（中間部）

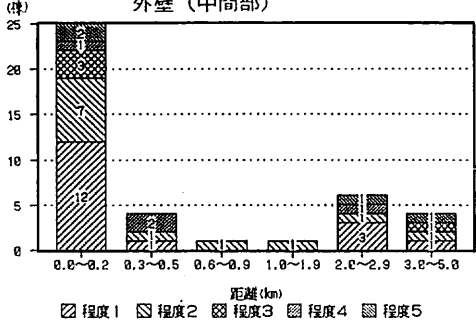
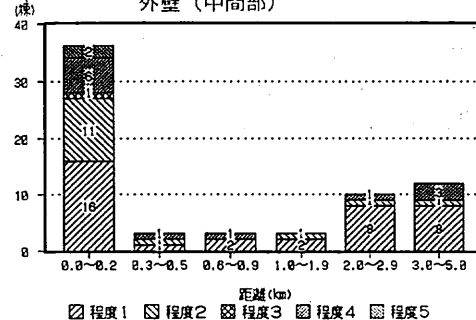


図12-3 沿岸距離別棟数（非木造）
外壁（中間部）



外壁のうち中間部については、今回被害があったとした家屋は108棟で全体の22.4%となっており、2割程度という状況である。また、図12のとおり、被害の見られる家屋のうち63%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるが、前記の上部と同様、2km以上に在する家屋についても30%を占めるという結果となっている。

しかし、全般的にみれば0.5km以内に家屋が集中しており、さらに、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中してい

ることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では41棟で全体の25.6%、非木造では67棟で全体の20.7%となっており、非木造に比べ、木造で多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

ウ 下部

外壁のうち下部については、被害が見られた家屋は表26のとおり、全構造で106棟（全体の21.9%）、また、その内訳として、木造が45棟（木造全体の28.1%）、非木造が61棟（非木造全体の18.9%）となっている（図13参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表27のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図14のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表27-2、距離別棟数が図14-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表27-3、距離別棟数が図14-3のとおりである。

表26 外壁（下部）の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)
全棟数	106棟	377棟	483棟	21.9
うち2km未満	75	248	323	23.2
うち2km以上	31	129	160	19.4
全棟数	45棟	115棟	160棟	28.1
うち2km未満	32	75	107	29.9
うち2km以上	13	40	53	24.5
全棟数	61棟	262棟	323棟	18.9
うち2km未満	43	173	216	19.9
うち2km以上	18	89	107	16.8

図13 被害棟数割合
外壁（下部）

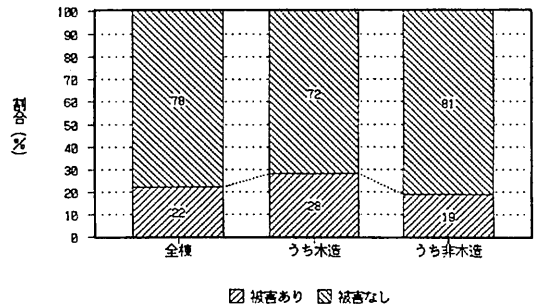


表27 外壁（下部）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	53(50%)	33(44%)	20(65%)
2	附着、亀裂、釘の腐食等	27(25%)	23(31%)	4(13%)
3	表面損傷・膨張	8(8%)	7(9%)	1(3%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	12(11%)	8(11%)	4(13%)
5	腐食、表面喪失	6(6%)	4(5%)	2(6%)
合計		106(100%)	75(100%)	31(100%)

図14 沿岸距離別棟数
外壁（下部）

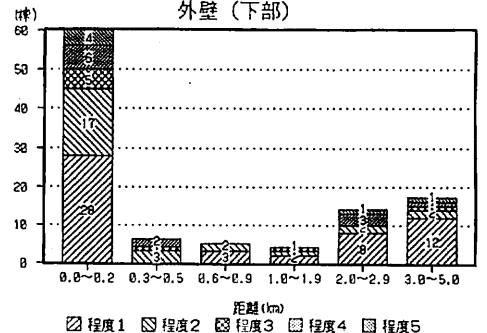


表27-2 外壁（下部）の被害状況（木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	21(47%)	15(47%)	6(47%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	11(24%)	9(29%)	2(15%)
3	表面損傷・膨張	4(9%)	3(9%)	1(8%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	5(11%)	3(9%)	2(15%)
5	腐食、表面喪失	4(9%)	2(6%)	2(15%)
合計		45(100%)	32(100%)	13(100%)

図14-2 沿岸距離別棟数（木造）
外壁（下部）

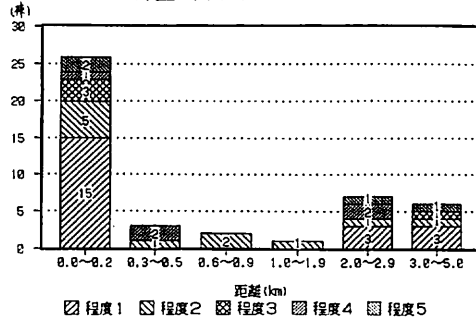
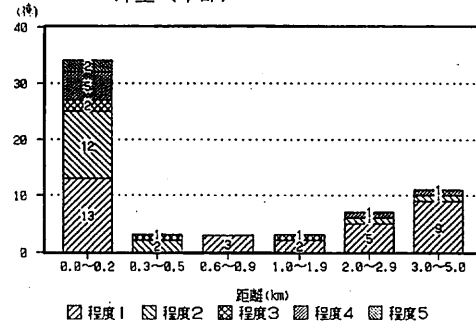


表27-3 外壁（下部）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	32(52%)	18(42%)	14(78%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	16(26%)	14(32%)	2(11%)
3	表面損傷・膨張	4(7%)	4(9%)	0(-)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	7(12%)	5(12%)	2(11%)
5	腐食、表面喪失	2(3%)	2(5%)	0(-)
合計		61(100%)	43(100%)	18(100%)

図14-3 沿岸距離別棟数（非木造）
外壁（下部）



外壁のうち下部については、今回被害があったとした家屋は106棟で全体の21.9%となっており、2割程度という状況である。また、図14のとおり、被害の見られる家屋のうち62%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるが、前記の上部と同様、2km以上に在する家屋についても29%を占めるという結果となっている。

しかし、全般的にみれば0.5km以内に家屋が集中しており、さらに、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では45棟で全体の28.1%、非木造では61棟で全体の18.9%となっており、非木造に比べ、木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

エ 窓回り

外壁のうち窓回りについては、被害が見られた家屋は表28のとおり、全構造で74棟（全体の15.3%）、また、その内訳として、木造が31棟（木造全体の19.4%）、非木造が43棟（非木造全体の13.3%）となっている（図15参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表29のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図16のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表29-2、距離別棟数が図16-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表29-3、距離別棟数が図16-3のとおりである。

表28 外壁（窓回り）の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)
全構造	74棟	409棟	483棟	15.3
うち2km未満	62	261	323	19.2
うち2km以上	12	148	160	7.5
木造	31棟	129棟	160棟	19.4
うち2km未満	25	82	107	23.4
うち2km以上	6	47	53	11.3
非木造	43棟	280棟	323棟	13.3
うち2km未満	37	179	216	17.1
うち2km以上	6	101	107	5.6

表29 外壁（窓回り）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剝離 等	46(61%)	38(58%)	8(75%)
2	錆付蝕、亀裂、釘の腐食 等	13(17%)	11(18%)	2(17%)
3	表面損傷・膨張	5(7%)	5(8%)	0(-%)
4	一部腐食、塗装剝離、鉄筋露出	5(7%)	5(8%)	0(-%)
5	腐食、表面喪失	6(8%)	5(8%)	1(8%)
合計		74(100%)	62(100%)	12(100%)

表29-2 外壁（窓回り）の被害状況（木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剝離 等	16(52%)	13(52%)	3(50%)
2	錆付蝕、亀裂、釘の腐食 等	8(26%)	6(24%)	2(33%)
3	表面損傷・膨張	2(6%)	2(8%)	0(-%)
4	一部腐食、塗装剝離、鉄筋露出	1(3%)	1(4%)	0(-%)
5	腐食、表面喪失	4(13%)	3(12%)	1(17%)
合計		31(100%)	25(100%)	6(100%)

図15 被害棟数割合
外壁（窓回り）

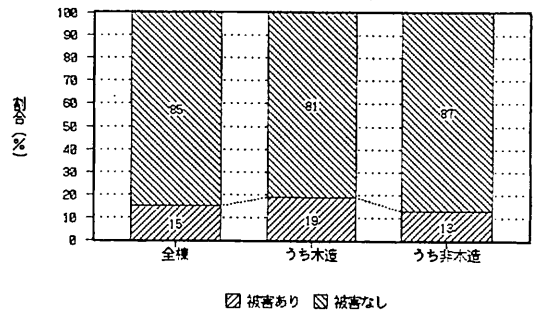


図16 沿岸距離別棟数
外壁（窓回り）

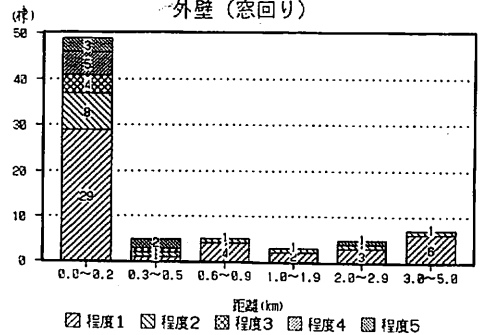


図16-2 沿岸距離別棟数（木造）
外壁（窓回り）

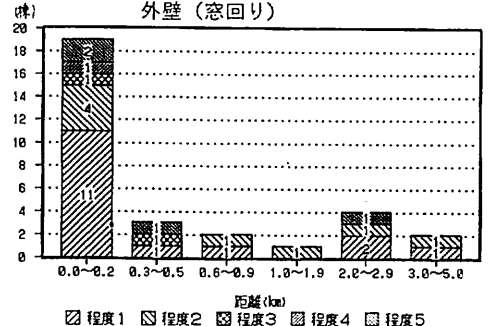
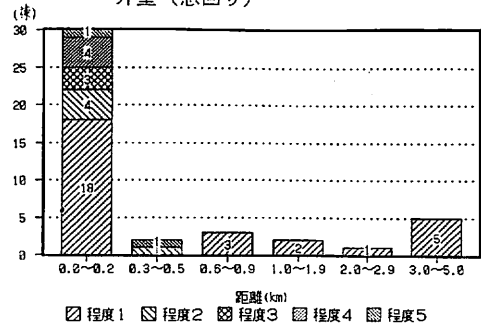


表29-3 外壁（窓回り）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	29(67%)	23(62%)	6(100%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	5(12%)	5(14%)	0(-%)
3	表面損傷・膨張	3(7%)	3(8%)	0(-%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	4(9%)	4(11%)	0(-%)
5	腐食、表面喪失	2(5%)	2(5%)	0(-%)
合計		43(100%)	37(100%)	6(100%)

図16-3 沿岸距離別棟数（非木造）
外壁（窓回り）



外壁のうち窓回りについては、今回被害があったとした家屋は74棟で全体の15.3%となっており、2割弱という状況である。また、図16のとおり、被害の見える家屋のうち73%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるという結果となっている。また、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では31棟で全体19.4%、非木造では43棟で全体の13.3%となっており、非木造に比べ、木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

オ 出入口回り

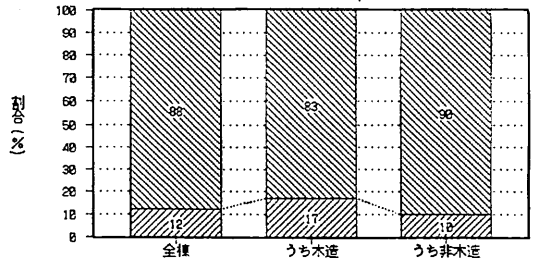
外壁のうち出入口回りについては、被害が見られた家屋は表30のとおり、全構造で60棟（全体の12.4%）、また、その内訳として、木造が27棟（木造全体の16.9%）、非木造が33棟（非木造全体の10.2%）となっている（図17参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表31のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図18のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表31-2、距離別棟数が図18-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表31-3、距離別棟数が図18-3のとおりである。

表30 外壁（出入口回り）の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)	
全構造	全棟数	60棟	423棟	483棟	12.4
	うち2km未満	49	274	323	15.2
	うち2km以上	11	149	160	6.9
木造	全棟数	27棟	133棟	160棟	16.9
	うち2km未満	23	84	107	21.5
	うち2km以上	4	49	53	7.5
非木造	全棟数	33棟	290棟	323棟	10.2
	うち2km未満	26	190	216	12.0
	うち2km以上	7	100	107	6.5

図17 被害棟数割合
外壁（出入口回り）



▨ 被害あり □ 被害なし

表31 外壁（出入口回り）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	36(60%)	27(55%)	9(82%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	13(22%)	12(25%)	1(9%)
3	表面損傷・膨張	2(3%)	2(4%)	0(-%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	4(7%)	4(8%)	0(-%)
5	腐食、表面喪失	5(8%)	4(8%)	1(9%)
合計		60(100%)	49(100%)	11(100%)

図18 沿岸距離別棟数
外壁（出入口回り）

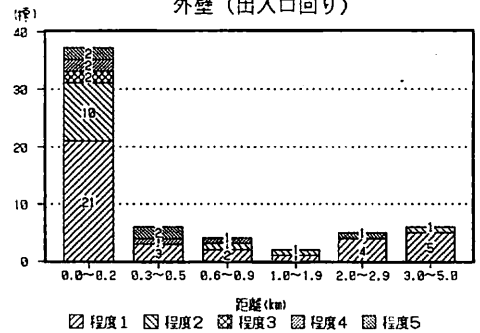


表31-2 外壁（出入口回り）の被害状況（木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	14(52%)	12(52%)	2(50%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	9(33%)	8(35%)	1(25%)
3	表面損傷・膨張	0(-%)	0(-%)	0(-%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	0(-%)	0(-%)	0(-%)
5	腐食、表面喪失	4(15%)	3(13%)	1(25%)
合計		27(100%)	23(100%)	4(100%)

図18-2 沿岸距離別棟数（木造）
外壁（出入口回り）

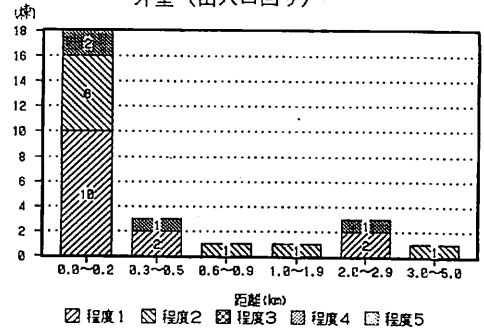
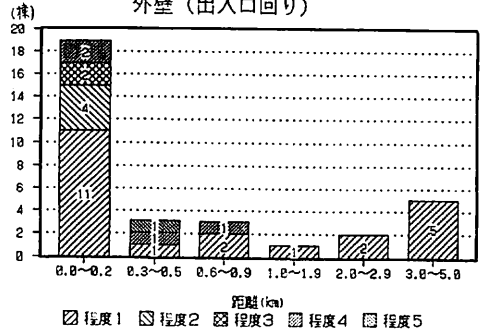


表31-3 外壁（出入口回り）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	22(67%)	15(58%)	7(100%)
2	錆付着、亀裂、釘の腐食等	4(12%)	4(15%)	0(-%)
3	表面損傷・膨張	2(6%)	2(8%)	0(-%)
4	一部腐食、塗装剥離、鉄筋露出	4(12%)	4(15%)	0(-%)
5	腐食、表面喪失	1(3%)	1(4%)	0(-%)
合計		33(100%)	26(100%)	7(100%)

図18-3 沿岸距離別棟数（非木造）
外壁（出入口回り）



外壁のうち出入口回りについては、今回被害があったとした家屋は60棟で全体の12.4%となっており、1割程度という状況である。また、図18のとおり、被害の見られる家屋のうち72%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるという結果となっている。また、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では27棟で全体の16.9%、非木造では33棟で全体の10.2%となっており、非木造に比べ、木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

(4) 外部建具

ア 窓

外部建具のうち窓については、被害が見られた家屋は表32のとおり、全構造で43棟（全体の8.9%）、また、その内訳として、木造が13棟（木造全体の8.1%）、非木造が30棟（非木造全体の9.3%）となっている（図19参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると、表33のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図20のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表33-2、距離別棟数が図20-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表33-3、距離別棟数が図20-3のとおりである。

表32 外部建具（窓）の被害棟数

区	分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)
全構造	全棟数	43棟	440棟	483棟	8.9
	うち2km未満	37	286	323	11.5
	うち2km以上	6	154	160	3.8
木造	全棟数	13棟	147棟	160棟	8.1
	うち2km未満	12	95	107	11.2
	うち2km以上	1	52	53	1.9
非木造	全棟数	30棟	293棟	323棟	9.3
	うち2km未満	25	191	216	11.6
	うち2km以上	5	102	107	4.7

図19 被害棟数割合
外部建具（窓）

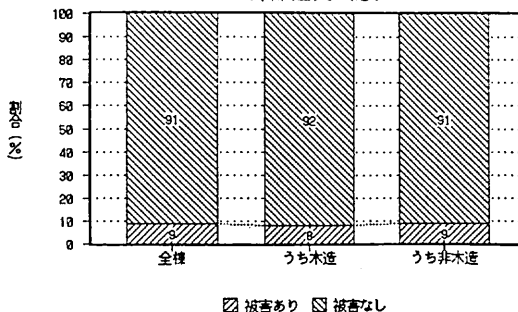


表33 外部建具（窓）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	7(16%)	6(16%)	1(17%)
2	錆付着、止め金具の腐食、立付不良	21(49%)	18(49%)	3(50%)
3	破損、一部腐食	4(9%)	4(11%)	0(-%)
4	腐食	11(26%)	9(24%)	2(33%)
合計		43(100%)	37(100%)	6(100%)

図20 沿岸距離別棟数
外部建具（窓）

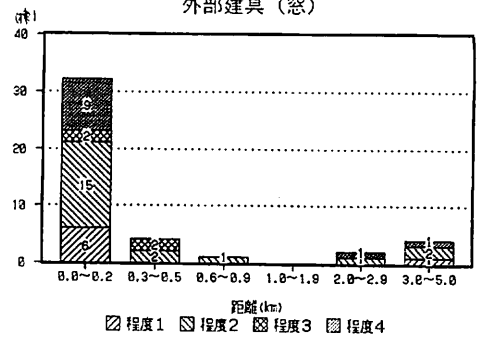


表33-2 外部建具（窓）の被害状況（木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	2(15%)	2(17%)	0(-%)
2	錆付着、止め金具の腐食、立付不良	7(55%)	7(58%)	0(-%)
3	破損、一部腐食	2(15%)	2(17%)	0(-%)
4	腐食	2(15%)	1(8%)	1(100%)
合計		13(100%)	12(100%)	1(100%)

図20-2 沿岸距離別棟数（木造）
外部建具（窓）

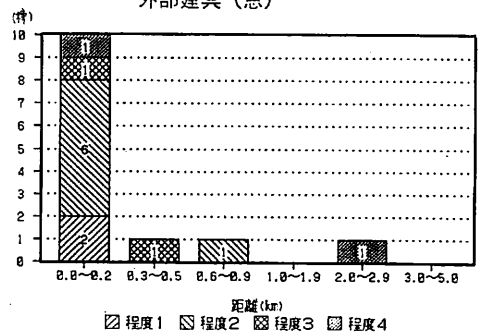
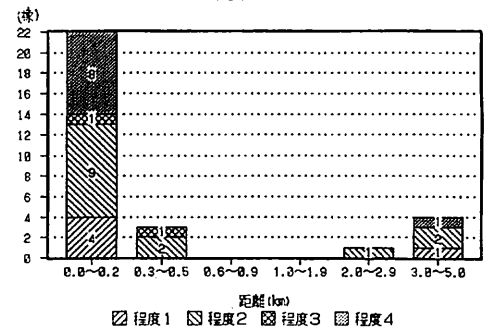


表33-3 外部建具（窓）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	5(17%)	4(16%)	1(20%)
2	錆付着、止め金具の腐食、立付不良	14(46%)	11(44%)	3(60%)
3	破損、一部腐食	2(7%)	2(8%)	0(-%)
4	腐食	9(30%)	8(32%)	1(20%)
合計		30(100%)	25(100%)	5(100%)

図20-3 沿岸距離別棟数（非木造）
外部建具（窓）



外部建具のうち窓については、今回被害があったとした家屋は43棟で全体の8.9%となっており、1割にも満たないという状況である。また、図20のとおり、被害の見られる家屋のうち84%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるという結果となっている。また、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では13棟で全体の8.1%、非木造では30棟で全体の9.3%となっており、木造に比べ、非木造でやや多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

イ 出入口

外部建具のうち出入口については、被害が見られた家屋は表34のとおり、全構造で64棟（全体の13.3%）、また、その内訳として、木造が20棟（木造全体の12.5%）、非木造が44棟（非木造全体の13.6%）となっている（図21参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表35のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図22のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表35-2、距離別棟数が図22-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表35-3、距離別棟数が図22-3のとおりである。

表34 外部建具（出入口）の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)
全棟数	64棟	419棟	483棟	13.3
うち2km未満	48	275	323	14.9
うち2km以上	16	144	160	10.0
全棟数	20棟	140棟	160棟	12.5
うち2km未満	15	92	107	14.0
うち2km以上	5	48	53	9.4
全棟数	44棟	279棟	323棟	13.6
うち2km未満	33	183	216	15.3
うち2km以上	11	96	107	10.3

図21 被害棟数割合
外部建具（出入口）

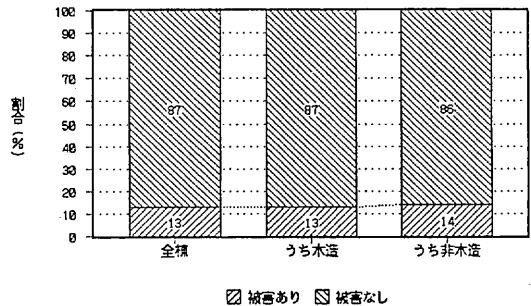


表35 外部建具（出入口）の被害状況

被害程度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	5(8%)	3(6%)	2(12%)
2	錆付着、止め金具の腐食、立付不良	40(63%)	28(59%)	12(76%)
3	破損、一部腐食	2(3%)	2(4%)	0(-%)
4	腐食	15(23%)	13(27%)	2(12%)
5	欠落	2(3%)	2(4%)	0(-%)
合計		64(100%)	48(100%)	16(100%)

図22 沿岸距離別棟数
外部建具（出入口）

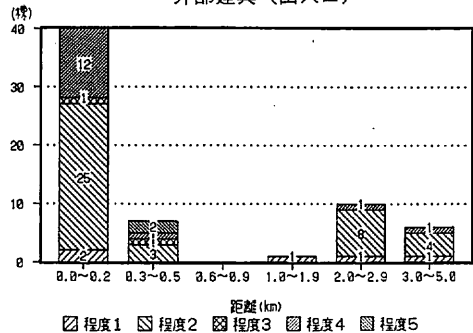


表35-2 外部建具（出入口）の被害状況（木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	1(5%)	0(-%)	1(20%)
2	錆付着、止め金具の腐食、立付不良	12(60%)	9(60%)	3(60%)
3	破損、一部腐食	2(10%)	2(13%)	0(-%)
4	腐食	4(20%)	3(20%)	1(20%)
5	欠落	1(5%)	1(7%)	0(-%)
合計		20(100%)	15(100%)	5(100%)

図22-2 沿岸距離別棟数（木造）
外部建具（出入口）

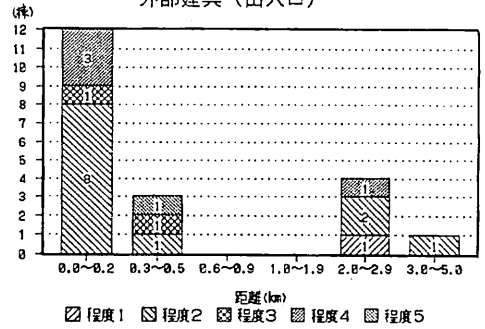
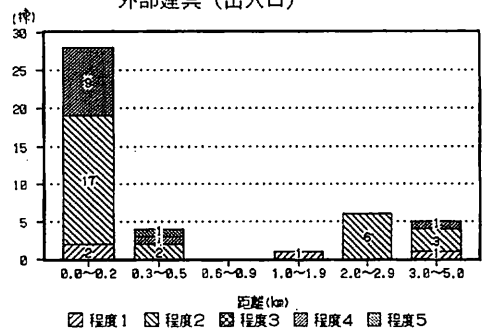


表35-3 外部建具（出入口）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	4(9%)	3(9%)	1(9%)
2	錆付着、止め金具の腐食、立付不良	28(64%)	19(58%)	9(82%)
3	破損、一部腐食	0(-%)	0(-%)	0(-%)
4	腐食	11(25%)	10(30%)	1(9%)
5	欠落	1(2%)	1(3%)	0(-%)
合計		44(100%)	33(100%)	11(100%)

図22-3 沿岸距離別棟数（非木造）
外部建具（出入口）



外部建具のうち出入口については、今回被害があったとした家屋は64棟で全体の13.3%となっており、1割程度という状況である。また、図22のとおり、被害の見られる家屋のうち73%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるが、一方で2km以上に在する家屋についても25%を占めるという結果となっている。

しかし、全般的にみれば0.5km以内に家屋が集中しており、さらに、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では20棟で全体の12.5%、非木造では44棟で全体の13.6%となっており、木造に比べ、非木造でやや多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

ウ 雨戸

外部建具のうち雨戸については、設置している家屋が347棟あり、そのうち

被害が見られた家屋は表36のとおり、全構造で75棟（全体の21.6%）、また、その内訳として、木造が22棟（木造全体の15.5%）、非木造が53棟（非木造全体の25.9%）となっている（図23参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表37のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図24のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表37-2、距離別棟数が図24-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表37-3、距離別棟数が図24-3のとおりである。

表36 外部建具（雨戸）の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)	
全構造	全棟数	75棟	272棟	347棟	21.6
	うち2km未満	57	177	234	24.4
	うち2km以上	18	95	113	15.9
木造	全棟数	22棟	120棟	142棟	15.5
	うち2km未満	19	76	95	20.0
	うち2km以上	3	44	47	6.4
非木造	全棟数	53棟	152棟	205棟	25.9
	うち2km未満	38	101	139	27.3
	うち2km以上	15	51	66	22.7

図23 被害棟数割合
外部建具（雨戸）

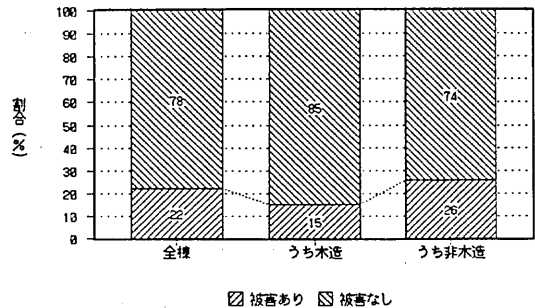


図24 沿岸距離別棟数
外部建具（雨戸）

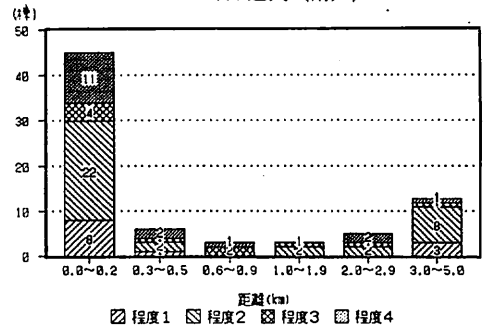


表37 外部建具（雨戸）の被害状況

被害度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	12(16%)	9(16%)	3(17%)
2	錆付着、立付不良	36(48%)	28(46%)	10(56%)
3	破損、一部腐食	10(13%)	8(14%)	2(11%)
4	腐食	17(23%)	14(24%)	3(17%)
合計		75(100%)	57(100%)	18(100%)

表37-2 外部建具（雨戸）の被害状況（木造）

被害度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	3(14%)	3(16%)	0(-%)
2	錆付着、立付不良	8(36%)	6(31%)	2(67%)
3	破損、一部腐食	7(32%)	7(37%)	0(-%)
4	腐食	4(18%)	3(16%)	1(33%)
合計		22(100%)	19(100%)	3(100%)

図24-2 沿岸距離別棟数
外部建具（雨戸）

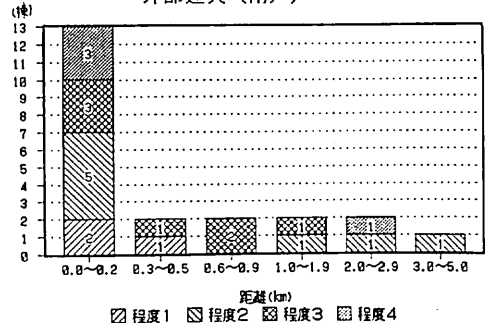
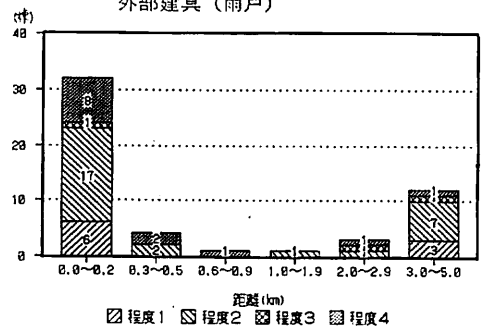


表37-3 外部建具（雨戸）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	9(17%)	6(16%)	3(20%)
2	錆付着、立付不良	28(53%)	20(52%)	8(54%)
3	破損、一部腐食	3(6%)	1(3%)	2(13%)
4	腐食	13(24%)	11(29%)	2(13%)
合計		53(100%)	38(100%)	15(100%)

図24-3 沿岸距離別棟数（非木造）
外部建具（雨戸）



外部建具のうち雨戸については、今回被害があったとした家屋は75棟で全体の21.6%となっており、2割程度という状況である。また、図24のとおり、被害の見られる家屋のうち73%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるが、前記の出入口と同様、2km以上に在する家屋についても24%を占めるという結果となっている。

しかし、全般的にみれば0.5km以内に家屋が集中しており、さらに、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では22棟で全体の15.5%、非木造では53棟で全体の25.9%となっており、木造に比べ、非木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

エ 網入りガラス

外部建具のうち網入りガラスについては、設置している家屋が105棟あり、そのうち被害が見られた家屋は表38のとおり、全構造で13棟（全体の12.4%）、また、その内訳として、木造が2棟（木造全体の6.7%）、非木造が11棟（非木造全体の14.7%）となっている（図25参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造で見ると表39のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図26のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表39-2、距離別棟数が図26-2

のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表39-3、距離別棟数が図26-3のとおりである。

表38 外部建具（網入りガラス）の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)	
全構造	全棟数	13棟	92棟	105棟	12.4
	うち2km未満	10	63	73	13.7
	うち2km以上	3	29	32	9.4
木造	全棟数	2棟	28棟	30棟	6.7
	うち2km未満	2	18	20	10.0
	うち2km以上	0	10	10	-
非木造	全棟数	11棟	64棟	75棟	14.7
	うち2km未満	8	45	53	15.1
	うち2km以上	3	19	22	13.6

図25 被害棟数割合
外部建具（網入りガラス）

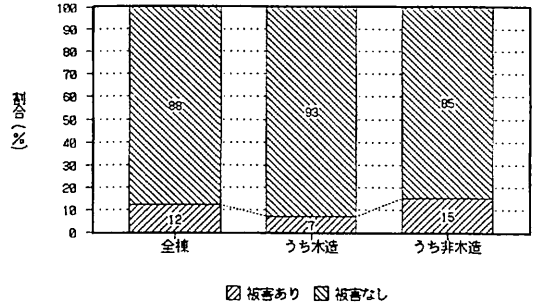


表39 外部建具（網入りガラス）の被害状況

被害度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染等	0(-%)	0(-%)	0(-%)
2	錆付着	8(81%)	5(50%)	3(100%)
3	破損、一部腐食	1(8%)	1(10%)	0(-%)
4	腐食等	4(31%)	4(40%)	0(-%)
合計		13(100%)	10(100%)	3(100%)

図26 沿岸距離別棟数
外部建具（網入りガラス）

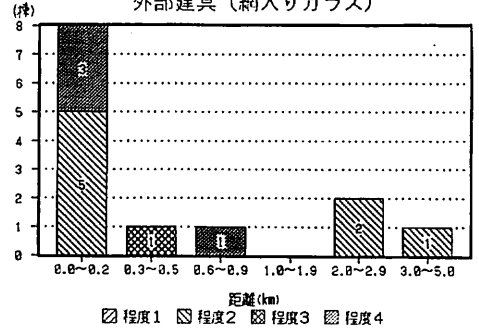


表39-2 外部建具（網入りガラス）の被害状況（木造）

被害度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染等	0(-%)	0(-%)	0(-%)
2	錆付着	1(50%)	1(50%)	0(-%)
3	破損、一部腐食	0(-%)	0(-%)	0(-%)
4	腐食等	1(50%)	1(50%)	0(-%)
合計		2(100%)	2(100%)	0(-%)

図26-2 沿岸距離別棟数（木造）
外部建具（網入りガラス）

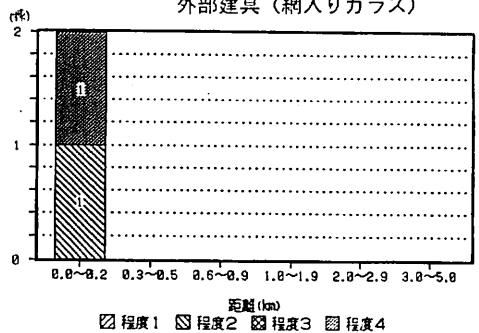
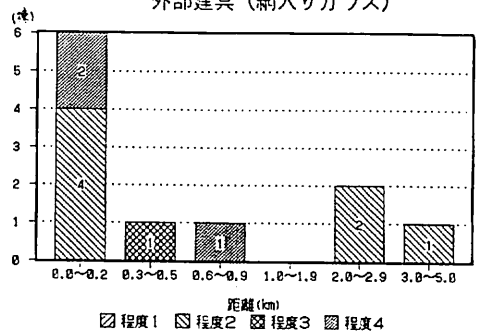


表39-3 外部建具（網入りガラス）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染等	0(-%)	0(-%)	0(-%)
2	錆付着	7(64%)	4(50%)	3(100%)
3	破損、一部腐食	1(8%)	1(13%)	0(-%)
4	腐食等	3(27%)	3(37%)	0(-%)
合計		11(100%)	8(100%)	3(100%)

図26-3 沿岸距離別棟数（非木造）
外部建具（網入りガラス）



外部建具のうち網入りガラスについては、今回被害があったとした家屋は13棟で全体の12.4%となっており、1割程度という状況である。また、図26のとおり、被害の見られる家屋のうち69%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるが、前記の出入口と同様、2km以上に在する家屋についても23%を占めるという結果となっている。

しかし、一般的にみれば0.5km以内に家屋が集中しており、さらに、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造ではわずか2棟で全体の6.7%、非木造では11棟で全体の14.7%となっており、木造に比べ、非木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

(5) その他

ア 軒樋

軒樋については、設置している家屋が232棟あり、そのうち被害が見られた家屋は表40のとおり、全構造で44棟（全体の19.0%）、また、その内訳として、木造が29棟（木造全体の24.4%）、非木造が15棟（非木造全体の13.3%）となっている（図27参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表41のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図28のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表41-2、距離別棟数が図28-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表41-3、距離別棟数が図28-3のとおりである。

表40 その他(軒樋)の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)
全棟数	44棟	188棟	232棟	19.0
うち2km未満	35	115	150	23.3
うち2km以上	9	73	82	11.0
全棟数	29棟	90棟	119棟	24.4
うち2km未満	24	55	79	30.4
うち2km以上	5	35	40	12.5
全棟数	15棟	98棟	113棟	13.3
うち2km未満	11	60	71	15.5
うち2km以上	4	38	42	9.5

図27 被害棟数割合
その他(軒樋)

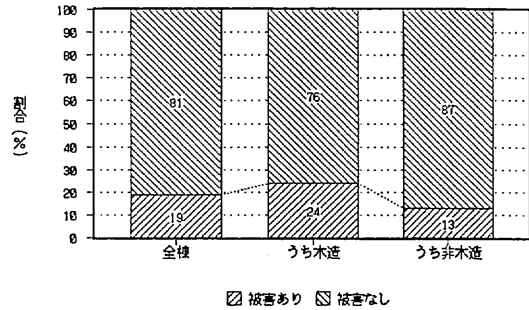


表41 その他(軒樋)の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離	1(2%)	1(3%)	0(-%)
2	止め金具錆付着	20(45%)	16(46%)	4(44%)
3	止め金具一部腐食・欠落	10(23%)	8(17%)	4(44%)
4	止め金具腐食・欠落	13(30%)	12(34%)	1(12%)
合計		44(100%)	35(100%)	9(100%)

図28 沿岸距離別棟数
その他(軒樋)

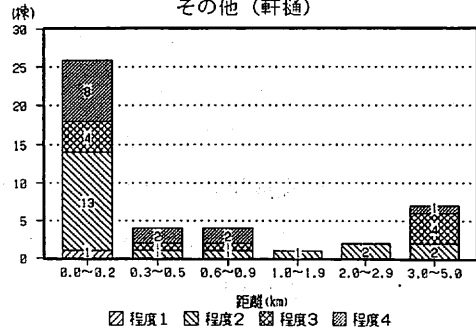


表41-2 その他(軒樋)の被害状況(木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離	1(3%)	1(4%)	0(-%)
2	止め金具錆付着	13(45%)	10(42%)	3(60%)
3	止め金具一部腐食・欠落	7(24%)	5(21%)	2(40%)
4	止め金具腐食・欠落	8(28%)	8(33%)	0(-%)
合計		29(100%)	24(100%)	5(100%)

図28-2 沿岸距離別棟数(木造)
その他(軒樋)

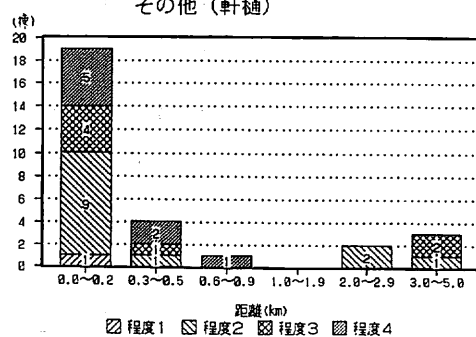
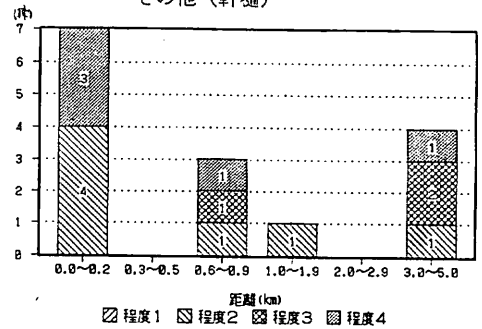


表41-3 その他(軒樋)の被害状況(非木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離	0(-%)	0(-%)	0(-%)
2	止め金具附付着	7(47%)	6(55%)	1(25%)
3	止め金具一部腐食・欠落	3(20%)	1(8%)	2(50%)
4	止め金具腐食・欠落	5(33%)	4(36%)	1(25%)
合計		15(100%)	11(100%)	4(100%)

図28-3 沿岸距離別棟数(非木造)
その他(軒樋)



軒樋については、今回被害があったとした家屋は44棟で全体の19.0%となっており、2割弱という状況である。また、図28のとおり、被害の見られる家屋のうち68%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるという結果となっている。また、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では29棟で全体の24.4%、非木造では15棟で全体の13.3%となっており、非木造に比べ、木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

イ たて樋

たて樋については、設置している家屋が375棟あり、そのうち被害が見られた家屋は表42のとおり、全構造で114棟(全体の30.4%)、また、その内訳として、木造が31棟(木造全体の26.1%)、非木造が83棟(非木造全体の32.4%)となっている(図29参照)。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表43のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図30のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表43-2、距離別棟数が図30-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表43-3、距離別棟数が図30-3のとおりである。

表42 その他（たて樋）の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)	
全構造	全棟数	114棟	261棟	375棟	30.4
	うち2km未満	88	163	251	35.1
	うち2km以上	26	98	124	21.0
木造	全棟数	31棟	88棟	119棟	26.1
	うち2km未満	26	54	80	32.5
	うち2km以上	5	34	39	12.8
非木造	全棟数	83棟	173棟	256棟	32.4
	うち2km未満	62	109	171	36.3
	うち2km以上	21	64	85	24.7

図29 被害棟数割合
その他（たて樋）

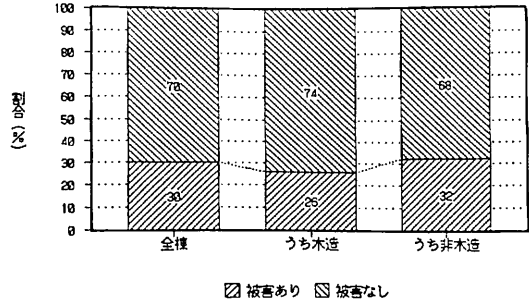


表43 その他（たて樋）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離	5(4%)	2(2%)	3(12%)
2	止め金具附付着	66(58%)	51(68%)	15(57%)
3	止め金具一部腐食・欠落	12(11%)	9(10%)	3(12%)
4	止め金具腐食・欠落	31(27%)	26(30%)	5(19%)
合計		114(100%)	88(100%)	26(100%)

図30 沿岸距離別棟数
その他（たて樋）

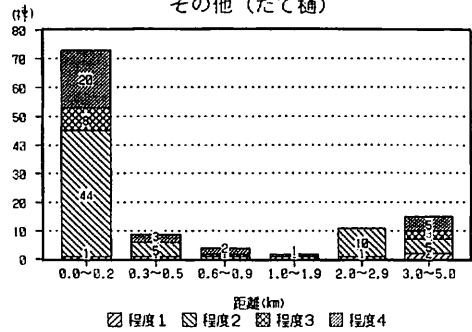


表43-2 その他（たて樋）の被害状況（木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離	3(10%)	2(8%)	1(20%)
2	止め金具附付着	19(61%)	15(57%)	4(80%)
3	止め金具一部腐食・欠落	2(6%)	2(8%)	0(-%)
4	止め金具腐食・欠落	7(23%)	7(27%)	0(-%)
合計		31(100%)	26(100%)	5(100%)

図30-2 沿岸距離別棟数（木造）
その他（たて樋）

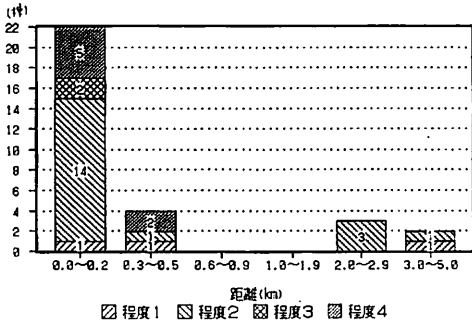
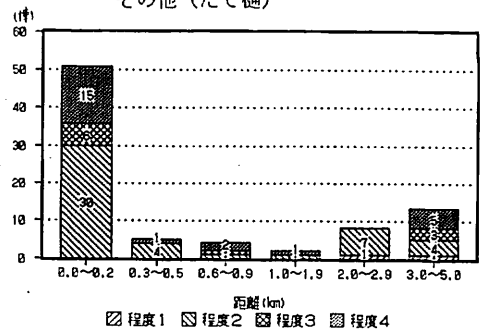


表43-3 その他（たて樋）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離	2(2%)	0(-%)	2(10%)
2	止め金具附付着	47(57%)	36(58%)	11(52%)
3	止め金具一部腐食・欠落	10(12%)	7(11%)	3(14%)
4	止め金具腐食・欠落	24(29%)	19(31%)	5(24%)
合計		83(100%)	62(100%)	21(100%)

図30-3 沿岸距離別棟数（非木造）
その他（たて樋）



たて樋については、今回被害があるとした家屋は114棟で全体の30.4%となっており、軒樋と比較し被害が目立っているという状況にある。また、図30のとおり、被害の見られる家屋のうち72%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるという結果となっている。また、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があるとした家屋が、木造では31棟で全体の26.1%、非木造では83棟で全体の32.4%となっており、木造に比べ、非木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

ウ 戸袋

戸袋については、設置している家屋が234棟あり、そのうち被害が見られた家屋は表44のとおり、全構造で61棟（全体の26.1%）、また、その内訳として、木造が26棟（木造全体の22.6%）、非木造が35棟（非木造全体の29.4%）となっている（図31参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表45のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図32のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表45-2、距離別棟数が図32-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表45-3、距離別棟数が図32-3のとおりである。

表44 その他(戸袋)の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)	
全棟造	全棟数	61棟	173棟	234棟	26.1
	うち2km未満	48	118	166	28.9
木造	全棟数	13	55	68	19.1
	うち2km未満	26棟	89棟	115棟	22.6
非木造	全棟数	20	57	77	26.0
	うち2km未満	6	32	38	15.8
全棟造	全棟数	35棟	84棟	119棟	29.4
	うち2km未満	28	61	89	31.5
木造	全棟数	7	23	30	23.3
	うち2km未満				

図31 被害棟数割合
その他(戸袋)

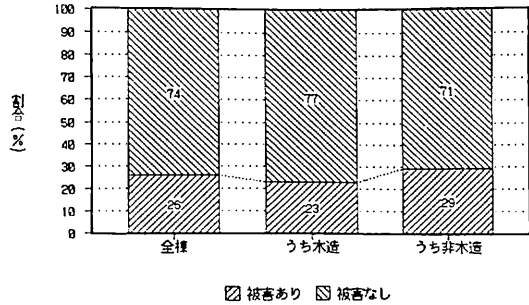


表45 その他(戸袋)の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離	14(23%)	8(17%)	6(46%)
2	錆付着、軽微なゆるみ等	23(38%)	17(35%)	6(46%)
3	破損、膨張等	5(8%)	5(10%)	0(-%)
4	腐食	19(31%)	18(38%)	1(8%)
合計		61(100%)	48(100%)	13(100%)

図32 沿岸距離別棟数
その他(戸袋)

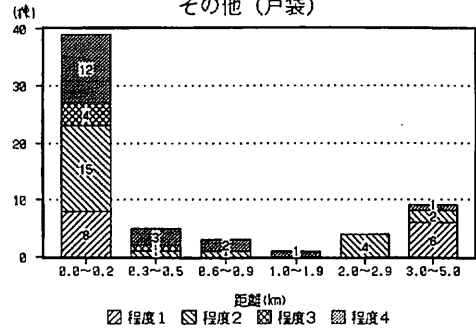


表45-2 その他(戸袋)の被害状況(木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離	5(19%)	4(20%)	1(17%)
2	錆付着、軽微なゆるみ等	9(35%)	4(20%)	5(83%)
3	破損、膨張等	3(11%)	3(15%)	0(-%)
4	腐食	9(35%)	9(45%)	0(-%)
合計		26(100%)	20(100%)	6(100%)

図32-2 沿岸距離別棟数(木造)
その他(戸袋)

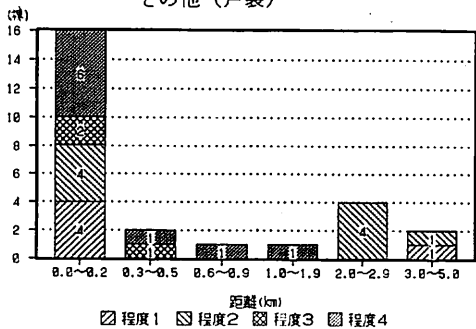
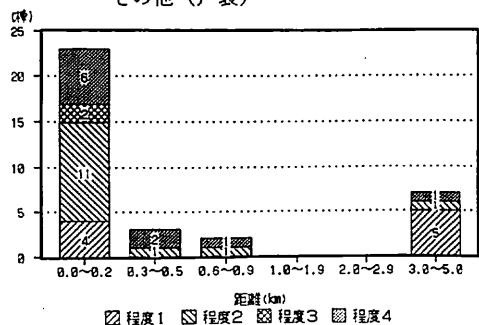


表45-3 その他(戸袋)の被害状況(非木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち2km未満	うち2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離	9(26%)	4(14%)	5(72%)
2	錆付着、軽微なゆるみ等	14(40%)	13(47%)	1(14%)
3	破損、膨張等	2(6%)	2(7%)	0(-%)
4	腐食	10(28%)	9(32%)	1(14%)
合計		35(100%)	28(100%)	7(100%)

図32-3 沿岸距離別棟数(非木造)
その他(戸袋)



戸袋については、今回被害があったとした家屋は61棟で全体の26.1%となっており、たて樋と同様に被害が目立っているという状況にある。また、図32のとおり、被害の見られる家屋のうち72%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるという結果となっている。また、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では26棟で全体の22.6%、非木造では35棟で全体の29.4%となっており、木造に比べ、非木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

エ 台所換気扇フード

台所換気扇フードについては、設置している家屋が306棟あり、そのうち被害が見られた家屋は表46のとおり、全構造で53棟（全体の17.3%）、また、その内訳として、木造が25棟（木造全体の21.9%）、非木造が28棟（非木造全体の14.6%）となっている（図33参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表47のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図34のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表47-2、距離別棟数が図34-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表47-3、距離別棟数が図34-3のとおりである。

表46 その他（台所換気扇フード）の被害棟数

区 分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)
全 棟 数	53棟	253棟	306棟	17.3
うち2km未満	46	174	220	20.9
うち2km以上	7	79	86	8.1
全 棟 数	25棟	89棟	114棟	21.9
うち2km未満	24	54	78	30.8
うち2km以上	1	35	36	2.8
全 棟 数	28棟	164棟	192棟	14.6
うち2km未満	22	120	142	15.5
うち2km以上	6	44	50	12.0

図33 被害棟数割合
その他（台所換気扇フード）

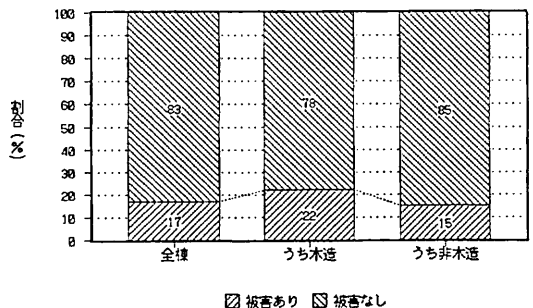


表47 その他（台所換気扇フード）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、ペンキ剥離	4(7%)	2(4%)	2(28%)
2	錆付着	35(66%)	32(70%)	3(43%)
3	破損	3(6%)	2(4%)	1(14%)
4	腐食	11(21%)	10(22%)	1(14%)
合計		53(100%)	46(100%)	7(100%)

図34 沿岸距離別棟数
その他（台所換気扇フード）

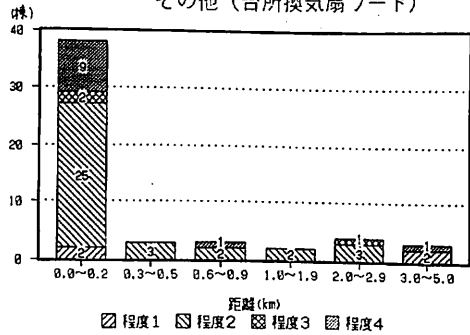


表47-2 その他（台所換気扇フード）の被害状況（木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、ペンキ剥離	1(4%)	1(4%)	0(-%)
2	錆付着	18(72%)	17(71%)	1(100%)
3	破損	1(4%)	1(4%)	0(-%)
4	腐食	5(20%)	5(21%)	0(-%)
合計		25(100%)	24(100%)	1(100%)

図34-2 沿岸距離別棟数
その他（台所換気扇フード）

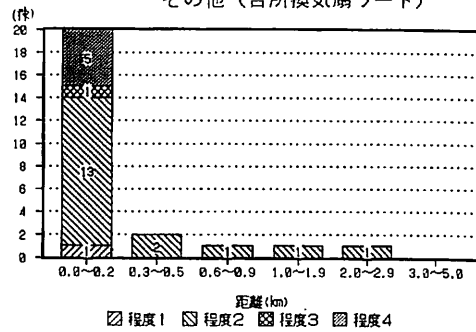
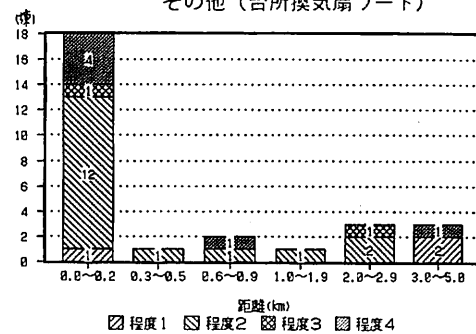


表47-3 その他（台所換気扇フード）の被害状況（非木造）

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、ペンキ剥離	3(11%)	1(5%)	2(33%)
2	錆付着	17(61%)	15(68%)	2(33%)
3	破損	2(7%)	1(4%)	1(17%)
4	腐食	6(21%)	5(23%)	1(17%)
合計		28(100%)	22(100%)	6(100%)

図34-3 沿岸距離別棟数
その他（台所換気扇フード）



台所換気扇フードについては、今回被害があったとした家屋は 53棟で全体の17.3%となっており、2割弱という状況である。また、図34のとおり、被害の見られる家屋のうち77%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるという結果となっている。また、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があった家屋が、木造では25棟で全体の21.9%、非木造では28棟で全体の14.6%となっており、非木造に比べ、木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

オ 床下換気口金物

床下換気口金物については、設置している家屋が238棟あり、そのうち被害が見られた家屋は表48のとおり、全構造で37棟（全体の15.5%）、また、その内訳として、木造が15棟（木造全体の14.7%）、非木造が22棟（非木造全体の16.2%）となっている（図35参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表49のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図36のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表49-2、距離別棟数が図36-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表49-3、距離別棟数が図36-3のとおりである。

表48 その他（床下換気口金物）の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)
全構造	37棟	201棟	238棟	15.5
うち2km未満	28	139	167	16.8
うち2km以上	9	62	71	12.7
木造	15棟	87棟	102棟	14.7
うち2km未満	13	57	70	18.6
うち2km以上	2	30	32	6.3
非木造	22棟	114棟	136棟	16.2
うち2km未満	15	82	97	15.5
うち2km以上	7	32	39	17.9

図35 被害棟数割合
その他（床下換気口金物）

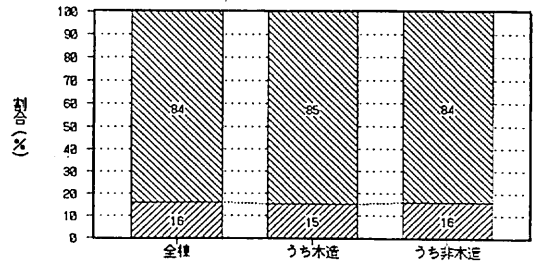


表49 その他（床下換気口金物）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、ベンキ剥離	0(-)	0(-)	0(-)
2	錆付着	19(51%)	12(43%)	7(78%)
3	破損	5(14%)	4(14%)	1(11%)
4	腐食、欠落	13(35%)	12(43%)	1(11%)
合計		37(100%)	28(100%)	9(100%)

図36 沿岸距離別棟数
その他（床下換気口金物）

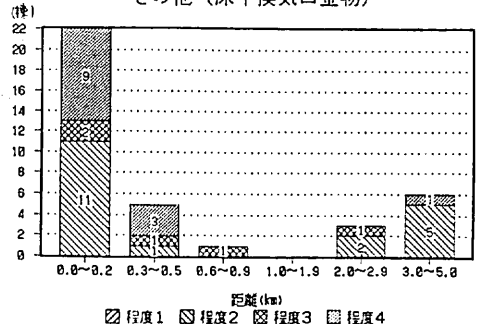


表49-2 その他(床下換気口金物)の被害状況(木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (棟成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、ペンキ剥離	0(-)	0(-)	0(-)
2	錆付着	7(47%)	6(46%)	1(50%)
3	破損	3(20%)	2(15%)	1(50%)
4	腐食、欠落	5(33%)	5(39%)	0(-)
合計		15(100%)	13(100%)	2(100%)

図36-2 沿岸距離別棟数(木造)
その他(床下換気口金物)

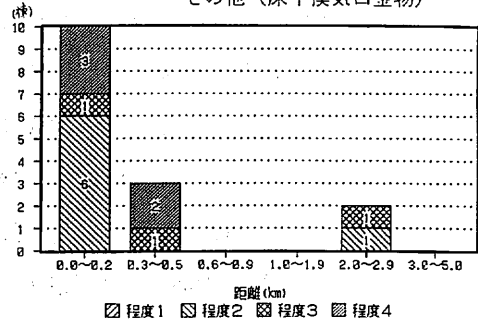
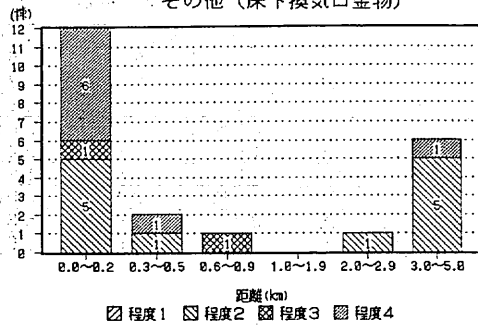


表49-3 その他(床下換気口金物)の被害状況(非木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (棟成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、ペンキ剥離	0(-)	0(-)	0(-)
2	錆付着	12(55%)	6(40%)	6(86%)
3	破損	2(9%)	2(13%)	0(-)
4	腐食、欠落	8(36%)	7(47%)	1(14%)
合計		22(100%)	15(100%)	7(100%)

図36-3 沿岸距離別棟数(非木造)
その他(床下換気口金物)



床下換気口金物については、今回被害があったとした家屋は37棟で全体の15.5%となっており、2割弱という状況である。また、図36のとおり、被害の見られる家屋のうち73%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるが、一方で2km以上に在する家屋についても24%を占めるという結果となっている。

しかし、全般的にみれば0.5km以内に家屋が集中しており、さらに、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では15棟で全体の14.7%、非木造では22棟で全体の16.2%となっており、木造に比べ、非木造でやや多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

カ 屋外設置設備機器

屋外設置設備機器については、設置している家屋が105棟ありねそのうち被

害が見られた家屋は表50のとおり、全構造で70棟（全体の66.7%）、また、その内訳として、木造が22棟（木造全体の61.1%）、非木造が48棟（非木造全体の69.6%）となっている（図37参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表51のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図38のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表51-2、距離別棟数が図38-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表51-3、距離別棟数が図38-3のとおりである。

表50 その他（屋外設置設備機器）の被害棟数

区 分		被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(X%)
全構造	全棟数	70棟	35棟	105棟	66.7
	うち2km未満	53	24	77	68.8
	うち2km以上	17	11	28	60.7
木造	全棟数	22棟	14棟	36棟	61.1
	うち2km未満	16	8	24	66.7
	うち2km以上	6	6	12	50.0
非木造	全棟数	48棟	21棟	69棟	69.6
	うち2km未満	37	16	53	69.8
	うち2km以上	11	5	16	68.8

図37 被害棟数割合
その他（屋外設置設備機器）

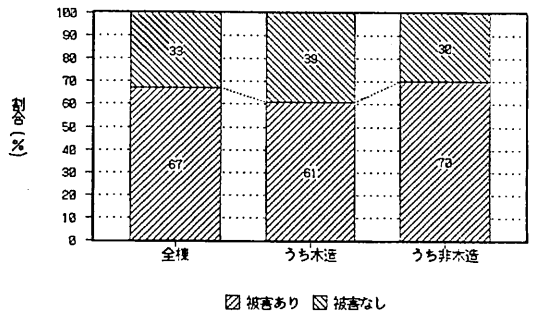


表51 その他（屋外設置設備機器）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、亀裂、ペンキ剥離	2(3%)	2(4%)	0(-%)
2	腐付着	56(80%)	41(77%)	15(88%)
3	一部腐食	1(1%)	1(2%)	0(-%)
4	腐食、欠落	10(15%)	8(15%)	2(12%)
5	交換済み	1(1%)	1(2%)	0(-%)
合計		70(100%)	53(100%)	17(100%)

図38 沿岸距離別棟数
その他（屋外設置設備機器）

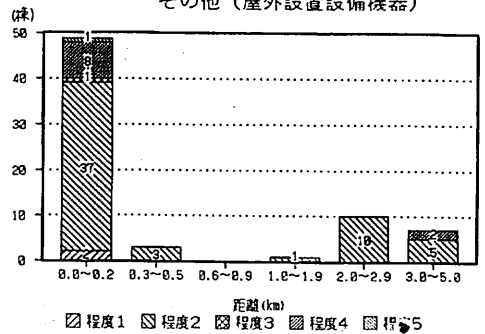


表51-2 その他（屋外設置設備機器）の被害状況（木造）

被害度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、亀裂、ペンキ剥離	1(5%)	1(6%)	0(-%)
2	錆付着	19(86%)	14(88%)	5(63%)
3	一部腐食	0(-%)	0(-%)	0(-%)
4	腐食、欠落	2(9%)	1(6%)	1(17%)
5	交換済み	0(-%)	0(-%)	0(-%)
合計		22(100%)	16(100%)	6(100%)

図38-2 沿岸距離別棟数（木造）
その他（屋外設置設備機器）

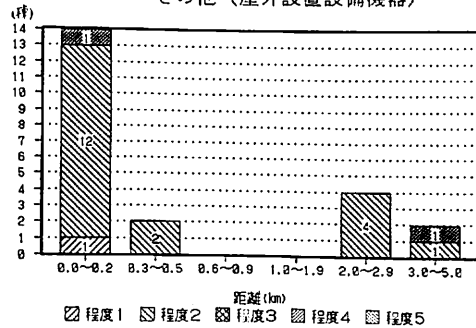
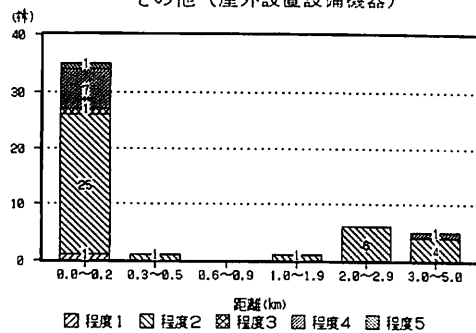


表51-3 その他（屋外設置設備機器）の被害状況（非木造）

被害度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	汚染、亀裂、ペンキ剥離	1(2%)	1(3%)	0(-%)
2	錆付着	37(77%)	27(72%)	10(91%)
3	一部腐食	1(2%)	1(3%)	0(-%)
4	腐食、欠落	8(17%)	7(19%)	1(9%)
5	交換済み	1(2%)	1(3%)	0(-%)
合計		48(100%)	37(100%)	11(100%)

図38-3 沿岸距離別棟数（非木造）
その他（屋外設置設備機器）



屋外設置設備機器については、今回被害があったとした家屋は70棟で全体の66.7%となっており、他の部分と比較して多数の被害が見られることとなっている（この結果は、あくまで調査結果に基づく数値であるが、屋外設置設備機器を設置しているにもかかわらず被害が見られないために回答しなかった場合もあると思われる。）。また、図38のとおり、被害の見られる家屋のうち74%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるが、2km以上に在する家屋についても24%を占めるという結果となっている。

しかし、全般的にみれば0.5km以内に家屋が集中しており、さらに、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では22棟で全体の61.1%、非木造では48棟で全体の69.6%となっており、木造に比べ、

非木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

キ その他

その他には、前記までに掲げた部分以外として、主にベランダ、バルコニー、屋外階段、シャッター等が設置されていた。

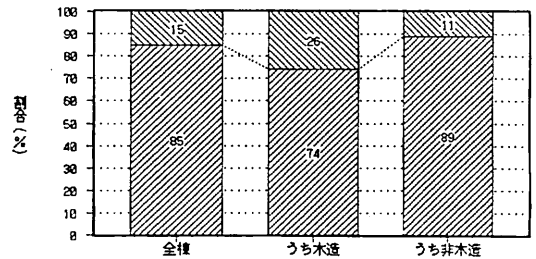
これらの設備等を設置している家屋は100棟あり、そのうち被害が見られた家屋は表52のとおり、全構造で85棟（全体の85.0%）、また、その内訳として、木造が20棟（木造全体の74.1%）、非木造が65棟（非木造全体の89.0%）となっている（図39参照）。

また、家屋毎の被害の程度別による棟数は、全構造でみると表53のとおりであり、さらに、沿岸から家屋までの距離別棟数の状況は図40のとおりである。そのうち、木造のみの状況は、程度別棟数が表53-2、距離別棟数が図40-2のとおりであり、非木造のみの状況は、程度別棟数が表53-3、距離別棟数が図40-3のとおりである。

表52 その他（その他）の被害棟数

区分	被害あり A	被害なし B	A+B C	A/C(%)
全構造	85棟	15棟	100棟	85.0
うち2km未満	58	10	68	85.3
うち2km以上	27	5	32	84.4
木造	20棟	7棟	27棟	74.1
うち2km未満	15	4	19	78.9
うち2km以上	5	3	8	62.5
非木造	65棟	8棟	73棟	89.0
うち2km未満	43	6	49	87.8
うち2km以上	22	2	24	91.7

図39 被害棟数
その他（その他）

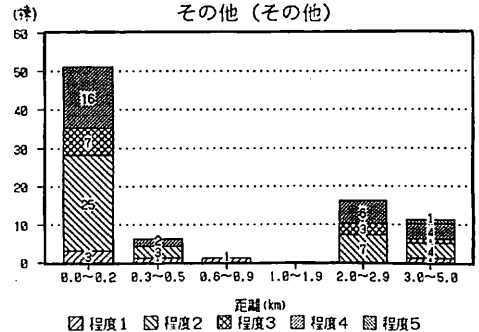


■ 被害あり □ 被害なし

表53 その他（その他）の被害状況

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剥離等	6(7%)	5(9%)	1(4%)
2	精付着	39(46%)	28(48%)	11(40%)
3	破損、一部腐食	11(13%)	7(12%)	4(15%)
4	腐食	28(33%)	18(31%)	10(37%)
5	腐食顕著	1(1%)	0(-%)	1(4%)
合計		85(100%)	58(100%)	27(100%)

図40 沿岸距離別棟数
その他（その他）



■ 程度1 ■ 程度2 ■ 程度3 ■ 程度4 ■ 程度5

表53-2 その他(その他)の被害状況(木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剝離等	2(10%)	2(13%)	0(-%)
2	錆付着	8(40%)	6(40%)	2(40%)
3	破損、一部腐食	4(20%)	3(20%)	1(20%)
4	腐食	6(30%)	4(27%)	2(40%)
5	腐食顕著	0(-%)	0(-%)	0(-%)
合計		20(100%)	15(100%)	5(100%)

図40-2 沿岸距離別棟数(木造)
その他(その他)

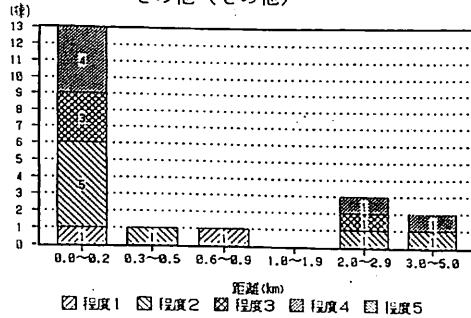
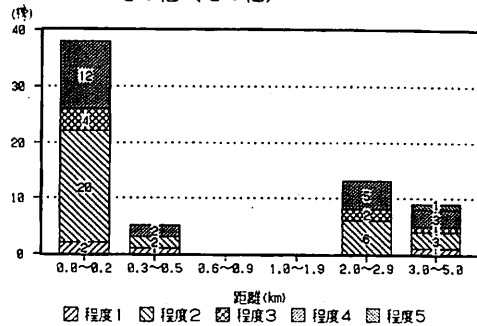


表53-3 その他(その他)の被害状況(非木造)

損傷度	被害の程度	棟数 (構成比)	うち 2km未満	うち 2km以上
1	変色、汚染、ペンキ剝離等	4(6%)	3(7%)	1(5%)
2	錆付着	31(48%)	22(51%)	9(41%)
3	破損、一部腐食	7(11%)	4(9%)	3(13%)
4	腐食	22(34%)	14(33%)	8(38%)
5	腐食顕著	1(1%)	0(-%)	1(5%)
合計		65(100%)	43(100%)	22(100%)

図40-3 沿岸距離別棟数(非木造)
その他(その他)



その他の部分については、今回被害があったとした家屋は85棟で全体の85.0%となっており、屋外設置設備機器と同様、他の部分と比較して多数の被害が見られることとなっている(この結果は、あくまで調査結果に基づく数値である。以下、屋外設置設備機器と同じ。)。また、図40のとおり、被害の見られる家屋のうち67%が沿岸から0.5km以内に在する家屋であるが、2km以上に在する家屋についても32%を占めるという結果となっている。

しかし、一般的にみれば0.5km以内に家屋が集中しており、さらに、被害の程度についても、同様に0.5kmまでの区分に被害の程度の重い家屋が集中していることがわかる。

また、木造及び非木造の別では、今回被害があったとした家屋が、木造では20棟で全体の74.1%、非木造では65棟で全体の89.0%となっており、木造に比べ、非木造でより多く被害が現れている結果となっているが、被害のあった家屋の

程度別の分布状況等については、ほぼ同様の傾向を示していることがわかる。

この結果、当該部分についても屋根と同様のことが言える。

Ⅲ まとめ

以上、家屋の各部分別に屋根、基礎、外壁、外部建具及びその他の各項目毎にその被害の状況を分類・集計し分析したところ、概ね全部分を通じ、回答された家屋は沿岸から500m以内に集中し、また、被害の程度についても比較的程度の重い家屋が集中する場合がほとんどであり、それ以上沿岸から離れることにより被害の程度も弱まり、棟数も減少する傾向にあるということが言える。

ただし、一部で2kmを超える場所に在する家屋についても相当の被害が見られるが、一概に潮風による被害であるは言い難く、今回の調査項目にある台風による被害や家屋の時の経過による損耗等の他の要因も十分に考えられるところであり、また、仮に潮風による被害を受ける範囲にある家屋であるとしても、当該家屋の所在する地域の風向き、地勢等により被害の状況も左右されることが考えられるところである。

このように、今回の調査で目的とした潮風による被害は、一市町村内において全般的に発生しているものではなく、沿岸付近を中心とした一部の家屋に限られることから、固定資産評価基準により定められている積雪、寒冷補正と同様に、地域指定によって潮風被害による損耗を考慮することは困難であると考えられる。

このため、潮風による被害が明らかに見受けられる家屋にあっては、現行の制度で定められている損耗減点補正率を適用することにより、個々の状況に応じた措置を講じることが望ましいものと思われる。

なお、今回の調査は、台風常襲地域である四国、九州地区を対象に行ったが、今後さらに機会があれば、調査項目の内容及び整理集計方法等について検討を加えたいうえで、今回の調査対象地域となっていない他の沿岸地域についても調査研究を行い、今回の調査結果と比較検討することも意義があるものと考えられる。

IV 計数資料

1 各部分別被害の損傷一覧

県名	沿岸距離		① 屋根		仕上形式等	階層			範囲	損傷の程度
	2km未満	2km以上	方位	全面		1階	2階	3～		
高知県	○				スレート瓦			1	8割	1 変色
佐賀県	○		全面		セメント瓦			1	全部	3 損傷が見られる
佐賀県	○		全面		セメント瓦			1	全部	1 汚染
佐賀県	○	○	全面		着色亜鉛鉄板折板			1	全部	2 錆が多少見られる
長崎県	○		北東		亜鉛鉄板折板			1	全部	2 錆発生
長崎県	○		南西		日本瓦平葺			1	全部	1 色あせ
長崎県	○		北西		セメント瓦			1	全部	1 色劣化
大分県	○				セメント瓦(色吹)			1	全面	3 色あせ、ひび割れ
宮崎県	○							1	全面	2 止め金具の腐食
鹿児島県	○				亜鉛鉄板			1	一部	2 錆発生
鹿児島県	○		全面		亜鉛メッキ板			1	全部	2 錆発生
鹿児島県	○		全面		亜鉛鉄板			1	一部	1 ハンコ割離
鹿児島県	○		全面		亜鉛鉄板			1	一部	1 ハンコ割離
鹿児島県	○		全面		亜鉛鉄板			1	一部	1 ハンコ割離
鹿児島県	○		全面		亜鉛鉄板			1	一部	1 ハンコ割離
鹿児島県	○		全面		亜鉛鉄板			1	全部	2 ハンコ割離、錆発生
鹿児島県	○		全面		亜鉛鉄板			1	全部	1 ハンコ割離
鹿児島県	○		全面		亜鉛鉄板			1	全部	2 錆発生
鹿児島県	○		全面		亜鉛鉄板			1	全部	2 ハンコ割離、錆発生
鹿児島県	○	○	全面					1	1/2程度	2 ハンコ割離、錆発生
鹿児島県	○		全面		亜鉛鉄板			1	一部	2 錆発生
鹿児島県	○	○			亜鉛鉄板			1	1/3	4 一部腐朽
鹿児島県	○		北西		杉			1	全部	2 トタンに錆付着
鹿児島県	○		全面		亜鉛鉄板			1	全部	4 錆発生一部腐食
鹿児島県	○		全面		コンクリート			1	下部部分	1 小さい亀裂発生
鹿児島県	○		全面		モルタル			1	全部	3 部分的に腐食
鹿児島県	○		全面		モルタル、金ごて仕上			1	全部	3 表面の腐食
沖縄県	○							1	一部	1 少々
沖縄県	○	○	北		モルタル			1	一部	1 少々
沖縄県	○		北		モルタル			1	一部	1 少々
沖縄県	○		北		モルタル			1	一部	1 少々

県名	沿岸距離		屋根		階				範囲	損傷の程度
	2km未満	2km以上	方位	仕上形式等	階			階		
					全面	1階	2階			
徳島県	○		全面	シート防水				1	一部	1 少しのひび割れ
徳島県	○		全面	シート防水、日本瓦				1	一部	2 シート防水のはげ落ち
香川県		○		着色亜鉛鉄板瓦葺				1		1 ベンキの剥げ
高知県	○			スレート瓦				1	8割	1 変色
佐賀県	○		全面	セメント瓦				1	全部	3 損傷が見られる
佐賀県	○		全面	セメント瓦				1	全部	3 たるき50%腐朽、汚染
佐賀県		○	全面	着色亜鉛鉄板折板				1	全部	2 錆が多少見られる
長崎県	○							1	全面	1 一部亀裂あり
長崎県	○		北東	亜鉛鉄板折板				1	全部	2 錆発生
長崎県	○		南西	日本瓦平葺				1	全部	1 色あせ
長崎県	○		北西	セメント瓦				1	全部	1 色劣化
大分県	○			セメント瓦(色吹)				1	全面	3 色あせ、ひび割れ
宮崎県		○		着色亜鉛鉄板折板				1	全面	4 表面の腐食
宮崎県	○			大波スレート				1	全面	3 止め金具の腐食
宮崎県	○			着色亜鉛鉄板瓦葺				1	全面	3 軒回りの軽度の腐食
宮崎県	○			カラーベスト				1	全面	1 変色
宮崎県	○			モルタル防水				1	全面	4 鉄筋の膨張、亀裂
鹿児島県		○	全面	スレート				1	3割程度	1 汚染
鹿児島県	○		南、北	亜鉛鉄板				1	一部	2 錆発生、ハンコ割離
鹿児島県		○	全面	亜鉛鉄板				1	全部	2 ハンコ割離、錆発生
鹿児島県		○		防水				1	全部	3 コンクリートのひび割れ
鹿児島県	○			亜鉛鉄板波板				1	全部	2 錆発生
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板				1	全部	2 トタン止め釘付近錆発生
鹿児島県	○		北、南	亜鉛鉄板				1	一部	2 錆発生
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板				1	一部	1 ハンコ割離
鹿児島県	○		全面	アスファルト防水				1	全部	2 表面仕上げの喪失
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板				1	一部	1 ハンコ割離
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板				1	一部	1 ハンコ割離
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板				1	全部	2 ハンコ割離、錆発生
鹿児島県	○		南	亜鉛鉄板				1	全部	1 ハンコ割離
鹿児島県	○			亜鉛鉄板				1	全部	2 錆発生
鹿児島県	○		北	亜鉛鋼板				1	全部	5 錆、腐食による穴空
鹿児島県	○			コンクリートタビ'ンク'				1	一部	6 ひび割れによる雨漏れ
鹿児島県	○		北西	亜鉛鉄板				1		1 ハンコ割離
鹿児島県	○		北西	亜鉛鉄板				1		2 ハンコ割離、一部錆発生
鹿児島県	○		北西	亜鉛鉄板				1	全部	3 錆発生、一部腐食
鹿児島県	○			着色亜鉛鉄板				1		2 錆発生
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板				1		2 錆発生
鹿児島県	○			亜鉛鉄板				1	3/10	3 小穴有り
鹿児島県	○		全面	着色亜鉛鉄板波板				1	軒先部	3 錆により2割腐朽
鹿児島県	○		全面	着色亜鉛鉄板瓦葺				1	全部	4 鉄板8割、棟板5割腐朽
鹿児島県	○			コンクリートタビ'ンク'押				1	全部	4 鉄筋腐食、コンクリート割離
鹿児島県	○			コンクリートタビ'ンク'押				1	一部	6 雨漏り
鹿児島県		○	東	着色亜鉛鉄板波板				1	1/2程度	3 錆による腐食
鹿児島県		○	全面	着色亜鉛鉄板波板				1	全部	3 錆による腐食
鹿児島県	○		全面	モルタル				1	全部	1 ひび割れ(補修有)
鹿児島県	○		全面	モルタル				1	全部	1 ひび割れ(補修有)
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板				1	全部	1 塗剥劣化
鹿児島県	○			モルタル				1	一部	1 ひび割れ
鹿児島県	○							1		6 不明(漏水有)
鹿児島県	○			ルーフィング				1		6 不明(漏水有)
鹿児島県	○		全面	リシン吹付				1	3/5	1 亀裂、汚染
鹿児島県		○						1		6 雨漏
鹿児島県		○	全面	亜鉛鉄板波板				1	1/3	3 腐朽
鹿児島県		○	北					1		6 雨漏
鹿児島県	○		北西	亜鉛鉄板				1	全部	2 トタンに錆付着
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板				1	全部	4 錆発生一部腐食
鹿児島県	○		全面	コンクリート				1	下部部分	1 小さい亀裂発生
鹿児島県	○		全面	モルタル				1	全部	3 部分的に腐食
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板瓦葺				1	全部	2 錆発生
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板				1	全部	4 錆発生、腐食
鹿児島県	○		全面	モルタル防水				1	全部	1 毛状亀裂
鹿児島県	○		全面	モルタル防水				1	全部	1 毛状亀裂
鹿児島県	○		全面	モルタル防水				1	全部	1 毛状亀裂
鹿児島県	○		南	亜鉛鉄板				1	全部	3 腐食

県名	沿岸距離		① 屋根						
	2 km未満	2 km以上	② 屋根面		階 級			範 囲	損傷の程度
			方位	仕上形式等	全面	1階	2階		
沖縄県	○		全面	亜鉛メッキ鋼板		1		全部	2 止め金具に錆付着
沖縄県	○		全面	珪藻土、金ごて仕上		1		全部	3 表面の腐食
沖縄県	○			瓦		1			1 少々
沖縄県	○		全面	在来瓦		1		全部	1 汚染
沖縄県	○		全面	コンクリート直仕上		1		下部	3 深い亀裂、鉄筋露出
沖縄県		○	全面	コンクリート直仕上			1	全部	3 コンクリート脱落、深い亀裂
沖縄県		○	全面	コンクリート直仕上		1		全部	3 コンクリート脱落、亀裂、汚染
沖縄県	○			トタン		1		一部	2 錆付着
沖縄県	○			トタン		1		全部	3 錆、腐食
沖縄県	○					1		一部	1 亀裂

県名	沿岸距離		屋根		方位	仕上形式等	階 層			範 囲	損傷度	損傷の程度
	2 km 未満	2 km 以上	全	1階			2階3～					
							全	1階				
徳島県	○		西			コンクリート打放タイル吹		1		下側一部	1	小さいひび割れ
徳島県		○	南			プリント合板	1			一部	3	雨水が浸透し腐敗
香川県	○		西			石綿セメント平板防水				1	2	はがれ落ち
愛媛県	○		北西			タル木、板	1			全体	1	潮しぶきによる変質
高知県	○					スレート瓦			1	8割	1	変色
佐賀県	○		全面			セメント瓦			1	全部	3	損傷が見られる
佐賀県		○	全面			日本瓦		1		玄関部	4	裏板押さえ板腐朽
佐賀県	○		全面			セメント瓦	1	1		全部	3	たるき50%腐朽、汚染
佐賀県		○	全面			着色亜鉛鉄板折板	1			全部	2	錆が多少見られる
長崎県	○					木製			1	全部	1	塗装落ち
長崎県		○				プリント合板	1			一部	2	一部損傷
長崎県			北東			亜鉛鉄板折板	1			全部	2	錆発生
長崎県	○		南西			日本瓦平葺	1			全部	1	軒木が変色(白)
長崎県	○		北西			セメント瓦	1	1		全部	1	色劣化
熊本県						スレート(O.P)			1		2	車庫の軒筋に鉄筋の錆
大分県	○					セメント瓦(色吹)			1	全面	3	色あせ、ひび割れ
宮崎県	○		南東			石膏ボード・ペイント	1			全面	3	止め金具の腐食
宮崎県	○		北			石膏ボード・ペイント	1			全面	2	塗装一部剥がれ落ち
宮崎県	○					モルタル	1	1		全面	2	一部剥がれ落ち
鹿児島県		○	全面			亜鉛鉄板	1			全部	1	緑青色化
鹿児島県	○		全面			亜鉛鉄板	1			全部	2	軒端20cm程度錆発生
鹿児島県	○		全面			亜鉛メッキ板(瓦葺)	1	1		全部	2	軒先5cm錆、裏板腐朽
鹿児島県		○	全面			亜鉛鉄板	1	1		軒先20cm	2	相当の錆付番
鹿児島県	○		東			角波鋼板	1	1		全部	2	錆発生
鹿児島県		○	北			アルミサッシ	1			全部	2	錆発生
鹿児島県		○	南西			リシン吹付			1	一部	5	コンクリート剝離、鉄筋露出
鹿児島県		○	北			リシン吹付	1			一部	5	鉄筋の露出
鹿児島県	○					鉄製			1		2	錆発生
鹿児島県	○					亜鉛鉄板	1			全部	3	一部腐食
鹿児島県	○					亜鉛鉄板波板	1			全部	2	錆発生
鹿児島県	○		全面			亜鉛鉄板	1			全部	2	トコ止め釘付近錆発生
鹿児島県	○		全面			亜鉛鉄板	1			全部	2	軒下鉄板錆発生
鹿児島県	○		北、南			コンクリート	1			一部	1	モルタルひび割れ
鹿児島県		○	全面			亜鉛鉄板	1			一部	1	ハンコ剝離
鹿児島県	○					モルタル引込タイル吹	1			一部	1	亀裂発生
鹿児島県	○		西、南			モルタルリシン吹付			1	一部	2	表面仕上げ剝離
鹿児島県	○		全面			モルタルリシン吹付	1			一部	2	亀裂、はだ別れ
鹿児島県	○		全面			モルタルリシン吹付二丁掛タイル			1	四隅	2	表面剝離
鹿児島県	○		全面			板張	1			一部	1	ハンコ剝離
鹿児島県	○		全面			合板	1			全部	2	釘に錆発生
鹿児島県	○					亜鉛鉄板	1			全部	1	ハンコ剝離
鹿児島県	○					亜鉛鉄板	1			全部	2	錆発生
鹿児島県	○		全面			着色亜鉛鉄板	1			1/3程度	2	錆発生
鹿児島県	○					勾配亜鉛鉄板	1				2	錆発生
鹿児島県		○	全面			亜鉛鉄板	1				2	錆発生
鹿児島県	○		全面			リシン吹付			1	一部	1	ひび割れ
鹿児島県	○		北			リシン吹付			1	全部	4	鉄筋腐食膨張、リシン欠落
鹿児島県	○		北			リシン吹付			1	一部	4	鉄筋腐食膨張、リシン欠落
鹿児島県	○		北			リシン吹付			1	一部	4	鉄筋腐食膨張、リシン欠落
鹿児島県	○		北西			リシン吹付	1				1	ハンコ剝離
鹿児島県	○		北西			リシン吹付	1				2	一部錆発生
鹿児島県	○		東			リシン吹付			1	全部	5	コンクリート剝離、鉄筋露出
鹿児島県	○		東			モルタル	1			全部	5	コンクリート剝離、鉄筋露出
鹿児島県	○		南			モルタル	1			1/4	1	ひび割れ
鹿児島県	○		全面			亜鉛鉄板	1			軒下 上部	2	錆発生
鹿児島県	○		南東			モルタル	1	1		3/10	2	亀裂、錆発生
鹿児島県	○		南			板	1				2	一部損傷
鹿児島県	○		全面			木製	1			全部	2	塗装剝離
鹿児島県	○		全面			杉板	1	1		全部	2	腐食、塗装剝離
鹿児島県	○		西			タイル吹付	1	1		軒裏全部	2	化粧板破損
鹿児島県	○		全面			モルタル、アクリルリシン吹付	1	1		全部	4	コンクリート剝離、鉄筋錆付
鹿児島県	○		全面			モルタル、アクリルリシン吹付	1	1		1/2	4	コンクリート剝離、鉄筋錆付
鹿児島県		○	西			タイル吹付	1			1/2	1	滑り不能の汚染
鹿児島県		○	全面			モルタル、アクリルリシン吹付			1	1/5	2	汚染、表面仕上げ喪失
鹿児島県	○		南西			モルタル、リシン吹付	1			2/5	6	塗装剝離、亀裂(雨漏)
鹿児島県	○		西			タイル吹付	1			一部	1	亀裂

県名	沿岸距離		屋根		仕上形式等	階層				範囲	損傷の程度	
	2 km未満	2 km以上	方位	軒		全面	階					損傷度
							1階	2階	3～			
鹿児島県	○				亜鉛鉄板		1			全部	4	錆、腐食
鹿児島県	○		北西		タイル吹付		1	1		一部	1	亀裂、汚染
鹿児島県	○		全面		ルーフィング		1	1		全部	2	錆発生
鹿児島県	○		全面		リシン吹付		1			3/5	1	亀裂、汚染
鹿児島県	○		南東		リシン吹付		1			一部	4	亀裂、破損
鹿児島県	○		南		タイル吹付		1			一部	1	塗料剝離
鹿児島県	○				亜鉛鉄板波板		1			1/3	4	腐朽
鹿児島県	○		北		タイル吹付		1	1		1/3	1	塗料剝離
鹿児島県	○		全面								4	腐食
鹿児島県	○				亜鉛鉄板		1			一部	1	軒先に亀裂
鹿児島県	○		全面		モルタル		1			全部	4	錆発生一部腐食
鹿児島県	○		全面		コンクリート		1			下部部分	1	小さい亀裂発生
鹿児島県	○		全面		モルタル			1		全部	2	亀裂大
鹿児島県	○		東		モルタル			1		1/10	3	コンクリート剝離、亀裂
鹿児島県	○		全面		杉板		1			全部	2	釘に錆付着
鹿児島県	○		全面		杉板		1			全部	2	釘に錆付着
鹿児島県	○		全面		杉板		1			全部	2	釘に錆付着
鹿児島県	○		全面		モルタル			1		全部	1	毛状亀裂
鹿児島県	○		北		アクリリック吹付			1		1/5	1	塗料剝離
鹿児島県	○		全面		アクリリック吹付		1			全部	1	毛状亀裂
鹿児島県	○		東		アクリリック吹付		1			一部	4	錆によるコンクリート浮き
鹿児島県	○		北西・東		アクリリック吹付		1			1/5	5	鉄筋腐食、コンクリート剝離
鹿児島県	○				杉板		1				3	腐食
鹿児島県	○		南		モルタル			1		一部	1	欠落
鹿児島県	○				モルタル					一部	3	欠落、鉄筋露出
沖縄県	○		東		亜鉛鉄板					1/2	4	腐食、穴空き
沖縄県	○		西		杉板張		1			一部	2	杉板剝離
沖縄県	○		全面		モルタル、金ごて仕上		1			全部	3	表面の腐食
沖縄県	○		南西		コンクリート		1			下部2箇所	3	鉄筋腐食、軽微な亀裂
沖縄県	○				沖縄瓦			1			3	釘錆、腐食
沖縄県	○		北		モルタル、金ごて仕上		1				3	鉄筋腐食、コンクリートにひ
沖縄県	○		東、南		コンクリート直仕上			1		下部1/4	2	錆付着
沖縄県	○		全面		在来瓦		1			全部	1	汚染
沖縄県	○		全面		コンクリート直仕上		1			下部	3	深い亀裂、鉄筋露出
沖縄県	○		全面		コンクリート直仕上		1			全部	3	深い亀裂、鉄筋露出
沖縄県	○		全面		コンクリート直仕上			1		下部	2	深い亀裂
沖縄県	○		北、東		コンクリート直仕上		1	1		下部	2	細い亀裂
沖縄県	○		全面		コンクリート直仕上		1	1		全部	1	浅い亀裂
沖縄県	○		全面		コンクリート直仕上		1			上部	1	浅い亀裂、汚染
沖縄県	○		全面		コンクリート直仕上		1	1		全部	3	コンクリート脱落、深い亀裂
沖縄県	○		全面		コンクリート直仕上		1			全部	3	コンクリート脱落、亀裂、汚染
沖縄県	○				トタン		1			全部	2	錆、腐食
沖縄県	○				トタン		1			全部	2	錆、腐食
沖縄県	○		北		瓦			1		一部	2	錆
沖縄県	○		北				1			全部	1	亀裂、変色

県名	沿岸距離		② 基礎			
	① 基礎		方位	仕上形式等	範囲	損傷の程度
	2 km 未満	2 km 以上				
徳島県	○		全面	布コンクリート基礎(鉄筋)	一部	1 少しのひび割れ
徳島県	○		全面	布コンクリート基礎(鉄筋)	一部	1 少しのひび割れ
徳島県	○		北西	布コンクリート基礎(有筋)	30cm位	1 多少亀裂がある
香川県	○			布コンクリート基礎		1 汚れ
高知県	○		全面	布コンクリート基礎(有筋)	一部	1 亀裂
高知県	○		全面	布コンクリート基礎(有筋)	部分的	1 汚濁
佐賀県	○		全面	布コンクリート基礎(有筋)	全部	1 亀裂が見られる
長崎県	○		北東	鉄筋コンクリート	全部	2 鉄部の錆、コンクリート風化
宮崎県	○	○		布コンクリート基礎(有筋)	全面	1 数カ所に亀裂有り
宮崎県	○			布コンクリート基礎(有筋)	全面	2 止め金具の腐食、亀裂
宮崎県	○			布コンクリート基礎(有筋)	全面	1 汚染
鹿児島県	○		北	布コンクリート基礎	一部	1 ひび割れ
鹿児島県	○		北西	布コンクリート基礎		2 錆発生
鹿児島県	○		南東	布コンクリート基礎	1/2	2 亀裂、錆発生
鹿児島県	○		全面	布コンクリート基礎(有筋)	全部	1 汚染
鹿児島県	○			布コンクリート基礎(有筋)	一部	1 亀裂
鹿児島県		○	南	布コンクリート基礎(有筋)	一部	1 亀裂
鹿児島県		○		布コンクリート基礎		1 ひび割れ
鹿児島県	○		全面	布コンクリート基礎	1/10	1 ひび割れ
鹿児島県		○	東	布コンクリート基礎	1/5	2 ひび割れ、破損
鹿児島県	○		全面	布コンクリート基礎(有筋)	全部	1 毛状亀裂
鹿児島県	○		全面	布コンクリート基礎(有筋)	全部	1 毛状亀裂
鹿児島県	○		全面	布コンクリート基礎(有筋)	全部	1 毛状亀裂
鹿児島県	○		南	布コンクリート基礎	一部	1 ひび割れ
鹿児島県	○		西	布コンクリート基礎	全部	3 基礎陥没
沖縄県	○			独立基礎	一部	3 土台腐朽

県名	船岸距離		3 外壁		① 上部				範囲	損傷度	損傷の程度
	2km以上	2km未満	方位	仕上形式等	結 核						
					全面	1階	2階	3～			
香川県	○			色吹付	1				全面	2	目地からひび割れ
香川県	○		全面	石綿ヒート系フキッ	1					1	一部変色
香川県	○		北	樹脂入り吹付	1					4	吹付塗装の一部はがれ
香川県	○		西	イモ樹脂系陶磁器		1				2	亀裂発生
香川県		○	全面	石綿ヒート系フキッ	1					1	汚染
香川県		○		樹脂入りスッコ吹付	1					2	毛状亀裂
愛媛県	○		北西	木屑塗喰壁磨上			1		一部	1	変色
愛媛県	○		南	リシン	1				全部	1	汚染
高知県	○		全面	トタン成型板モルタル吹付			1			1	ペンキ剝離
高知県	○		東西	小波トタン一部ガラス			1		一部	2	錆発生
高知県	○		全面	ボンタイル	1		1		全面	1	一部汚濁
高知県	○		北	モルタル塗装		1			一部	2	亀裂
高知県	○		全面	モルタル塗装	1				一部	2	亀裂
佐賀県	○		全面	サビインク土塗漆喰		1	1		全部	1	漆喰部が変色
佐賀県	○		全面	モルタルリシン		1	1		全部	1	汚染
佐賀県	○		全面	モルタルリシン		1	1		全部	1	汚染
佐賀県	○		全面	化粧鋼板塩化ビニル樹脂				1	全部	2	錆発生
佐賀県	○			サイディング			1		一部	1	変色
長崎県	○		北西	石膏ボード			1		一部	1	汚染
長崎県		○		プリント合板	1				一部	4	損傷
長崎県	○		東	ボンタイル	1				一部	2	亀裂
長崎県	○		東	リシン			1		一部	2	浅い亀裂
長崎県		○		石膏ボード	1				一部	1	汚染
長崎県		○		石膏ボード	1				一部	1	汚染
長崎県	○		北東	モルタル塗		1				1	コンクリートの変色
長崎県	○		南西	モルタルリシン			1			1	黄色に変色
長崎県	○			着色亜鉛鉄板スレート		1	1			4	錆による部分腐食
宮崎県		○	南	モルタルリシン吹付			1			2	浅い亀裂
宮崎県	○		南	スッコ石膏ボード			1			4	支柱の軽度の腐食
宮崎県	○		北	スッコ石膏ボード			1			1	汚染
宮崎県	○		全面	モルタル色ヒート吹付			1		全部	2	亀裂
宮崎県	○		東、西	スッコ石膏ボード			1		全部	2	亀裂
鹿児島県		○		成型板		1			全部	1	緑青
鹿児島県	○		全面	塗装合板		1			全部	3	色落ち、剝離
鹿児島県		○	南東	板張(ハイト)			1		一部	5	軒下一部腐朽
鹿児島県	○		北	吹付タイル			1		一部	5	鉄筋錆、コンクリート脱落
鹿児島県	○		東	亜鉛鉄板成型板			1			2	錆発生
鹿児島県		○	南	吹付タイル			1		一部	5	コンクリート脱落、鉄筋露出
鹿児島県		○	南	リシン吹付			1		一部	2	ひび割れ
鹿児島県	○		全面	板張			1	1	全部	2	錆発生
鹿児島県	○		全面	モルタルリシン吹付	1				全部	1	汚染
鹿児島県	○		全面	モルタルリシン吹付		1			全部	2	汚染、亀裂
鹿児島県	○		全面	二丁掛タイル			1	1	一部	3	目地損傷、タイルひび割れ
鹿児島県	○		全面	壁羽目			1		一部	1	ペンキ剝離
鹿児島県	○		全面	壁羽目			1		1/2	1	ペンキ剝離
鹿児島県	○		全面	壁羽目 亜鉛成型板			1		全部	3	汚染、一部損傷、錆発生
鹿児島県	○			壁羽目			1			1	ペンキ剝離
鹿児島県		○		着色亜鉛鉄板			1			2	錆発生
鹿児島県	○		北	壁羽目			1		一部	1	塗装剝離
鹿児島県	○		北	壁羽目			1		一部	1	塗装剝離
鹿児島県	○		北	リシン吹付			1		一部	4	鉄筋腐食、錆発生
鹿児島県	○		北西	壁羽目			1		全部	2	汚染、釘錆発生
鹿児島県	○		西	リシン吹付			1	1		4	塗装剝離
鹿児島県	○		北西	リシン吹付		1				4	汚染、一部鉄筋腐食
鹿児島県	○		東	モルタル毛引リシン			1			4	コンクリート剝離、鉄筋露出
鹿児島県	○		東	モルタル			1			4	コンクリート剝離、鉄筋露出
鹿児島県	○		北	着色亜鉛鉄板			1		軒下3/4	2	錆発生
鹿児島県	○		北	モルタルリシン吹付			1		軒下1/4	1	亀裂
鹿児島県	○		全面	杉 壁羽目ペンキ塗			1		全部	1	塗装剝離
鹿児島県	○		全面	杉 壁羽目			1	1	全部	5	塗装剝離、汚染、腐朽
鹿児島県	○			モルタル、フケリリシン吹付			1	1	全部	1	清掃不能の汚染
鹿児島県	○			モルタル			1		1/4	1	清掃不能の汚染
鹿児島県	○		全面	モルタル、フケリリシン吹付			1	1		1	コンクリートに亀裂
鹿児島県	○			モルタル、フケリリシン吹付			1	1	全部	1	清掃不能の汚染
鹿児島県		○	全面	南京下見杉板			1		10%	2	釘錆によるゆるみ
鹿児島県		○	全面	吹付タイル			1		軒部1/4	1	清掃不能の汚染

県名	沿岸距離		3 外壁		① 上部				損傷の程度	
	2 km 未満	2 km 以上	方位	仕上形式等	階 層			範 囲		
					全面	1階	2階 3～			
鹿児島県		○	全面	吹付タイル		1		1/2	1	清掃不能の汚染
鹿児島県		○	北	珪藻土一部タイル		1		一部	2	タイル釘跡によるゆるみ
鹿児島県		○		珪藻土、アクリリック吹付		1	1	全部	1	清掃不能の汚染
鹿児島県	○		北西	タイル吹付		1		一部	2	亀裂、ひび、汚染
鹿児島県	○		北西	壁羽目		1		全部	1	塗料剝離
鹿児島県	○		北西	タイル吹付		1		一部	1	汚染
鹿児島県	○		西	タイル吹付		1	1	2/3	1	ひび、汚染
鹿児島県	○		全面	押出成型ヒモント板		1	1	一部	1	ひび
鹿児島県	○		全面	リシン吹付		1		全部	1	ひび、亀裂
鹿児島県	○		南西	CB珪藻土、リシン吹付		1		一部	1	汚染
鹿児島県	○		北東	CB珪藻土、油性ペイント		1		1/5	1	塗料剝離
鹿児島県	○			タイル吹付		1		1/4	1	汚染
鹿児島県	○		北	タイル吹付		1	1	1/3	4	塗料剝離
鹿児島県	○			板合板張		1		1/10	4	一部損傷
鹿児島県	○		全面	小口タイル吹付		1	1	1/10	2	ひび割れ、錆発生
鹿児島県	○		南				1	1/4	1	ひび割れ
鹿児島県	○		南	モルタルリシン			1		1	ひび割れ
鹿児島県	○		北	モルタル吹付		1			1	少量の亀裂
鹿児島県	○		全面	モルタルハケ		1		1/4	1	汚染、亀裂
鹿児島県	○		全面	アクリル系吹付			1	1/3	1	浅い亀裂
鹿児島県	○		南、東	モルタル吹付			1		4	コンクリート剝離、亀裂
鹿児島県	○		東			1			1	汚染、亀裂
鹿児島県	○		東	モルタルハケ		1		1/5	1	亀裂
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		全部	2	釘の錆
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		全部	2	釘の腐食
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		全部	2	釘の腐食
鹿児島県	○		全面	モルタル仕上			1	全部	1	毛状亀裂
鹿児島県	○		全面	アクリリック吹付			1	全部	1	毛状亀裂
鹿児島県	○		全面	アクリリック吹付		1		全部	4	塗装剝離、コンクリート亀裂
鹿児島県	○		南	杉板		1		1/4	4	釘の腐食、杉板の反り
鹿児島県	○		全面	珪藻土砂壁状樹脂			1	1/10	1	一部亀裂
鹿児島県	○			珪藻土油性ペイント			1	1/10	1	亀裂
沖縄県	○		西	亜鉛鉄板		1		1/5	2	赤錆付着
沖縄県	○		北西	ラフトン仕上			1	3箇所	3	ヒモ劣化
沖縄県	○		全面	珪藻土上ペン塗		1			4	鉄筋腐食、膨脹、ひび割
沖縄県	○			コンクリート打ち放し					1	ペン剝離
沖縄県	○		○ 全面	珪藻土上ペン塗				全部	1	ペン剝離
沖縄県	○		○ 全面	珪藻土板張り		1	1	全部	5	腐食
沖縄県	○		○ 全面	珪藻土上ラフトン吹付			1	1箇所	3	軒先亀裂部のヒモ劣化
沖縄県	○		○ 全面	板張り		1	1	全部	2	釘錆
沖縄県	○		北	木造		1		全部	4	部分腐食
沖縄県	○		北	木造		1		全部	4	部分腐食
沖縄県	○		北	コンクリート珪藻土仕上		1		一部	4	珪藻土破損
沖縄県	○		北	コンクリート珪藻土仕上		1		一部	4	珪藻土破損
沖縄県	○		北	コンクリート珪藻土仕上		1		一部	4	珪藻土破損
沖縄県	○		南	石綿ヒモント板(イタシ)			1	上部1/4	1	極く一部汚染
沖縄県	○		東	珪藻土、陶磁器状吹付		1		上部1/2	1	極く一部汚染
沖縄県	○		全面	珪藻土、陶磁器状吹付		1	1	全部	1	部分的な軽微の汚染
沖縄県	○		全面	珪藻土、陶磁器状吹付		1	1	全部	1	軽微の汚染
沖縄県	○		南	珪藻土上(はげ引)		1		下部1/2	1	軽微な亀裂
沖縄県	○		全面	杉		1		全部	2	釘錆、ゆるみ
沖縄県	○		全面	珪藻土(油性ペイント)		1		全部	1	亀裂多い
沖縄県	○		全面	珪藻土(油性ペイント)		1		全部	2	亀裂、損耗大
沖縄県	○		○ 南、東	珪藻土、陶磁器状吹付		1	1	全部	1	部分的な軽微の汚染
沖縄県	○		○ 全面	珪藻土(油性ペイント)		1		全部	1	汚染
沖縄県	○		○ 全面	珪藻土(油性ペイント)		1		上部1/2	1	汚染
沖縄県	○		○ 全面	珪藻土(油性ペイント)		1	1	全部	4	仕上喪失、亀裂・損耗大
沖縄県	○		○ 全面	珪藻土(油性ペイント)		1		全部	1	仕上喪失、細い亀裂
沖縄県	○			杉		1			2	釘錆
沖縄県	○			杉		1		全部	3	釘錆、変色、木目膨脹
沖縄県	○		北	珪藻土吹付			1	一部	4	塗装剝離、錆、亀裂
沖縄県	○		北東	珪藻土吹付		1		一部	4	錆、亀裂、脱落
沖縄県	○		北	珪藻土吹付		1		一部	1	亀裂

県名	沿岸距離		3 外壁		② 中間部				範囲	損傷の程度
	2 km 未満	2 km 以上	方位	仕上形式等	階層			損傷度		
					全面	1階	2階			
徳島県	○	○	南西	亜鉛鉄板ペイント	1				中、一部	3 一部ペイント落、ひび割
香川県	○			色吹付	1				全面	2 目地からひび割れ
香川県	○		全面	石綿ヒート系フタコ	1					1 一部変色
香川県	○		北	樹脂入りモルタル吹付	1					4 吹付塗装の一部剝離
香川県	○		西	モルタル樹脂系陶磁器		1				2 亀裂発生
香川県	○	○	全面	石綿ヒート系フタコ	1					1 汚染
愛媛県	○		北西	堅羽目木樹脂塗喰壁			1		一部	1 変色
愛媛県	○		南	リシン	1				全部	1 汚染
高知県	○		全面	小波トタン	1				一部	2 錆発生
高知県	○		全面	ボンタイル	1				全面	1 一部汚濁
高知県	○		東	ボンタイル	1				一部	2 一部亀裂
高知県	○		南	亜鉛鉄板成型板		1			50%	5 腐食
高知県	○		全面	モルタル塗装	1				一部	2 亀裂
佐賀県	○		全面	モルタルリシン		1	1		全部	1 汚染
佐賀県	○	○	全面	着色亜鉛鉄板成型		1	1		全部	1 変色
佐賀県	○		全面	モルタルリシン		1	1		全部	1 汚染
佐賀県	○			モルタル吹付		1			一部	2 亀裂
佐賀県	○		全面	化粧鋼板塩化ビニル樹脂			1		全部	2 錆発生
長崎県	○		北西	石葺ボード			1		一部	1 汚染
長崎県	○		全面	ボンタイル			1		一部	2 亀裂
長崎県		○		石葺ボード	1				一部	1 汚染
長崎県		○		石葺ボード	1				一部	1 汚染
長崎県	○		北東	モルタル塗		1				1 コンクリートの変色
長崎県	○		南西	モルタル		1				1 藍色に変色
長崎県	○		北西	堅羽目張		1	1			1 塩による変色
大分県	○		北西	着色亜鉛鉄板	1	1			上部1/3	2 色あせ、錆 程度中
宮崎県	○	○	西	モルタル吹付		1				2 浅い亀裂
宮崎県	○		北	スラグ石葺ボード		1	1			2 柱止め金具の腐食
宮崎県	○		全面	石綿ヒート板リシン吹付	1	1			一部	4 各部支柱の塗装剝離
宮崎県	○		全面	モルタル色ヒート吹付			1		全部	2 亀裂
宮崎県	○		西	スラグ石葺ボード		1	1		全部	2 亀裂、汚染
鹿児島県		○		成型板		1			全部	1 緑青
鹿児島県	○		全面	塗装合板		1			全部	3 色落ち、剝離
鹿児島県	○		北西	石綿ヒート板スチコ吹		1				1 汚染(かび)
鹿児島県	○	○	南東	板張(ペイント)			1		一部	5 一部腐朽
鹿児島県	○		北	吹付タイル			1		一部	5 鉄筋錆、コンクリート脱落
鹿児島県	○		西	モルタル吹付		1				1 ひび割れ
鹿児島県	○		全面	板張		1	1		全部	2 釘錆発生
鹿児島県	○		全面	モルタル吹付	1				全部	1 汚染
鹿児島県	○		全面	モルタル吹付		1			全部	2 汚染、亀裂
鹿児島県	○		全面	二丁掛タイル		1	1		一部	3 目地損傷、タイルひび割
鹿児島県	○		全面	堅羽目		1			一部	1 ベンキ剝離
鹿児島県	○		全面	堅羽目		1			1/2	1 ベンキ剝離
鹿児島県	○		全面	堅羽目 亜鉛成型板		1			全部	3 汚染、一部損傷、錆発
鹿児島県	○			堅羽目		1				1 ベンキ剝離
鹿児島県	○		北	堅羽目		1			一部	1 塗装剝離
鹿児島県	○		北	堅羽目		1			一部	1 塗装剝離
鹿児島県	○		北	リシン吹付			1		一部	5 鉄筋腐食、膨張、ひび
鹿児島県	○		北西	堅羽目		1			全部	2 汚染、釘錆発生
鹿児島県	○			リシン吹付		1				4 汚染、一部鉄筋腐食
鹿児島県	○		全面	杉 堅羽目ペンキ塗		1			全部	1 塗装剝離
鹿児島県	○		全面	杉 堅羽目		1	1		全部	5 塗装剝離、汚染、腐朽
鹿児島県	○			モルタル、フタコリシン吹付		1	1		全部	1 溜掃不能の汚染
鹿児島県	○		全面	モルタル、フタコリシン吹付		1	1			1 コンクリートに亀裂
鹿児島県	○	○	全面	南京下見杉板		1			10%	2 釘錆によるゆるみ
鹿児島県	○	○	全面	吹付タイル		1			1/2	1 溜掃不能の汚染
鹿児島県	○	○	西	モルタル、フタコリシン吹付		1			全部	1 汚染
鹿児島県	○	○	北	モルタル 一部トタン		1			一部	2 トタン釘錆によるゆるみ
鹿児島県	○	○		モルタル、フタコリシン吹付		1	1		全部	1 溜掃不能の汚染
鹿児島県	○		北西	モルタル、リシン吹付		1			2/5	1 汚染、一部亀裂
鹿児島県	○		北西	タイル吹付		1			一部	1 亀裂、ひび、汚染
鹿児島県	○		北西	堅羽目		1			全部	1 塗料剝離
鹿児島県	○		北西	タイル吹付		1	1		1/4	1 ひび、汚染
鹿児島県	○		全面	押出成型ヒート板		1	1		一部	1 ひび
鹿児島県	○		全面	リシン吹付		1			全部	1 ひび、亀裂
鹿児島県	○	○	南西	CBモルタル、リシン吹付		1			一部	1 汚染

県名	沿岸距離		3 外壁		② 中間部				損傷の程度	
	2 km未満	2 km以上	方位	仕上形式等	階層			範囲		損傷度
					全面	1階	2階3～			
鹿児島県	○	○	北東	CE珪藻土、油性ペイント		1		1/5	1	塗料剥離
鹿児島県		○		タイル吹付		1		1/4	1	汚染
鹿児島県		○	北	タイル吹付		1	1	1/4	1	塗料剥離
鹿児島県	○			板合板張		1		1/10	4	一部損傷
鹿児島県	○		全面	小口タイル吹付		1	1	1/10	2	ひび割れ、錆発生
鹿児島県		○	南				1	1/4	1	ひび割れ
鹿児島県	○		全面	モルタル吹付			1	1/4	1	亀裂発生
鹿児島県	○		南	モルタルリシン			1		1	ひび割れ
鹿児島県	○	○	北	モルタル吹付		1			1	少量の亀裂
鹿児島県	○		全面	モルタルハケ		1		1/4	1	汚染、亀裂
鹿児島県	○		全面	アクリル系吹付			1	1/3	1	浅い亀裂
鹿児島県	○		南、東	モルタル吹付			1		4	コンクリート剥離、亀裂
鹿児島県		○	東			1			1	汚染、亀裂
鹿児島県		○	東	モルタルハケ		1		1/5	1	亀裂
鹿児島県	○		全面	珪羽目		1		全部	2	釘の錆
鹿児島県	○		全面	珪羽目		1		全部	2	釘の腐食
鹿児島県	○		全面	珪羽目		1		全部	2	釘の腐食
鹿児島県	○		全面	モルタル仕上			1	全部	1	毛状亀裂
鹿児島県	○		北	アクリル吹付			1	一部	1	毛状亀裂
鹿児島県	○		南北	アクリル吹付			1	1/3	1	毛状亀裂
鹿児島県	○		全面	アクリル吹付			1	全部	4	塗料剥離、コンクリート亀裂
鹿児島県	○			杉板		1		1/4	4	釘の腐食、杉板の反り
沖縄県	○		西	亜鉛鉄板		1		1/5	2	赤錆付着
沖縄県	○		全面	珪藻土仕上ペイント		1			4	鉄筋腐食、膨張、ひび
沖縄県	○		全面	珪藻土仕上ペイント				全部	1	ペイント剥離
沖縄県	○		全面	羽目板張り		1	1	全部	5	腐食
沖縄県	○			珪藻土仕上げ吹付			1	1箇所	4	埋込管膨張部セメント割
沖縄県	○			珪藻土仕上ペイント					1	ペイント剥離
沖縄県		○	全面	板張り		1	1	全部	2	釘錆
沖縄県	○		北	木造		1		全部	4	部分腐食
沖縄県	○		北	木造		1		全部	4	部分腐食
沖縄県		○	北	コンクリート珪藻土仕上		1		一部	4	珪藻土破損
沖縄県	○		北	コンクリート珪藻土仕上		1		一部	4	珪藻土破損
沖縄県	○		北	コンクリート珪藻土仕上		1		一部	4	珪藻土破損
沖縄県	○		全面	杉		1			2	釘錆、ゆるみ
沖縄県		○	全面	珪藻土(油性ペイント)		1	1	全部	4	仕上喪失、亀裂・損耗
沖縄県		○	全面	珪藻土(油性ペイント)		1		全部	4	仕上喪失、細い亀裂
沖縄県	○			杉		1			2	釘錆
沖縄県	○			杉		1		全部	3	釘錆、変色、木目膨張
沖縄県	○		北	珪藻土吹付		1		全部	1	吹付変色
沖縄県	○		北東	珪藻土吹付		1		一部	2	錆、亀裂
沖縄県	○		北	珪藻土吹付		1		一部	1	亀裂

県名	沿岸距離		3 外壁		② 下部			範囲	損傷の程度	
	2 km 未満	2 km 以上	方位	仕上形式等	貼 付					損傷度
					全面	1階	2階			
徳島県	○			珪藻土はけ引き吹		1		一部	2 小さいひび割れ	
徳島県	○			珪藻土珪藻土吹		1		一部	2 ひび割れ	
徳島県	○			珪藻土珪藻土吹		1		一部	2 ひび割れ	
徳島県	○	○	北	珪藻土珪藻土吹	1			下1/3程度	3 ベント落、ひび割れ	
香川県	○			色吹付	1			全面	2 目地からひび割れ	
香川県	○		全面	石綿と珪藻土系珪藻土吹	1				1 一部変色	
香川県	○		北	珪藻土珪藻土吹	1				4 吹付塗装の一部はが	
香川県	○		西	珪藻土珪藻土吹	1				2 亀裂発生	
香川県	○	○	全面	石綿と珪藻土系珪藻土吹	1				1 汚染	
愛媛県	○		北西	珪藻土		1		一部	1 変色	
高知県	○		全面	小波トタン	1			一部	2 錆発生	
高知県	○		全面	ポントイル	1			全面	1 一部汚濁	
高知県	○		西	珪藻土珪藻土吹	1				2 毛状亀裂	
高知県	○		全面	珪藻土珪藻土吹	1			一部	2 亀裂	
佐賀県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1	1	全部	1 汚染	
佐賀県	○	○	全面	珪藻土珪藻土吹		1	1	全部	1 変色	
佐賀県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1	1	全部	1 汚染	
佐賀県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1		全部	2 亀裂	
佐賀県	○	○	全面	珪藻土はけ引		1		全部	2 亀裂	
長崎県	○		東	押縁下見		1		一部	1 汚染	
長崎県	○		北西	珪藻土			1	一部	1 汚染	
長崎県	○			珪藻土		1		一部	1 汚染	
長崎県	○			珪藻土	1			一部	1 汚染	
長崎県	○		東	ポントイル	1			一部	2 亀裂	
長崎県	○			珪藻土		1		一部	1 汚染	
長崎県	○			珪藻土	1			一部	1 汚染	
長崎県	○		北東	珪藻土		1			1 コンクリートの変色	
長崎県	○		南西	珪藻土		1			1 黄色に変色	
長崎県	○		北西	珪藻土目張		1	1		1 塩による変色	
宮崎県	○	○	西	珪藻土珪藻土吹		1		一部	4 一部脱落	
宮崎県	○		南西	珪藻土珪藻土吹		1			2 軽度の亀裂	
宮崎県	○		北	珪藻土珪藻土吹		1			1 軽度の汚染	
宮崎県	○		北	珪藻土珪藻土吹		1			1 汚染	
宮崎県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1		全部	3 亀裂、塗装一部剝離	
宮崎県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1		全部	2 亀裂、汚染	
鹿児島県	○			成型板		1		全部	1 緑青	
鹿児島県	○		南西、北	珪藻土珪藻土吹		1		一部	4 珪藻土板の錆、穴空き	
鹿児島県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1		全部	3 色落ち、剝離	
鹿児島県	○		南	板張		1		一部	5 下地材腐朽、外壁落下	
鹿児島県	○		西	珪藻土珪藻土吹		1		一部	1 汚染(かび)	
鹿児島県	○		南東	珪藻土珪藻土吹		1	1	一部	5 一部腐朽	
鹿児島県	○		西	吹付タイル			1	一部	2 毛状亀裂多少あり	
鹿児島県	○		北	吹付タイル			1	一部	5 鉄筋錆、コンクリート脱落	
鹿児島県	○		東	珪藻土珪藻土吹		1			5 珪藻土破損、鉄骨露出	
鹿児島県	○		全面	板張		1	1	全部	2 釘錆発生	
鹿児島県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1		全部	1 汚染	
鹿児島県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1		全部	2 汚染、亀裂	
鹿児島県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1	1	一部	3 目地損傷、タイルひび割	
鹿児島県	○		全面	珪藻土		1		一部	1 ベンキ剝離	
鹿児島県	○		全面	珪藻土		1		1/2	1 ベンキ剝離	
鹿児島県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1		全部	3 汚染、一部損傷、錆発	
鹿児島県	○			珪藻土		1			1 ベンキ剝離	
鹿児島県	○		北	珪藻土		1		一部	1 塗装剝離	
鹿児島県	○		北	珪藻土		1		一部	1 塗装剝離	
鹿児島県	○		北西	珪藻土		1		全部	2 汚染、釘錆発生	
鹿児島県	○			珪藻土珪藻土吹		1			4 汚染、一部鉄筋腐食	
鹿児島県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1		全部	1 塗装剝離	
鹿児島県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1	1	全部	5 塗装剝離、汚染、腐朽	
鹿児島県	○		全面	珪藻土珪藻土吹		1	1	全部	1 錆による汚染	
鹿児島県	○	○	全面	珪藻土珪藻土吹		1		全部	1 錆による汚染	
鹿児島県	○	○	全面	珪藻土珪藻土吹		1		10%	2 釘錆によるゆるみ	
鹿児島県	○	○	全面	珪藻土珪藻土吹		1		1/2	1 錆による汚染	
鹿児島県	○	○	西	珪藻土珪藻土吹		1		全部	1 汚染	
鹿児島県	○	○	北	珪藻土 一部トタン		1		一部	2 トタン釘錆によるゆるみ	
鹿児島県	○	○		珪藻土珪藻土吹		1		全部	1 錆による汚染	
鹿児島県	○		北西	珪藻土珪藻土吹		1		一部	4 塗料剝離	

県名	沿岸距離		3 外壁							損傷の程度	
	2 km 未満	2 km 以上	方位	仕上形式等	貼 層			範 囲	損傷度		
					全面	1階	2階				3～
鹿児島県	○		全面	モルタル、金コシ仕上		1			全部	1	ひび、汚染
鹿児島県		○	南西	CEモルタル、リシン吹付		1			一部	1	汚染
鹿児島県		○		タイル吹付		1			1/4	1	汚染
鹿児島県	○			板合板張		1			1/10	4	一部損傷
鹿児島県	○		全面	小口タイル吹付		1	1		1/10	2	ひび割れ、錆発生
鹿児島県		○	全面	モルタル吹付			1		1/4	1	亀裂発生
鹿児島県	○		南	モルタルリシン			1			1	ひび割れ
鹿児島県	○		全面	モルタルハケ		1			1/4	1	汚染、亀裂
鹿児島県	○		全面	アクリル系吹付			1		1/3	1	浅い亀裂
鹿児島県		○	東	モルタルハケ		1			1/5	1	亀裂
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1			全部	2	釘の錆
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1			全部	2	釘の腐食
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1			全部	2	釘の腐食
鹿児島県	○		全面	モルタル仕上			1		全部	1	毛状亀裂
鹿児島県	○		全面	アクリル吹付			1		一部	1	毛状亀裂
鹿児島県	○		全面	アクリル吹付		1			全部	4	塗剥離、コンクリート亀裂
鹿児島県	○			ブロック		1			1/4	1	亀裂
鹿児島県	○		東	モルタル合成樹脂吹		1			窓下20cm	3	鉄筋腐食による亀裂
沖縄県	○		西	亜鉛鉄板		1			1/5	2	赤錆付着
沖縄県	○		全面	杉		1			下部20cm	3	破損
沖縄県	○		全面	モルタル仕上ベニ塗		1				3	鉄筋腐食、膨張、ひび
沖縄県		○	全面	モルタル仕上ベニ塗					全部	1	ペンキ剥離
沖縄県		○	全面	羽目板張(メント)		1	1		全部	5	腐食
沖縄県		○	全面	モルタル仕上ベニ塗						1	ペンキ剥離
沖縄県		○	全面	板張り		1	1		全部	2	釘錆
沖縄県	○		北	木造		1			全部	4	部分腐食
沖縄県		○	北	木造		1			全部	4	部分腐食
沖縄県	○		東	モルタル仕上(はけ引)					全部	4	浅い亀裂、一部剥離
沖縄県	○		全面	杉		1				2	釘錆、ゆるみ
沖縄県		○	北	モルタル塗(油性ベニ)					全部	1	浅い亀裂
沖縄県		○	全面	モルタル塗(油性ベニ)		1	1		全部	1	表面仕上喪失
沖縄県		○	全面	モルタル塗(油性ベニ)		1			全部	4	仕上喪失、細い亀裂
沖縄県	○			杉		1			全部	1	変色
沖縄県	○			杉		1			全部	4	釘錆、変色、一部腐朽
沖縄県		○	北	モルタル塗(油性ベニ)		1			一部	1	亀裂
沖縄県	○		北	モルタル吹付		1			全部	1	吹付変色
沖縄県	○		北、西	モルタル吹付		1			一部	1	亀裂
沖縄県	○		北西	モルタル吹付		1			一部	1	亀裂
沖縄県	○		北東	モルタル吹付		1			一部	2	錆、亀裂
沖縄県	○		北	モルタル吹付		1			一部	1	亀裂

県名	沿岸距離		3 外壁		④ 窓回り					損傷度	損傷の程度
	2 km 未満	2 km 以上	方位	仕上形式等	障 戸			範 囲			
					全面	1階	2階		3～		
香川県	○			色吹付	1			全面	1	目地からひび割れ	
香川県	○		全面	石綿ヒート系フック	1				1	一部変色	
香川県	○		北	樹脂入り珪藻吹付	1				3	吹付塗装の一部はがれ	
香川県	○	○	全面	石綿ヒート系フック	1				1	汚染	
愛媛県	○		北西	壁羽目木目珪藻食壁		1	1	一部	1	変色	
高知県	○		全面	小波トタン	1			一部	2	錆発生	
高知県	○		全面	ボンタイル	1			全面	1	一部汚濁	
高知県	○		全面	モルタル塗装	1				1	毛状亀裂	
高知県	○		西南	モルタル塗装				50%	1	亀裂	
高知県	○		全面	モルタル塗装	1			一部	1	亀裂	
佐賀県	○		全面	モルタルリシン		1	1	全部	1	汚染	
佐賀県	○	○	全面	着色亜鉛鉄板成型		1	1	全部	1	変色	
佐賀県	○		全面	モルタルリシン		1	1	全部	1	汚染	
佐賀県	○			サイディング			1	一部	1	変色	
長崎県	○							一部	2	錆発生	
長崎県	○		北東	モルタル塗		1			1	コンクリートの変色	
長崎県	○		南西	油性ペイント塗		1			1	塗装の剝離	
長崎県	○		北西	壁羽目張		1	1		1	塩による変色	
長崎県	○			壁羽目張		1	1		4	風化による腐食	
宮崎県	○		南西	モルタル色吹付		1			1	軽度の亀裂	
宮崎県	○		全面	珪藻色ヒート吹付		1	1	全部	3	亀裂、塗装一部剝離	
鹿児島県	○	○		成型板		1		全部	1	緑苔	
鹿児島県	○		北	板張		1		一部	4	戸袋部の杉材腐朽	
鹿児島県	○	○	全面	杉材		1		全部	2	釘に錆発生	
鹿児島県	○		全面	板張		1	1	全部	2	釘錆発生	
鹿児島県	○		全面	珪藻リシン吹付	1			全部	1	汚染	
鹿児島県	○		全面	珪藻リシン吹付		1		全部	1	汚染、亀裂	
鹿児島県	○		全面	二丁掛タイル		1	1	一部	3	目地損傷、タイルひび割れ	
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		一部	1	ペンキ剝離	
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		1/2	1	ペンキ剝離	
鹿児島県	○		全面	壁羽目 亜鉛成型板		1		全部	3	汚染、一部損傷、錆発生	
鹿児島県	○			壁羽目		1			1	ペンキ剝離	
鹿児島県	○		北西	壁羽目		1		全部	2	汚染、釘錆発生	
鹿児島県	○		全面	杉 壁羽目ペイント塗		1		全部	1	塗装剝離	
鹿児島県	○		全面	杉 壁羽目		1	1	全部	5	塗装剝離、汚染、腐朽	
鹿児島県	○			珪藻、珪藻リシン吹付		1	1	全部	1	清掃不能の汚染	
鹿児島県	○		全面	珪藻、珪藻リシン吹付	1			全部	4	コンクリート脱落し、鉄筋錆	
鹿児島県	○	○	全面	南景下見杉板		1		10%	2	釘錆によるゆるみ	
鹿児島県	○		全面	吹付タイル		1		1/2	1	清掃不能の汚染	
鹿児島県	○			珪藻、珪藻リシン吹付		1	1	全部	1	清掃不能の汚染	
鹿児島県	○		全面	珪藻、リシン吹付		1		1/2	1	汚染、亀裂	
鹿児島県	○			珪藻吹付	1				1		
鹿児島県	○		北西	タイル吹付		1		一部	1	亀裂、ひび、汚染	
鹿児島県	○		北西	壁羽目		1		全部	1	塗料剝離	
鹿児島県	○		西	タイル吹付		1		一部	1	ひび	
鹿児島県	○		北西	タイル吹付		1	1	1/4	1	亀裂、ひび、汚染	
鹿児島県	○		全面	押出成型ヒート板		1	1	一部	1	ひび	
鹿児島県	○		全面	タイル吹付		1		全部	1	ひび、亀裂	
鹿児島県	○	○		CEM系、油性ペイント		1		一部	1	塗料剝離	
鹿児島県	○			板合板張		1		1/10	3	一部損傷	
鹿児島県	○		全面	小口タイル吹付		1	1	1/10	2	ひび割れ、錆発生	
鹿児島県	○		南	モルタルリシン			1		1	ひび割れ	
鹿児島県	○		全面	モルタルハケ		1		1/4	1	汚染、亀裂	
鹿児島県	○		全面	アクリル系吹付			1	1/3	1	浅い亀裂	
鹿児島県	○		南、東	モルタル吹付			1		4	コンクリート剝離、亀裂	
鹿児島県	○	○	東	モルタルハケ		1		1/5	1	亀裂	
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		全部	2	釘の錆	
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		全部	2	釘の腐食	
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		全部	2	釘の腐食	
鹿児島県	○		全面	モルタル仕上			1	全部	1	毛状亀裂	
鹿児島県	○		北	珪藻リシン吹付			1	一部	1	毛状亀裂	
鹿児島県	○		全面	珪藻リシン吹付		1		全部	4	塗装・コンクリート剝離、亀裂	
鹿児島県	○			杉板		1		1/4	5	腐食	
沖縄県	○		西	亜鉛鉄板		1		2/3	2	赤錆付着	
沖縄県	○		全面	珪藻仕上ペイント塗		1			5	鉄筋腐食、膨張、ひび割	
沖縄県	○		北	未造			1	全部	5	部分腐食	

県名	沿岸距離3 外壁									
	④ 窓回り									
	2 km未満	2 km以上	方位	仕上形式等	階層			範囲	損傷の程度	
				全面	1階	2階	3～		損傷度	
沖縄県		○	北	木造		1		全部	5	部分腐食
沖縄県	○		東、南	珪藻土仕上(はげ引)				下部1/2	1	部分的な軽微な亀裂
沖縄県	○		全面	珪藻土		1			2	釘錆、ゆるみ
沖縄県		○	全面	珪藻土(油性ペイント)		1	1	全部	1	表面仕上喪失
沖縄県		○	全面	珪藻土(油性ペイント)		1		全部	1	仕上喪失、細い亀裂
沖縄県	○			杉		1		全部	1	変色
沖縄県	○		北	珪藻土吹付		1		一部	5	腐食、脱落
沖縄県	○		北東	珪藻土吹付		1		一部	2	錆、亀裂

県名	沿岸距離		3 外壁		⑤ 出入口回り						
	2 km 未満	2 km 以上	方位	仕上形式等	階 層			範 囲	損傷度	損傷の程度	
					全面	1階	2階3～				
香川県		○	全面	石綿メント系ルキア TM		1				1	汚染
愛媛県	○		北西	壁羽目木屑漆喰壁		1		一部	1	1	変色
高知県	○		全面	小波トタン		1		一部	2	2	錆発生
高知県	○		全面	モルタル塗装		1		一部	1	1	亀裂
佐賀県	○		全面	モルタルリシン		1		全部	1	1	汚染
佐賀県	○	○	全面	着色亜鉛鉄板成型		1		全部	1	1	変色
佐賀県	○		全面	モルタルリシン		1		全部	1	1	汚染
佐賀県	○	○	北西	珪藻土はけ引		1		全部	1	1	亀裂
長崎県	○							一部	2	2	錆発生
長崎県	○		北東	鉄骨		1			3	3	錆により劣化
長崎県	○		南西	油性 ^ベ ント塗		1			1	1	塗装の剝離
長崎県	○		北西	珪藻土リシン		1			1	1	塩による変色
長崎県	○			鉄骨		1			4	4	錆による腐食
宮崎県	○		北	スチール石膏ボード		1		全部	1	1	汚染
宮崎県	○		全面	珪藻土メント吹付		1		全部	3	3	亀裂、塗装一部剝離
鹿児島県	○	○		成型板		1		全部	1	1	緑青
鹿児島県	○		全面	板張		1		全部	2	2	釘錆発生
鹿児島県	○		全面	珪藻土リシン吹付	1			全部	1	1	汚染
鹿児島県	○		東	珪藻土リシン吹付		1		全部	1	1	汚染、亀裂
鹿児島県	○		西南	壁羽目		1		一部	1	1	ペンキ剝離
鹿児島県	○		南	鋼製		1		1/2	2	2	鋼製骨錆発生
鹿児島県	○		全面	亜鉛成型板		1		全部	2	2	錆発生
鹿児島県	○		南	壁羽目		1			1	1	ペンキ剝離
鹿児島県	○		東	珪藻土はけ引リシン吹付		1			2	2	玄関戸下部錆発生
鹿児島県	○		北西	壁羽目		1		全部	2	2	汚染、釘錆発生
鹿児島県	○		全面	杉 壁羽目 ^ベ ント塗		1		全部	1	1	塗装剝離
鹿児島県	○		全面	杉 壁羽目		1	1	全部	5	5	塗装剝離、汚染、腐朽
鹿児島県	○			珪藻土、珪藻土リシン吹付		1	1	全部	1	1	清掃不能の汚染
鹿児島県	○		東	モルタル		1		全部	4	4	コンクリート脱落
鹿児島県	○	○	全面	南京下見杉板		1		10%	2	2	釘錆によるゆるみ
鹿児島県	○	○	全面	吹付タイル		1		1/2	1	1	清掃不能の汚染
鹿児島県	○	○		珪藻土、珪藻土リシン吹付		1	1	全部	1	1	清掃不能の汚染
鹿児島県	○		全面	珪藻土、リシン吹付		1		1/2	1	1	汚染、亀裂
鹿児島県	○		北西	タイル吹付		1		一部	1	1	亀裂、ひび、汚染
鹿児島県	○		北西	壁羽目		1		全部	1	1	塗料剝離
鹿児島県	○		北西	タイル吹付		1	1	1/4	1	1	ひび、汚染
鹿児島県	○		全面	押出成型メント板		1	1	一部	1	1	ひび
鹿児島県	○		全面	タイル吹付		1		全部	1	1	ひび、亀裂
鹿児島県	○			板合板張		1		1/10	1	1	
鹿児島県	○		全面	小口タイル吹付		1	1	1/10	1	1	
鹿児島県	○		南	モルタルリシン		1	1		1	1	ひび割れ
鹿児島県	○		全面	モルタルハケ		1		1/4	1	1	汚染、亀裂
鹿児島県	○		全面	アクリル系吹付		1	1	1/3	1	1	浅い亀裂
鹿児島県	○	○	東	モルタルハケ		1		1/5	1	1	亀裂
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		全部	2	2	釘の錆
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		全部	2	2	釘の腐食
鹿児島県	○		全面	壁羽目		1		全部	2	2	釘の腐食
鹿児島県	○		全面	モルタル仕上			1	全部	1	1	毛状亀裂
鹿児島県	○		北	メント吹付		1		1/5	4	4	亀裂、コンクリート剝離
鹿児島県	○		全面	珪藻土リシン吹付		1		全部	4	4	塗装剝離、コンクリート亀裂
鹿児島県	○			杉板		1		1/4	5	5	腐食
沖縄県	○		西	亜鉛鉄板		1		全部	2	2	赤錆付着
沖縄県	○		全面	珪藻土仕上 ^ベ ント塗		1			5	5	タイル回りの珪藻土補修
沖縄県	○		北	木造		1		全部	5	5	部分腐食
沖縄県	○	○	北	木造		1		全部	5	5	部分腐食
沖縄県	○		全面	杉		1			2	2	釘錆、ゆるみ
沖縄県	○	○	全面	珪藻土 ^ベ ント塗(油性 ^ベ ント)		1	1	全部	1	1	表面仕上喪失
沖縄県	○	○	全面	珪藻土 ^ベ ント塗(油性 ^ベ ント)		1		全部	1	1	仕上喪失、細かい亀裂
沖縄県	○		西	杉		1		下部	1	1	変色
沖縄県	○	○	北	珪藻土吹付		1		一部	1	1	変色

県名	沿岸距離		4 外部建具				範囲	損傷度	損傷の程度	
	2 km 未満	2 km 以上	方位	仕上形式等	階 層					
					全面	1階				2階3～
香川県	○		全面	アルミサッシ	1				2 砂がたまり一部錆付着	
香川県	○		東	アルミサッシ	1				2 一部錆付着	
香川県	○		北	アルミサッシ			1	1	2 錆付着	
香川県	○		北南	アルミサッシ	1				2 部分的に錆付着	
香川県	○		北南	アルミサッシ		1	1		2 砂がたまり一部錆付着	
香川県	○	○	全面	アルミサッシ	1				1 汚染	
高知県	○		全面	アルミ	1				4 腐食	
高知県	○		全面	アルミサッシ		1			一部 3 軽度の破損、錆	
長崎県	○		北東	鉄骨サッシ		1			2 金属枠部の錆	
長崎県	○		南西	着色アルミサッシ		1			2 細かい錆の付着	
熊本県	○		全面	アルミサッシ	1				全部 1 窓枠部に被害	
熊本県	○		全面	アルミサッシ	1				全部 1 窓枠部に被害	
熊本県	○		全面	スチール製		1			全部 2 錆付着(塗装補修済)	
宮崎県	○		全面	アルミサッシ(スライド)	1				2 止め金具の腐食	
鹿児島県	○		全面	アルミサッシ	1				全部 1 緑青	
鹿児島県	○		北	アルミサッシ		1			一部 1 緑青	
鹿児島県	○			アルミサッシ	1				2 レール部の錆	
鹿児島県	○			アルミサッシ			1		一部 2 ノブに錆発生	
鹿児島県	○	東、南		アルミサッシ		1			一部 2 錆発生	
鹿児島県	○		全面	アルミサッシ		1			全部 2 汚染、一部建付不良	
鹿児島県	○		北	アルミサッシ				下部	3 腐食による穴空き	
鹿児島県	○		北	アルミサッシ		1			一部 2 錆発生	
鹿児島県	○		北西	アルミサッシ		1			一部 4 サッシ回り腐食	
鹿児島県	○		北西	アルミサッシ(カラー)		1			4 錆、腐食	
鹿児島県	○		全面	アルミサッシ		1	1	1/4	2 戸車錆による建付不良	
鹿児島県	○		東	アルミサッシ		1			一部 3 腐食による破損	
鹿児島県	○		全面	アルミサッシ		1		1/2	4 アルミサッシ材腐食	
鹿児島県	○		北西	アルミサッシ		1	1		一部 4 腐食	
鹿児島県	○		全面	アルミサッシ		1		2/3	4 腐食	
鹿児島県	○		全面	アルミサッシ		1		1/5	4 腐食	
沖縄県	○		北西	アルミサッシ	1				2 錆付着	
沖縄県	○	○		アルミサッシ	1				全部 2 錆発生	
沖縄県	○		北	木造		1			全部 3 破損	
沖縄県	○	○	北	木造		1			部分腐食 4 部分腐食	
沖縄県	○		北	アルミサッシ		1			一部 4 腐食	
沖縄県	○		北	アルミサッシ		1			一部 4 腐食	
沖縄県	○		北	アルミサッシ		1			一部 4 腐食	
沖縄県	○		全面	アルミサッシ(スライド)			1		全部 2 塗装剝離、錆発生	
沖縄県	○		東、南	アルミサッシ(スライド)		1	1		全部 2 建具・枠の軽微な錆	
沖縄県	○	○	全面	アルミサッシ(スライド)		1	1		全部 2 取付金具の錆付着	
沖縄県	○	○	東、南	アルミサッシ(スライド)		1			下部 2 錆付着	
沖縄県	○		北	アルミサッシ		1			全部 1 変色	
沖縄県	○		北	アルミサッシ		1			下部 1 変色	

県名	沿岸距離		4 外部建具				範囲	損傷度	損傷の程度	
	2 km以上	2 km未満	方位	仕上形式等	階層					
					全面	1階				2階
香川県	○		南東	7Rミカまち玄関戸		1			2	一部錆付着
香川県	○		南	7Rミカまち		1			2	一部錆付着
香川県	○		北	7Rミカまち玄関戸		1		全部	2	錆付着
香川県	○		東	7Rミカまち玄関戸		1			2	一部錆付着
香川県		○	全面	7Rミカまち戸		1			1	汚染
高知県	○		全面	7Rミ		1		一部	4	腐食
福岡県	○		北東	木製		1		1/4程度	4	腐食
佐賀県		○	全面	杉		1		全部	2	多少錆発生
長崎県	○		北東	鉄板7Rミカまち戸		1			2	金網枠部の錆
熊本県	○		東	7Rミカまち		1		全部	2	酸化現象あり
鹿児島県	○		北	7Rミカまち		1		全部	1	緑青
鹿児島県	○		全面	7Rミカまち		1		全部	1	緑青
鹿児島県	○		南	7Rミカまち		1		全部	1	緑青
鹿児島県	○		東	木製引戸		1		全部	2	レールの錆
鹿児島県		○	南	軽量シャッター		1		全部	2	表面の錆
鹿児島県	○		南	7Rミカまち		1		一部	1	取っ手金具の緑青
鹿児島県	○		北東	7Rミカまち		1		下部	2	錆発生
鹿児島県	○		東	7Rミカまち		1		上・下部	2	錆発生
鹿児島県		○	東	鋼製シャッター		1		上部、枠部	2	錆発生
鹿児島県		○	西	真ちゅう		1		一部	2	鍵、取手部の錆発生
鹿児島県		○	北	7Rミカまち		1			2	錆発生
鹿児島県		○	北西	7Rミカまち		1		全部	2	錆発生
鹿児島県		○	南	7Rミカまち		1		一部	2	錆発生
鹿児島県		○	東	7Rミカまち		1		全部	2	7Rミ部の錆発生
鹿児島県	○		北	7Rミカまち		1		一部	2	錆発生
鹿児島県	○		北	7Rミカまち		1		一部	2	ノブ錆発生
鹿児島県	○			7Rミカまち		1		一部	2	錆発生
鹿児島県		○	南北	7Rミ、鋼製		1		全部	2	錆発生
鹿児島県		○	南	7Rミ、鋼製		1		一部	2	錆発生
鹿児島県		○	西、北	7Rミ、鋼製		1		一部	2	鋼製シャッターに錆
鹿児島県		○	東南	木製、鋼製		1		全部	2	汚染、鋼製金具錆
鹿児島県		○	北	7Rミカまち		1		全部	5	腐食によるノブ欠落
鹿児島県		○	東	7Rミカまち		1		全部	4	錆、腐食
鹿児島県		○	全面	7Rミカまち		1		全部	5	外ノブの腐食、欠落
鹿児島県		○	北西	7Rミカまち		1		一部	4	シャッター腐食
鹿児島県		○	北西	7Rミカまち		1		1/4	2	錆発生
鹿児島県		○	南	7Rミカまち		1		軒下3/4	4	錆、腐食
鹿児島県		○	全面	7Rミカまち		1	1	1/4	2	戸車錆による建付不良
鹿児島県		○	全面	7Rミカまち		1		1/2	4	ハツク材腐食
鹿児島県		○	北	7Rミカまち		1		一部	2	錆
鹿児島県		○	北西	7Rミカまち		1	1	一部	4	腐食
鹿児島県		○	北	7Rミカまち		1		一部	4	腐食
鹿児島県		○	全面	7Rミカまち		1		2/3	4	腐食
鹿児島県		○	西	7Rミカまち、7Rミカまち戸		1		一部	4	7Rミカまち戸腐食
鹿児島県		○	全面	7Rミカまち		1		1/5	4	腐食
沖縄県	○		西	鋼製ト'7		1		全部	2	赤錆付着
沖縄県	○			7Rミカまちト'7		1	1		2	錆発生
沖縄県	○		北	7Rミカまち、シャッター		1			4	錆、腐食
沖縄県		○		7Rミカまち		1		一部	2	軽微な錆
沖縄県		○	北	鋼鉄		1		全部	2	戸枠に錆
沖縄県		○	北	木造		1		全部	3	破損
沖縄県		○	北	木造		1		全部	4	部分腐食
沖縄県	○		南	7Rミカまち(スライト')		1	1	下部1/3	2	塗装剥離、錆発生
沖縄県	○		東、南	7Rミカまち(スライト')		1	1	全部	2	建具・枠の軽微な錆
沖縄県	○		東、南	7Rミカまちト'7		1		全部	2	錆付着が顕著(玄関)
沖縄県	○			杉		1			2	釘の錆、ゆるみ
沖縄県	○		西	7Rミカまちト'7		1		上部1/3	2	錆付着
沖縄県	○		南	7Rミカまちト'7		1		下部1/2	2	軽微な錆付着
沖縄県		○	東、南	7Rミカまち(スライト')		1		下部	2	錆付着
沖縄県		○	全面	杉		1		全部	2	釘の錆、ゆるみ
沖縄県	○			杉		1		2/3	3	ゆるみ、一部腐食
沖縄県	○			7Rミカまちト'7		1		下部	4	腐食
沖縄県	○		北東	鋼製7Rミカまちト'7		1		全部	2	錆発生
沖縄県	○		南	7Rミカまちト'7		1		全部	4	表面浮き上がり

県名	沿岸距離		4 外部建具		③ 雨戸				範囲	損傷の程度
	2 km未満	2 km以上	方位	仕上形式等	階層					
					全面	1階	2階	3階		
徳島県	○		全面	亜鉛鉄板	1				全部	1 色落ち
香川県	○		南	着色亜鉛鉄板		1			一部	2 錆付着
香川県	○		東	鋼板 ^ハ ₁ 鉄	1				下部	2 ハンナ剥離し錆付着
香川県	○		南	鋼板 ^ハ ₁ 鉄	1					2 ハンナ剥離し錆付着
高知県	○		全面	アルミ	1				一部	4 腐食
佐賀県	○		北	チール		1			全部	2 錆発生
長崎県	○		北西	アルミ製		1	1			4 錆による腐食
熊本県	○		西	アルミサツ	1					2 被害が点在
熊本県	○		南	アルミサツ		1			全部	2 酸化現象あり
宮崎県		○	南	軽量タイプ ¹ シャッター		1				3 軽度の腐食
宮崎県		○	北	軽量タイプ ¹ シャッター		1			下部	3 軽度の腐食
宮崎県	○		東、南	鋼製		1				3 軽度の腐食
宮崎県	○		東、南	着色亜鉛鉄板		1	1			4 塗装の剥離、腐食
宮崎県	○		全面	着色亜鉛鉄板		1			全部	1 変色
宮崎県	○		南	軽量タイプ ¹ シャッター		1				3 軽度の腐食
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板		1			全部	1 緑青
鹿児島県	○		南	亜鉛鉄板		1			全部	2 錆
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板		1	1		全部	1 緑青
鹿児島県	○		北西	ラワン合板		1			全部	4 表面剥離
鹿児島県	○		北東	鋼製		1			全部	2 錆発生
鹿児島県	○		北西	鋼製		1			上部	2 錆発生
鹿児島県	○		全面	鋼製		1	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○		南	鋼製		1			一部	2 錆発生
鹿児島県	○		南	鋼製		1			全部	2 錆発生
鹿児島県	○		東	鋼製		1			一部	2 錆発生
鹿児島県	○		北	鋼製	1					2 錆発生
鹿児島県	○		北	鋼製		1			一部	2 錆発生
鹿児島県	○		南東	鋼製		1				2 錆発生
鹿児島県	○		南	アルミ、鋼製		1			一部	2 錆発生
鹿児島県	○		南	板張		1			全部	1 汚染
鹿児島県	○		全面	板張		1			全部	1 ハンナ剥離
鹿児島県	○		全面	板張		1			全部	2 汚染、釘錆発生
鹿児島県	○		全面	アルミサツ	1				全部	4 錆、腐食
鹿児島県	○		北	アルミサツ	1				全部	4 錆、腐食
鹿児島県	○		全面	木製			1		3/4	4 腐食
鹿児島県	○		全面	アルミサツ		1			軒下3/4	2 錆
鹿児島県	○		北	鉄板			1			4 腐食、錆
鹿児島県	○		全面	塗装合板		1	1		1/2	3 破損
鹿児島県	○		全面	スチール		1	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○			杉板		1	1		全部	4 腐食、破損
鹿児島県	○		全面	板		1			2/5	1 塗料剥離
鹿児島県	○		全面	アルミサツ		1			全部	2 錆
鹿児島県	○		南	アルミサツ、木製		1			全部	4 合板剥離
鹿児島県	○		全面	板		1			1/3	1 汚染、塗料剥離
鹿児島県	○		南	アルミサツ		1			一部	1 汚染
鹿児島県	○		○ 全面	アルミサツ		1			一部	1 汚染
鹿児島県	○			板張		1			一部	1 損傷
鹿児島県	○		全面	木製		1			全部	2 釘錆
鹿児島県	○		全面	木製		1			全部	3 釘腐食
鹿児島県	○		全面	木製		1			全部	3 釘腐食
鹿児島県	○			木製			1		全部	2 釘錆
鹿児島県	○		南	アルミ製カラー			1		1/5	4 腐食
鹿児島県	○		全面	鉄製		1			1/5	4 錆、腐食
沖縄県	○		北	木造		1			全部	3 破損
沖縄県		○	北	木造		1			全部	4 部分腐食
沖縄県		○	北	木造		1			一部	4 腐食
沖縄県		○	北	木造		1			一部	4 腐食
沖縄県	○		北	木造		1			一部	4 腐食
沖縄県	○		○ 全面	杉		1	1		全部	2 釘錆によるゆるみ、汚
沖縄県	○		東、南	杉		1			全部	2 釘錆付着
沖縄県	○		全面	杉		1	1		全部	2 釘の錆、ゆるみ
沖縄県	○			杉		1			全部	2 釘の錆、ゆるみ
沖縄県	○		全面	杉		1			全部	2 釘錆、ゆるみ延付不良
沖縄県	○		○ 全面	杉		1			全部	2 釘の錆、ゆるみ
沖縄県			○ 全面	杉		1	1		全部	2 釘の錆

県名	沿岸距離		4 外部建具				範囲	損傷の程度	
	2 km 未満	2 km 以上	方位	仕上形式等	階 層				
					全面	1階			2階
沖縄県	○		南、東	杉		1	1	全部	2 釘の錆
沖縄県	○			杉	1				2 釘の錆
沖縄県	○		全面	コンクリート直仕上		1		上部1/2	1 浅い亀裂、汚染
沖縄県	○		全面	杉		1		全部	2 釘の錆、ゆるみ
沖縄県	○		全面	杉			1	全部	2 釘の錆
沖縄県	○		全面	杉		1		全部	2 釘錆
沖縄県	○			杉		1		全部	2 変色、膨張
沖縄県	○			杉		1		全部	3 変色、一部腐朽
沖縄県	○			杉		1		全部	3 変色、膨張、一部腐朽

県名	心岸距離		4 外部建具					範囲	損傷の程度		
	2 km未満	2 km以上	④ 網入ガラス								
			方位	仕上形式等	階層		損傷度				
					全面	1階	2階	3～			
長崎県	○		南西	鉄板フラッシュ戸		1				2	金属枠部の錆
鹿児島県	○		東	7mmサッシ		1			下部	4	一部腐食
鹿児島県	○		東	7mmサッシ		1			下部	2	錆発生
鹿児島県	○		北	7mmサッシ				1	主に下部	2	錆発生
鹿児島県		○	南	7mmサッシ		1			一部	2	錆発生
鹿児島県		○	北西	7mmサッシ		1			一部	2	錆発生
鹿児島県	○		西、南	7mmサッシ		1			一部	4	網腐食によるひび割れ
鹿児島県	○		南	7mmサッシ		1			下方1/2	4	網腐食によるひび割れ
鹿児島県	○			7mmサッシ		1				2	錆発生
鹿児島県	○		東	7mmサッシ		1			全部	3	網の錆による破損
鹿児島県	○		南	5mmガラス		1			1/3	4	網腐食、ガラスひび割れ
沖縄県	○		南	網入型板ガラス		1			上部一部	2	網の錆発生
沖縄県		○		網入型板ガラス		1			二箇所	2	割れ目に錆

県名	沿岸距離		5 その他の部分				範囲	損傷の程度	
	2 km 未満	2 km 以上	① 軒瓦		階層				
			方位	仕上形式等	全面	1階			2階
香川県	○			塩化ビニル	1			全部	4 受金に錆、腐食
香川県	○		全面	鋼製(ペイント)	1				2 錆付着、ペイント剝離
香川県		○	全面	鋼製(ペイント)	1				3 取付金物損、塗装剝離
香川県		○		鋼製(ペイント)	1				3 取付金物損、塗装剝離
高知県	○		西、南	塩化ビニル	1			一部	4 固定金具腐食
高知県	○		全面	塩化ビニル	1			50%	4 固定金具腐食
高知県		○	全面	塩化ビニル	1			一部	4 固定金具腐食
佐賀県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	3 取付金具損耗・変色
佐賀県	○			塩化ビニル			1	全部	3 破損
長崎県	○			塩化ビニル			1	全部	2 止め金具錆
長崎県		○	西	塩化ビニル	1			一部	2 損傷
長崎県	○		北西	塩化ビニル		1	1	全部	4 取付金具錆、腐食
長崎県	○		東	塩化ビニル		1	1	全部	2 取付金具錆
大分県	○		南、東	塩化ビニル、トタン		1	1	全部	2 トタン部色あせ、錆程度中
宮崎県	○		全面	塩化ビニル		1		全部	4 止め金具腐食
宮崎県	○		東、西	塩化ビニル		1	1	全部	3 止め金具軽度の腐食
宮崎県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	4 止め金具腐食
鹿児島県	○			塩化ビニル	1				2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル					2 止め金具錆発生
鹿児島県	○			塩化ビニル					2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル		1		全部	2 金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル	1			全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○			塩化ビニル	1			全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製		1		全部	3 鋼製金具錆、一部腐食
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製		1	1	全部	3 鋼製金具錆、一部腐食
鹿児島県		○	全面	塩化ビニル、鋼製	1	1	1	全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県		○	全面	塩化ビニル、鋼製	1	1	1	全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、PM		1		全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製			1	全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、ステンレス		1		全部	1 汚染
鹿児島県	○		全面	プラスチック		1		全部	2 錆受錆
鹿児島県	○		全面	プラスチック		1		全部	4 軒瓦受腐食、脱落
鹿児島県	○		北西			1	1	全部	4 落下
鹿児島県	○		北西					全部	4 落下
鹿児島県	○		東						4 取付金具腐食
鹿児島県	○		東	塩化ビニル		1		1/4	3 一部破損
鹿児島県		○	東	塩化ビニル		1		1/2	3 破損(強風による)
鹿児島県	○			亜鉛鉄板		1		1/5程度	4 一部腐食
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル		1		全部	2 止め金具錆
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル		1		全部	2 止め金具錆
沖縄県		○	全面	亜鉛		1	1	全部	3 止め金具錆、脱落
沖縄県		○		塩化ビニル				全部	2 止め金具錆

県名	沿岸距離		5 その他の部分				範囲	損傷の程度	
	2 km未満	2 km以上	② たて橋		附 属				
			方位	仕上形式等	全面	1階			2階
香川県	○			塩化ビニル	1			全部	4 受金に錆、腐食
香川県	○		東	鋼製(アイソ)		1		全部	2 錆発生
香川県	○		全面	鋼製(アイソ)	1				2 錆付着、アイソ剝離
香川県		○	全面	鋼製(アイソ)	1				3 取付金具損、塗装剝離
香川県		○		鋼製(アイソ)	1				1 塗装剝離
高知県	○		西、南	塩化ビニル	1			一部	4 固定金具腐食
高知県	○			塩化ビニル(塗装仕)	1				4 固定金具腐食
高知県	○		全面	塩化ビニル	1			50%	4 固定金具腐食
高知県	○	○	全面	塩化ビニル	1			一部	4 固定金具腐食
福岡県	○		北、西、東	塩化ビニル		1	1	全部	4 取付金具腐食
佐賀県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	3 取付金具損耗、変色
佐賀県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	3 取付金具損耗、変色
佐賀県		○		塩化ビニル			1	全部	1 変色
佐賀県	○		北	塩化ビニル		1	1	全部	3 取付金具損、塗装剝離
長崎県	○			塩化ビニル		1	1	全部	2 止め金具錆
長崎県	○	○		塩化ビニル	1			一部	1 汚染(色落ち)
長崎県	○			塩化ビニル	1			全部	2 止め金具錆
長崎県	○	○		塩化ビニル	1			一部	2 止め金具錆
長崎県	○	○	北西	塩化ビニル		1	1	全部	2 止め金具錆
長崎県	○		東	塩化ビニル		1	1	全部	4 取付金具錆、腐食
大分県	○		南、東	塩化ビニル、トタン		1	1	全部	2 取付金具錆
宮崎県	○		東、西	塩化ビニル		1	1	上部1/2	2 トタン部色あせ、錆程度中
宮崎県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	3 止め金具軽度の腐食
宮崎県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	4 止め金具腐食
宮崎県	○		北	塩化ビニル		1	1	全部	4 止め金具腐食
宮崎県	○		北	塩化ビニル、油性ペイント		1	1	全部	4 止め金具腐食
鹿児島県	○			塩化ビニル	1				2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル					2 止め金具錆発生
鹿児島県	○			塩化ビニル					2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル		1		全部	2 金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル	1			全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製		1	1	全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 鋼製金具錆
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○	○	全面	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○	○	全面	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○	○	全面	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○	○	全面	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○		北西	塩化ビニル、鋼製	1			一部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○		北	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○		西	塩化ビニル、鋼製	1			全部	3 錆発生、破損
鹿児島県	○		北	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○	○		塩化ビニル、鋼製					2 錆発生
鹿児島県	○	○	全面	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 少々錆発生
鹿児島県	○	○	全面	塩化ビニル、鋼製	1	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○	○	西	塩化ビニル、鋼製	1			一部	2 錆発生
鹿児島県	○	○	北西	塩化ビニル、鋼製	1			全部	2 錆発生
鹿児島県	○			塩化ビニル	1	1			2 取付部錆
鹿児島県	○			プラスチック					4 取付部腐食
鹿児島県	○				1				4 取付部腐食
鹿児島県	○			塩化ビニル	1				4 取付部腐食
鹿児島県	○			塩化ビニル	1				2 止め金具錆発生
鹿児島県	○			塩化ビニル、鋼製		1			2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製		1		全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		北、南	塩化ビニル、鋼製		1			2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製			1	全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製			1	全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製		1		全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製	1			全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製		1		全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製		1		全部	4 止め金具錆、腐食、剝離
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、鋼製	1			全部	2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル、ステンレス	1			全部	1 汚染
鹿児島県	○			塩化ビニル	1				2 止め金具錆発生
鹿児島県	○			塩化ビニル					2 止め金具錆発生

県名	沿岸距離		5 その他の部分				損傷度	損傷の程度		
	2 km未満	2 km以上	方位	仕上形式等	腐 蝕					
					全面	1階			2階3～	
鹿児島県	○			塩化ビニル				2	止め金具錆発生	
鹿児島県	○		全面	プラスチック		1		全部	4	錆止め腐食
鹿児島県	○		北西					一部	2	金具錆発生
鹿児島県	○		北西						4	取付金具腐食
鹿児島県	○		東						4	取付金具腐食
鹿児島県	○			合成樹脂		1			2	取付金具錆
鹿児島県	○		南東	塩化ビニル		1		全部	2	金具錆
鹿児島県	○		西	合成樹脂		1			2	金具錆
鹿児島県	○		北	合成樹脂		1			2	錆取付金具錆
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	2	つかみ金物錆
鹿児島県	○		東	塩化ビニル		1	1	全部	3	取付金具錆、破損
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	3	取付金具損耗、塗装剥
鹿児島県		○	全面	塩化ビニル		1		全部	4	取付金具錆、腐食
鹿児島県		○	西	塩化ビニル					2	取付金具錆
鹿児島県		○	全面	塩化ビニル		1	1	全部	3	取付金具錆、損耗
鹿児島県	○		全面	ポリエステル製		1		1/2	2	取付金具錆
鹿児島県	○		北西	ポリエステル、油性ペイント				極く一部	2	取付金具錆
鹿児島県	○		全面	ポリエステル製		1		一部	4	取付金具腐食
鹿児島県	○		北西	ポリエステル、油性ペイント		1	1	全部	4	取付金具錆、腐食
鹿児島県	○		全面	ポリエステル		1	1	極く一部	2	取付金具錆
鹿児島県	○		全面	ポリエステル		1		一部	4	取付金具腐食
鹿児島県	○			木材		1		1/5程度	1	汚染
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル		1		全部	2	止め金具錆
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル			1	全部	2	止め金具錆
鹿児島県	○		南	塩化ビニル			1	全部	2	止め金具錆
鹿児島県	○		南	塩化ビニル			1	全部	4	止め金具錆大、腐食
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル			1	全部	2	止め金具錆
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル		1		全部	4	止め金具腐食
鹿児島県	○		全面	塩化ビニル		1		全部	4	止め金具腐食、損傷
沖縄県	○		全面	ビニル		1		全部	2	止め金具錆
沖縄県	○			ビニル					2	止め金具錆
沖縄県	○		西	塩化ビニル		1			2	止め金具錆
沖縄県	○			塩化ビニル				全部	2	止め金具錆
沖縄県		○		塩化ビニル					2	止め金具錆
沖縄県		○		塩化ビニル					2	止め金具錆
沖縄県		○		ビニル、イ					2	止め金具錆
沖縄県		○		塩化ビニル				全部	2	止め金具錆
沖縄県		○	北	水性ペイント		1			4	支柱表面腐食
沖縄県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	4	取付金具錆、腐食
沖縄県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	4	取付金具錆、腐食、欠損
沖縄県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	4	取付金具錆、腐食、変形
沖縄県	○		全面	塩化ビニル		1	1	全部	3	取付金具錆、欠損
沖縄県	○		全面	塩化ビニル		1		全部	3	取付金具錆、欠損
沖縄県		○	全面	塩化ビニル		1	1	全部	4	取付金具錆、腐食
沖縄県		○	全面	塩化ビニル		1	1	全部	3	取付金具錆、一部欠損
沖縄県		○	全面	塩化ビニル		1		全部	4	取付金具錆、腐食
沖縄県	○		南	塩化ビニル		1		一部	2	留具錆
沖縄県	○		北	塩化ビニル		1		全部	4	留具腐食、欠損

県名	沿岸距離		5 その他の部分		③ 戸袋				範囲	損傷度	損傷の程度
	2 km以上	2 km未満	方位	仕上形式等	階層			階層			
					全面	1階	2階				
徳島県	○		全面	亜鉛鉄板	1				全部	1	色落ち
徳島県	○		南	木製		1			一部	4	腐食
香川県	○		南	灰色亜鉛鉄板	1				一部	2	錆付着
香川県	○		東	鋼板ハキ		1			下部	2	錆発生
香川県	○		南	鋼板ハキ		1				2	錆付着、ペイント剥離
香川県		○	全面	灰色亜鉛鉄板	1					1	塗装剥離
香川県		○		合成樹脂ハキ	1						汚染
高知県	○			7Fミ	1					1	汚染
佐賀県	○		北	スチール		1			全部	2	錆大
長崎県		○		木製		1			全部	1	汚染(色落ち)
長崎県	○		北西	7Fミ		1	1		全部	4	錆、腐食
宮崎県	○		南	7Fミクワジ		1			全部	4	止め金具腐食
宮崎県	○		南、東	7Fミクワジ		1			全部	4	止め金具腐食
鹿児島県	○		南	亜鉛鉄板	1				全部	2	錆発生
鹿児島県		○	全面	亜鉛鉄板		1			全部	1	緑青
鹿児島県	○		全面	7Fミクワジ			1		全部	1	緑青
鹿児島県	○		全面	7Fミ		1	1		上部	2	錆発生
鹿児島県	○		南	板張		1			全部	3	ペイント剥離、板一部腐朽
鹿児島県		○	全面	7Fミ		1	1		全部	2	錆発生
鹿児島県		○	全面	7Fミ		1	1		上部	2	錆発生
鹿児島県	○			7Fミ		1	1			4	全面腐食
鹿児島県	○			7Fミ						4	腐食
鹿児島県	○			亜鉛鉄板						4	全面腐食
鹿児島県	○		北西	7Fミ		1			一部	2	錆発生
鹿児島県	○		全面	7Fミ		1			全部	2	錆発生
鹿児島県	○		南	7Fミ		1			一部	2	錆発生
鹿児島県	○		全面	7Fミ、鋼製		1			全部	2	止め金具錆発生
鹿児島県	○		全面	板張り		1			一部	1	ペイント剥離
鹿児島県	○		全面	板張り		1			全部	1	ペイント剥離
鹿児島県	○		全面	合板		1			全部	2	汚染、釘錆
鹿児島県	○			板張り		1				1	ペイント剥離
鹿児島県	○			7Fミ						2	止め金具錆発生
鹿児島県	○			7Fミ						2	錆発生
鹿児島県		○		7Fミ		1				2	多少錆
鹿児島県		○		7Fミ					1/3	2	錆発生
鹿児島県	○		全面	7Fミ	1				全部	4	錆、腐食
鹿児島県	○		全面	7Fミ	1				全部	4	錆、腐食
鹿児島県	○		北西	7Fミ					一部	3	破損
鹿児島県	○		北西	7Fミ		1			全部	4	表面腐食
鹿児島県	○		北	7Fミ		1	1			4	腐食、錆
鹿児島県	○		全面	杉板(塗装)		1	1		全部	4	汚染、塗装剥離、腐朽
鹿児島県	○		全面	スチール		1	1		全部	2	錆発生
鹿児島県	○		東	杉板		1			一部	3	損傷
鹿児島県	○		全面	亜鉛鉄板		1	1		全部	4	錆、腐食
鹿児島県		○		杉板					10%	2	釘錆
鹿児島県		○	全面	杉板塗装		1	1		1/4	1	塗装剥離
鹿児島県	○		全面	モルタル、リシン吹付		1			3/5	1	汚染
鹿児島県	○		全面	7Fミ		1			全部	2	錆
鹿児島県	○		南	7Fミ、木製		1			全部	4	合板剥離
鹿児島県	○		全面	木製		1			2/3	1	塗料剥離
鹿児島県		○	南	モルタル、リシン吹付		1			3/5	1	亀裂、汚染
鹿児島県	○			板張り		1			1/5程度	3	一部損傷
鹿児島県	○		全面	木製		1			全部	2	釘錆
鹿児島県	○		全面	木製		1			全部	4	釘腐食
鹿児島県	○		南	7Fミ		1			1/4	4	錆大、腐食
鹿児島県	○		南	7Fミ			1		1/2	4	錆大、腐食
鹿児島県	○		南	7Fミ		1			1/4	4	腐食
沖縄県	○		全面	杉		1	1		全部	2	釘錆、軽微なゆるみ
沖縄県		○	全面	杉		1	1		全部	4	取付金具錆、腐食
沖縄県		○	全面	杉		1	1		全部	2	釘錆
沖縄県	○			杉		1			全部	3	変色、木目の膨張

県名	沿岸距離		5 その他の部分				範囲	損傷の程度
	2km未満	2km以上	④ 台所換気扇フード		階層			
			方位	仕上形式等	全面	1階		
香川県	○		東	鋼製(ペイント)			一部	2 錆付着
香川県	○			鋼製(ペイント)			全部	2 錆付着
香川県	○		北	鋼板(ペイント)	1			2 錆付着、ペイント剥離
香川県		○		鋼製(ペイント)				1 塗装剥離
香川県		○		鋼製(ペイント)				1 汚染
高知県	○		南	塩化ビニル	1		全部	1 汚染
高知県	○		東	亜鉛鉄板(塗装)			25%	4 腐食
佐賀県	○		南	着色亜鉛鉄板	1		全部	2 錆付着
佐賀県		○	北西	着色亜鉛鉄板	1		全部	2 多少の錆
長崎県	○		北西	着色亜鉛鉄板	1		全部	4 錆、腐食
熊本県	○		東	換気扇	1		全部	2 錆発生
宮崎県		○	西、北	着色亜鉛鉄板	1		一部	3 継手部軽度の腐食
宮崎県	○		北	塩化ビニル	1		全部	3 止め金具軽度の腐食
宮崎県	○		北	着色亜鉛鉄板	1		全部	3 軽度の腐食
宮崎県	○		東、北	塩化ビニル	1		全部	4 止め金具腐食
鹿児島県	○		東	亜鉛鉄板	1		全部	2 錆
鹿児島県	○		北東	亜鉛鉄板	1		全部	2 錆
鹿児島県	○		南	ステンレス	1		全部	2 錆
鹿児島県	○		北	ステンレス	1		全部	2 表面錆
鹿児島県	○		南東	ステンレス	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○			プラスチック	1			2 取付金具錆
鹿児島県	○		東	鋼製	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○		西	鋼製	1		全部	1 ペイント剥離
鹿児島県	○		北、南	プラスチック	1			2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		北	プラスチック	1			2 汚染、取付金具錆
鹿児島県	○		北西	プラスチック	1			2 汚染、取付金具錆
鹿児島県	○		北	プラスチック	1			2 止め金具錆発生
鹿児島県	○		南	プラスチック	1		全部	2 汚染、取付金具錆
鹿児島県	○		西	プラスチック	1		全部	2 汚染、取付金具錆
鹿児島県	○		北	ステンレス	1		一部	4 接続部腐食
鹿児島県	○		北	プラスチック	1			4 止め金具腐食
鹿児島県	○		北西				全部	2 錆発生
鹿児島県	○			2500ファン				4 錆、腐食
鹿児島県	○		北東	亜鉛鉄板	1		全部	4 表面腐食
鹿児島県	○		南東	2500ファン	1		全部	4 錆、腐食
鹿児島県	○		西	スチール	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○		北	スチール	1		全部	4 錆、腐食
鹿児島県	○		北	亜鉛鉄板	1		全部	4 錆、腐食
鹿児島県	○		西	アルミ	1		全部	2 錆
鹿児島県	○		全面	鉄製	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○		北西	鉄製	1		全部	2 錆発生顕著
鹿児島県	○		北	鉄製	1		全部	2 錆発生顕著
鹿児島県	○		西	鉄板製	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○			鉄製		1	全部	2 錆発生
鹿児島県	○		北	鉄製	1		全部	2 錆発生
鹿児島県	○		北	鉄製	1		全部	2 錆発生顕著
鹿児島県	○		北	鉄製	1		全部	2 錆発生顕著
沖縄県	○		北		1			2 錆顕著
沖縄県	○							2 錆発生
沖縄県		○	東		1			2 錆顕著
沖縄県		○	北西	ステンレス			全部	2 軽微な錆
沖縄県		○	北西	亜鉛鉄板	1			2 軽微な錆
沖縄県		○	西		1			4 開口部表面腐食

県名	沿岸距離		5 その他の部分				⑤ 床下換気口金物		貼 附		純 明	損傷の程度
	2 km 未満	2 km 以上	方位	仕上形式等	全 面			損傷度				
					1階	2階	3～					
香川県	○			鉄製						全部	2	錆付着
香川県	○		全面	鋼製(ﾊﾞｲﾄ)		1				全部	2	錆発生
香川県	○		東	鋼製(ﾊﾞｲﾄ)		1					2	錆発生
香川県		○		鉄製(ﾊﾞｲﾄ)							2	錆付着
香川県		○		鉄製(ﾊﾞｲﾄ)							2	荒錆
愛媛県	○		北西	鉄製		1				一部	2	錆発生
高知県	○		全面	新物		1				全部	4	腐食
福岡県	○		全面	鋼製		1				全部	4	腐食
福岡県	○		北	鋼製		1				全部	4	腐食
佐賀県	○		全面	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ		1				全部	2	多少の錆
佐賀県	○		全面	ｽﾌｰﾙ		1				全部	2	多少の錆
宮崎県		○	北東	鋼製		1				全部	3	軽度の腐食
宮崎県	○		全面	鋼製		1				全部	3	軽度の腐食
宮崎県	○		全面	鋼製		1				全部	3	軽度の腐食
宮崎県	○		北、東	鋼製塩化ビニル巻		1				全部	3	軽度の腐食
鹿児島県	○		全面	鋼製		1				全部	2	錆大
鹿児島県	○		全面	鋼製		1				全部	2	錆
鹿児島県	○		全面	鋼製		1				全部	2	錆発生
鹿児島県		○	全面	鋼製		1				全部	2	少々錆発生
鹿児島県		○	北	鋼製		1				全部	4	腐食、錆
鹿児島県	○		全面	鋼製		1				全部	4	腐食
鹿児島県	○		全面	鋼製		1				全部	4	腐食
鹿児島県	○		全面	鋼製		1				全部	2	錆発生
鹿児島県	○			鉄製							4	全体錆、腐食
鹿児島県	○			鉄製							4	全体腐食
鹿児島県		○		鉄製		1					2	錆発生
鹿児島県	○		全面	鉄製		1				全部	4	錆、腐食
鹿児島県	○		北	鉄製		1				全部	3	錆、損壊
鹿児島県	○		全面	鉄製		1				全部	4	腐食、脱落
鹿児島県	○		北西	鉄製		1				全部	2	錆発生
鹿児島県	○		全面	鉄製		1				全部	2	錆
鹿児島県		○	全面	ｽﾌｰﾙ						全部	2	錆
鹿児島県		○	西	鉄製						全部	2	荒錆
鹿児島県	○			鉄製		1				全部	4	錆、腐食
鹿児島県	○		全面	鉄製		1				全部	4	腐食
鹿児島県		○	全面	鉄製		1				全部	2	錆

県名	沿岸距離		5 その他の部分		◎ 屋外設置設備機器			範囲	損傷の程度	
	2km未満	2km以上	方位	仕上形式等	階層					損傷度
					全面	1階	2階3~			
長崎県	○			配電板		1			2 錆発生	
熊本県	○		東、北	エアコン屋外、ホィー		1		1/4程度	2 錆発生	
熊本県	○		東	エアコン屋外、ホィー				全部	2 錆発生	
熊本県	○		東	エアコン屋外、ホィー					2 錆発生	
熊本県	○		南、東	テレビアンテナ、エアコン		1	1	全部	2 錆発生	
熊本県	○		西	物置(鉄製)		1		全部	4 一部腐食	
大分県	○		東	エアコン屋外			1	全部	2 色あせ、錆程度大	
宮崎県	○		全面	照明器具		1		全部	1 汚染	
宮崎県	○		西	窓取付型エアコン		1		全部	3 軽度の腐食	
宮崎県	○		全面	鋼製手摺り			1	全部	4 腐食	
宮崎県	○			照明器具		1			4 腐食	
鹿児島県	○		南	湯沸エント(鋼製)		1		全部	2 表面錆	
鹿児島県	○		北	湯沸ホィー		1		全部	2 錆	
鹿児島県	○		南	玄関灯(鋼製)		1		全部	2 錆	
鹿児島県	○		東	湯沸ホィー(鋼製)		1		全部	2 錆	
鹿児島県	○			直付蛍光灯		1		全部	2 外枠金具錆	
鹿児島県	○		北	湯沸ホィー(鋼製)		1		全部	2 錆	
鹿児島県	○			エアコン室外機(鋼製)			1	全部	2 錆	
鹿児島県	○		全面	エアコン室外機		1		全部	2 錆	
鹿児島県	○		南	エアコン室外機(鋼製)		1		全部	2 表面錆付着	
鹿児島県	○		北	灯油タンク(鋼製)		1		全部	2 縁部錆少々	
鹿児島県	○		南	湯沸ホィー(ステンレス)		1		全部	2 錆	
鹿児島県	○			コンセント、埋込蛍光灯		1		全部	2 表面錆	
鹿児島県	○		北西	鋼管		1		継手部分	2 錆	
鹿児島県	○		西	ホィー(ステン)		1		全部	2 錆	
鹿児島県	○		南東	冷蔵庫メーカー		1		一部	2 錆発生	
鹿児島県	○		北、北西	給湯機器		1	1	一部	2 錆発生	
鹿児島県	○		東	給湯機器(鋼製)		1		一部	2 錆発生	
鹿児島県	○		北	冷房機器(鋼製)			1	一部	2 錆発生	
鹿児島県	○		北	配電盤(鋼製)		1		全部	2 錆発生	
鹿児島県	○		東	換気設備(鋼製)		1		一部	2 錆発生	
鹿児島県	○		東	配電盤(鋼製)		1		全部	2 錆発生	
鹿児島県	○		北	浄化槽メーカー		1		一部	2 錆発生	
鹿児島県	○		北東	給湯機器		1		一部	2 錆発生	
鹿児島県	○			クーラー室外器		1			2 錆	
鹿児島県	○			風呂ハランス釜排気口		1		一部	2 錆	
鹿児島県	○		北西	ガス管、湯沸器					4 腐食	
鹿児島県	○			ガス器具止金具(鋼製)					2 錆	
鹿児島県	○		北、南	水道設備金具(鋼製)		1			2 錆	
鹿児島県	○			電線引込金具(鋼製)					2 錆発生	
鹿児島県	○		全面	照明器具			1	全部	2 錆発生	
鹿児島県	○			電線引込金具(鋼製)					2 錆発生	
鹿児島県	○		全面	シャッター(鋼製)		1			2 錆発生	
鹿児島県	○			湯沸器		1			2 取付ホィー錆	
鹿児島県	○			湯沸器		1			2 ガス管少々錆	
鹿児島県	○			湯沸器		1			2 ガス管錆	
鹿児島県	○		東	直付白熱球		1		一部	4 鉄部の錆、腐食	
鹿児島県	○		東	玄関シャッター(鉄製)		1		全部	4 錆、腐食	
鹿児島県	○		北西	トイレ換気扇				全部	2 金具錆発生	
鹿児島県	○		南	クーラーファン		1			2 錆発生	
鹿児島県	○		西	ホィー		1		全部	4 錆、腐食	
鹿児島県	○		北	ホィー煙突(ステンレス)		1		全部	2 錆	
鹿児島県	○		西	ホィー扉(エタプルック)		1		全部	1 亀裂、汚染	
鹿児島県	○		北西	配管(油性ペイント)		1	1	全部	4 錆、腐食	
鹿児島県	○		西	ホィー煙突(ステンレス)		1		全部	2 錆	
鹿児島県	○		北	ホィー煙突		1		全部	4 腐食、煙突穴錆	
沖縄県	○			冷房機					2 赤錆発生	
沖縄県	○			湯沸、軽油タンク		1			5 (交換済)	
沖縄県	○		西、東	湯沸器、クーラー					2 錆発生	
沖縄県	○		南	クーラー、ホィー		1			2 錆顕著	
沖縄県	○			水タンク				一部	2 錆発生	
沖縄県	○		全面	TVアンテナ(亜鉛ホィー)			1	全部	2 支柱錆発生	
沖縄県	○			配電板					2 錆	
沖縄県	○		東	湯沸器					2 錆発生	
沖縄県	○		北西	石油ホィー(ステンレス)		1		一部	2 縁に軽微な錆	
沖縄県	○		北	湯沸器					2 表面錆	

県名	沿岸距離		5 その他の部分						
	2 km未満	2 km以上	⑥ 屋外設置設備機器		階層			範囲	損傷の程度
			方位	仕上形式等	全面	1階	2階		
沖縄県		○		換気扇フード					2 多少錆
沖縄県		○	西	湯沸器、配電板		1		上部	4 腐食
沖縄県	○		北	*イラ煙突(ステンレス)		1		全部	2 錆付着
沖縄県	○		北	屋上タンク(鋼製)		1			2 錆発生

県名	沿岸距離		5 その他の部分		⑦ その他				範囲	損傷の程度	
	2km未満	2km以上	部分名	方位	仕上形式等	階層					損傷の程度
						全面	1階	2階			
香川県	○		ハランタ				1			2	錆発生
愛媛県	○		ハランタ	北西	7Rミ			1	一部	4	水道管継手部腐食、錆
愛媛県	○		手摺、シャッター	南	鉄製	1			全部	2	錆発生
愛媛県	○		ハランタ	北西	7Rミ			1	一部	4	釘腐食
高知県	○		ハランタ	南	ボリタイル			1	一部	1	汚濁
高知県	○		手摺、階段	南	鉄製(塗装)				全部	4	腐食
高知県	○		手摺	南	鉄製(塗装)				全部	4	腐食
高知県	○		○ 屋外階段	西	鉄製(塗装)					4	踏面腐食
高知県	○		○ 手摺、ハランタ	南	鉄製(塗装)				一部	4	腐食
佐賀県	○		○ 屋外階段		スチール		1		全部	2	錆大
長崎県	○		庇	南				1	一部	3	損傷
長崎県	○		○ 下屋	北	亜鉛鉄板		1		一部	2	錆発生
長崎県	○		階段	北						2	錆発生
長崎県	○		手摺、階段						全部	2	錆大
長崎県	○		シャッター、ハコ	西、南			1	1	全部	2	錆発生、一部亀裂
長崎県	○		○ ハランタ、ハコ						全部	2	手摺部錆
長崎県	○		○ ハランタ						一部	1	コケカト極一部亀裂
長崎県	○		○ 屋上階段					1	一部	2	錆発生
長崎県	○		○ 階段	西					全部	2	錆発生
長崎県	○		ガラス	北西	7Rミ		1		全部	4	接合部ネジ錆、腐食
熊本県	○		ホーチ	西	鉄製(塗装仕上)		1		上部	2	僅かに錆発生
熊本県	○		シャッター	南	簡易軽量シャッター		1		全部	3	錆、一部腐食
熊本県	○		シャッター	北	簡易軽量シャッター		1		一部	2	塗装剥離、錆発生
熊本県	○		小屋組	西	7Rミ		1		一部	4	腐食、亀裂
熊本県	○		欄	南	鉄製(塗装仕上)		1		全部	3	特に下部錆大、穴空き
熊本県	○		階段	南	鉄製			1	全部	2	錆発生
宮崎県	○		○ ホーチ	北			1		一部	4	支柱腐食
宮崎県	○		○ 階段	西、東	鋼製		1	1		4	表面腐食
宮崎県	○		○ 階段	南	鋼製、油性ペイント		1		一部	3	軽度の腐食
宮崎県	○		庇	南	瓦葺単板仕上		1		全部	1	軽度の変色
宮崎県	○		ホーチ	東	軽量鉄骨塗装				全部	4	腐食
宮崎県	○		玄関屋根	南	ガラス合板張		1		全部	3	変色、歪曲
鹿児島県	○		水切り	全面	銅板		1		全部	1	緑青
鹿児島県	○		○ 看板	南	鋼製		1		全部	3	錆、腐食穴
鹿児島県	○		郵便受け	東	鋼製		1		全部	2	錆大
鹿児島県	○		手摺り	北西	7Rミタツ			1	全部	2	錆
鹿児島県	○		郵便受け	南	ステンレス		1		全部	2	表面錆
鹿児島県	○		照明	東			1		一部	2	取付金具錆発生
鹿児島県	○		庇	西	ガラス合板		1		下部	4	腐朽
鹿児島県	○		○ 外壁コーナー	北西	鋼製		1		上下取付部	3	錆、切断部めくれ上げ
鹿児島県	○		○ 庇	全面	鋼製合板、着色鉄板		1		1/3程度	4	表面剥離
鹿児島県	○		○ 外壁コーナー	北東	鋼製		1	1	一部	2	金具錆発生
鹿児島県	○		電気配電盤	南東	鋼製		1		一部	2	錆発生
鹿児島県	○		玄関照明				1		一部	2	錆発生
鹿児島県	○		給水管	東	鋼管		1		一部	2	錆発生
鹿児島県	○		トイレ換気管	西	鋼管			1	一部	4	錆発生、腐食
鹿児島県	○		○ 照明器具		ステンレス					2	錆発生
鹿児島県	○		○ 給水管	北東	鋼管		1	1	全部	2	錆発生
鹿児島県	○		○ 玄関灯	北	鋼製		1		全部	2	錆発生
鹿児島県	○		○ 郵便受け	南西	ステンレス		1		全部	2	錆発生
鹿児島県	○		ハランタ							2	びび割れ、錆発生
鹿児島県	○		メーカボックス	南	鋼製		1		下部	4	錆、腐食
鹿児島県	○		外階段	西	鉄板				一部	4	腐食
鹿児島県	○		ハランタ	西	鋼製		1		全部	4	錆、腐食
鹿児島県	○		ガラス、庇	南	塩化ビニル		1		一部	3	破損
鹿児島県	○		外灯	東南	銅板		1		全部	2	青錆発生
鹿児島県	○		外灯、ホース	南	鋼製		1		全部	4	錆、腐食
鹿児島県	○		ガラス							2	物干し金具錆
鹿児島県	○		ガス風呂煙突							2	全体錆
鹿児島県	○		入口シャドウ	東	ハイツ		1		一部	2	錆
鹿児島県	○		階段、手摺						一部	2	錆発生
鹿児島県	○		階段、シャッター							4	錆、腐食
鹿児島県	○		外階段							4	腐食
鹿児島県	○		階段		鉄骨		1		全部	4	錆、腐食
鹿児島県	○		トイレ換気扇	北	塩化ビニル		1		全部	3	金具錆、破損
鹿児島県	○		露出配管	全面	亜鉛鋼管		1	1	全部	4	錆、腐食

県名	沿岸距離		5 その他の部分					範囲	損傷度	損傷の程度		
	2 km 未満	2 km 以上	⑦ その他									
			部分名	方位	仕上形式等	階層						
						全面	1階	2階	3～			
鹿児島県	○		ペランク	東	スチ-ル(物干し)		1			全部	2	錆
鹿児島県	○		テラス	東	ビニ-ルタ-ン		1			全部	3	破損
鹿児島県		○	テラス	東	7Mミ、ビニ-ルタ-ン		1			全部	3	屋根破損(強風による)
鹿児島県		○	外階段	南	鉄板、亜鉛鋼棒		1			全部	5	錆、腐食顕著
鹿児島県	○		外階段	西	亜鉛合金		1			全部	2	錆
鹿児島県	○		ハ-ルコー		鉄製			1		局部	2	錆発生
鹿児島県	○		ハ-ルコー	南	7ヶ所カ-リ-ン吹付			1		全部	1	塗装剝離
沖縄県	○		釘	全面			1			全部	2	錆顕著
沖縄県	○		玄関灯	北西			1				2	錆発生
沖縄県	○		外壁金物	西			1			全部	2	錆顕著
沖縄県	○		外階段		鉄骨						2	錆発生
沖縄県		○	門扉手摺	全面	亜鉛ハ-イ-ン油性ハ-イ-ン		1	1	1	全部	4	腐食
沖縄県		○	内部天井		タ-ン、杉板		1				4	雨漏れで廊下等腐食
沖縄県		○	手摺	東	亜鉛管ハ-イ-ン仕上			1		接接部	4	腐食
沖縄県		○	マ-ター-キ-ツクス	北	ハ-イ-ン塗亜鉛鉄板			1		全部	4	腐食
沖縄県		○			鉄ハ-イ-ン						2	金具、ハ-イ-ン接接部に錆
沖縄県		○	水道管	北	木栓ハ-イ-ン		1			接接部	4	腐食
沖縄県	○		ペランク	南	モルタル(はけ引き)			1		全部	1	部分的な浅い亀裂
沖縄県	○		配線		鋼製ハ-イ-ン		1				4	腐食

2 建物の補修、交換等工事の概要一覧

補修、交換等工事の概要							
屋 根		外 壁		建 具		そ の 他	
経過時期	概 要 (理由等)	経過時期	概 要 (理由等)	経過時期	概 要 (理由等)	経過時期	概 要 (理由等)
随時	トタン取替(雨漏り)	1年	ペンキ塗替	随時	建具のローラー修理(鉛付着)	毎年	鉄骨突出部ペンキ塗替
1年	ペンキ塗替	1年	ペンキ塗替	随時	建具のローラー修理(鉛付着)	1年	手摺ペンキ塗替
2年	一部トタン瓦葺替(台風)	1年	一部ペンキ塗替	随時	建具のローラー修理(鉛付着)	毎年	鉄骨突出部ペンキ塗替
2年	合成樹脂塗葺吹付	1年	合成樹脂塗	随時	建具のローラー修理(鉛付着)	2年	外壁剥離ペンキ塗替
2年	モルタル補修(雨漏り)	2年	板壁を1/3亜鉛鉄板葺	毎年	樋及び戸袋のペンキ塗替	2年毎	雨戸交換
2年	ペンキ塗替	2年	モルタル補修(亀裂)	3年	ドア交換(腐食)	3年	手摺、階段等ペンキ塗直
3年毎	ペンキ塗替	2年	石膏ボード補修	4年	ガラス交換(台風)	3,6,9年	手摺ペンキ塗替
3,6,9年	ペンキ塗替	2年	コーキング補修(ひび割れ)	5年	アルミ製建具へ取替	4年	樋金具交換
3年	ペンキ塗替	2年	塗葺吹付	5年	アルミサッシ交換	5年	鋼製床下換気口をプラスチック製へ
4,5年	北側面の亜鉛鉄板1/5を葺替	2年	北面ペンキ塗替	5年	雨戸及び戸袋交換	5年	樋等ペンキ塗替
4,8年	ペンキ塗替	3年	コーキングによる補修	5年	シャッター交換	5年	たて樋金具交換
4,6年	ペンキ塗替	3年	ペンキ塗替	6年	ペンキ塗替	5,10年	手摺等ペンキ塗替
4年毎	ペンキ塗替	3年	コーキング補修(亀裂)	8年位	シャッター枠ペンキ塗替	6年	樋金具をステンレス製に交換
4年	トタン瓦葺替(台風)	4年	全面ペンキ塗替	8年位	雨戸ペンキ塗替	6,7年	鉄柵を亜鉛メッキへ交換
4,7年	ペンキ塗替	4,6,8年	板壁1/3ずつ亜鉛鉄板、合板葺	8,14年	建具取替、アルミサッシ取付	6年	コンクリートロク断面上積み
4,6年	亜鉛鉄板葺替、ペンキ塗替	4年	ペンキ塗替	8年	ガラス戸からプラスチックへ交換	6年	樋(塩ビ製)取替
5年	シート防水施工(雨漏れ)	4年	防腐剤塗替	8年	木製雨戸取替	7年	水道管等取替
5,9年	ビニル樹脂塗直	4年	成型板を取替	8年	戸袋の杉板葺替	7年	樋金具交換(腐食)
5~14年	セメント瓦を塗葺(3年毎)	4,8年	ペンキ塗替	8年	建具全部交換	8年	性質合成樹脂塗葺
5年	モルタル補修(亀裂)	4年位	タイル貼(ひび割れ)	9年	引戸のレール交換	8年位	たて樋ペンキ塗替
6年	モルタル塗葺の補修	5年	全面板葺替(一部タイルに)	9年	南側雨戸修理	8,19年	鋼製郵便受取替等
6年	亜鉛鉄板コーキング塗(潮害防止)	5,9年	モルタル塗直	10年	アルミサッシに交換	8年	玄関鉄柱ペンキ塗替
6年	防水シート貼(雨漏り)	5年	吹付タイルへ塗葺	10年	アルミサッシ補修	8年	樋取替
7年	全面ペンキ塗替	5,10年	モルタル塗替	10年	雨戸取替、鉛止ラッカー吹付	8年	樋金具をステンレス製に交換
7年	モルタル補修等(ひび割れ)	5年	ペンキ塗替	10,11年	木製からアルミ製雨戸へ交換	9年	クーラー室外器取替
7年	シート防水葺替	5年位	リシン吹替	10年	アルミ製建具へ取替	9年	手摺ペンキ塗替
7年	モルタル補修(雨漏り)	5年	モルタル補修(亀裂)	11年	雨戸取替、鉛止ラッカー吹付	9年	換気扇及び煙突取替
8年	軒樋を7mmプラスチックへ交換	6年	ペンキ塗替	11年	海側アルミサッシ交換	10年	玄関増築
8年	瓦補修	6年	ペンキ塗替	12年	アルミ雨戸及び戸袋交換	10年	軒樋取替
8年	トタン瓦からスレート瓦へ葺替	6年	板ゆるみ補修(釘腐食)	12年	雨戸取替	10年	ソーラーシステム取替
8年	タイルによる補修(ひび割れ)	6年	2階部へシタコ塗(雨漏り)	12年	アルミサッシへ交換	10年	水道管交換
8年	トタンから陸屋根へ改築	6年	ペンキ塗替	13年位	戸袋ペンキ塗葺	10年	樋部ペンキ塗替
8年	ペンキ塗替	6年	ペンキ塗替	13年	アルミサッシ取替	11年	手摺ペンキ塗直
8年	ペンキ塗替	6年	トタン葺替(台風)	13年	シャッター取替	12年	床下通気口取替
8年	ペンキ塗替	6年	モルタル塗葺の補修	14年	細入ガラス交換	12年	樋交換
9年	タイル貼(外壁と同時)	7年	ペンキ塗替	14年	海側シャッター取替	12年	樋取替
10年毎	漆喰塗替	7年	モルタル塗替	15年位	アルミ製建具へ取替	15,28年位	樋交換、バラック屋根交換(腐食)
10年	全面亜鉛鉄板取替(台風)	7年	コーキングによる補修	15年	一部建具取替(台風)	15年	軒樋取替(腐食)
10年	ペンキ塗替	7年	モルタル補修(亀裂)	15年位	アルミ製建具へ取替	15年	ベランダ補修(台風)
10年	1/4亜鉛鉄板葺替	8年	板葺替	18年	木製戸袋修理	15年	プラスチック製取替(腐食)
11年	軒回りペンキ塗直し	8年	リシン吹替	20年位	アルミ製建具へ取替	15年	天井部(ラワン材)張替(水漏)
12年	全面焼付瓦葺替	9年	V.P塗直	20年位	木製からアルミ製雨戸へ取替	15年位	雨戸補修
12年	セメント瓦葺替	9年	トタン板上へタイル貼(保温)	20年位	アルミサッシ取替	16年	床全面改修(白蟻)
12年	北側面の亜鉛鉄板1/4を葺替	9年	全面クリーニング	24年位	スチールからアルミサッシへ	18年	木製からアルミ製建具へ取替

補修、交換等工事の概要

屋 根		外 壁		建 具		そ の 他	
経過時期	概 要 (理由等)	経過時期	概 要 (理由等)	経過時期	概 要 (理由等)	経過時期	概 要 (理由等)
12年	トタン張替	10年	コーキング補修(雨漏り)	25年	木型から7Mミツツへ交換	18年	手摺ペンキ塗装
13年	全面セメント葺替	10年位	モルタル補修(亀裂)	(不明)	網戸の網交換	18年	鉄門扉交換
13年位	軒回り塗装	10年位	支柱ペンキ塗替			20年	全面改築(老朽)
13年	サト防水施工(雨漏り)	10年	モルタル塗装			22年	軒(塩ビ製)、楯取替
20年位	瓦葺替、漆喰塗替	10年	海面側リシン吹付			(不明)	湯沸器交換
20年	モルタル補修(亀裂)	10年	2階全面石膏ボード貼替(台風)			(新規)	ベランダ設置
20年位	瓦葺替(台風)、漆喰塗(3回)	10年	モルタル補修、ペンキ塗替				
20年	ルフトから鋼板へ取替	10年	モルタル塗装(亀裂)				
22年	全面スレート葺替	10年位	腐朽部補強				
		10年	ラフトン吹付(用途変更)				
		11年	ルフトからギンザルへ吹替				
		11年	モルタル補修、ペンキ塗替				
		12年	海面側板張替				
		12年	杉板張替				
		13年位	塗装(色あせ)				
		13年	モルタル吹付				
		13年	ラフトン全面吹付(老朽化)				
		13年位	ペンキ塗替				
		14年	板張替				
		14年	一部杉板張替				
		15年	モルタル吹付				
		15年位	ペンキ塗替				
		15年位	トタンから亜鉛鉄板へ張替				
		15年	全面石膏ボード貼替(台風)				
		18年	トタン張替				
		20年位	ペンキ塗替				
		20年	モルタル塗装				
		20年	モルタル補修(亀裂)				
		(不明)	海面側7Mミツツ取付				

3 調査実施団体の季節風等の状況一覧

県名	市町村名	1 季節風			2 耐用年数			
		期間 (月～月)	方位	風速 (m/sec)	① 自動車の寿命		② 交換サイクル	
					公用車	普通乗用車	ガードレール	道路標識
徳島県	小松島市	09～12	北西	1.0	5年	10年	不明	不明
香川県	高松市	11～03	西～ 西北西	3.3	8年	10年	10～20年	10年
愛媛県	八幡浜市	12～02	北北西	1.5	10年	8年	10年	10年
高知県	高知市	11～03	西及び 北西	1.8	10年	10年	20年以上	20年以上
高知県	宿毛市	12～02	北西	5	7年	7年	15年	15年
福岡県	福岡市	11～03	西及び 北西	10～16	6～7年	7～8年	10年	10年
佐賀県	唐津市	12～02	北西	2	7年	5年	15年	15年
長崎県	福江市	11～02	北西	3.5	10年	7年	5年	5年
長崎県	西彼町	夏:6～8 冬:12～2	夏:南 冬:北	不明	5年	5年	永	永
熊本県	熊本市	01～02	北西	2	8年	9年	25年	15年
熊本県	本渡市	01～04	西及び 北西	2.77	8年	8年	不明	不明
大分県	大分市	12～02	南	3	8年	5～6年	7～8年	7～8年
宮崎県	日向市	06～07	南及び 東南東	1.5	5年	8.4年	15年	15年
鹿児島県	阿久根市	11～03	北西及び 北東	1.0	10年	6年	不明	不明
鹿児島県	西之表市	12～03	北西	1.2	7年	10年	不明	不明
鹿児島県	上屋久町	11～03	北西	4.9	4年	6年	5年	6年
鹿児島県	名瀬市	12～03	北及び 北西	1.0	5.94年	6年	6年	4.5年
鹿児島県	大和村	11～02	北北西	10～20	5年	6年	10年	10年
鹿児島県	宇検村	12～03	北西	1.5	5年	7年	7年	5年
鹿児島県	瀬戸内町	11～03	北西	1.5	6～7年	5年	10年	不明
鹿児島県	住用村	07～10	南東	1.5	6年	8年	10年	10年
鹿児島県	龍郷町	10～02	北	1.0	7年	7年	10年	5年
鹿児島県	笠利町	11～03	北西	1.0	6年	6年	6年	4.5年
鹿児島県	喜界町	12～03	北北西	3	5年	6年	15年	7年
鹿児島県	徳之島町	12～03	北	1.3	5年	5年	10～15年	10～15年
鹿児島県	天城町	12～03	北西	1.3	6年	6年	10年以上	5～10年
鹿児島県	伊仙町	12～02	北東	1.0	10年以上	10年以上	10年以上	10年以上
鹿児島県	和泊町	10～03	北北西	6	7～8年	7年	10年以上	10年以上
鹿児島県	知名町	11～03	北	1.5	6年	8年	15年	3年
鹿児島県	与論町	11～03	北北西	7～15	5年	4年	2～15年	3～10年
沖縄県	那覇市	10～02	北西	4.68	10～12年	5年	17年	10年
沖縄県	平良市	12～02	北	110～13	10年	8年	8年	6年
沖縄県	石垣市	10～12	北	3.2～	5年	7年	7～10年	3～4年
沖縄県	竹富町	09～04	北北東	5～6	10年	5年	20年	20年

市町村名	3 台風被害の状況					
	平成2年度		平成3年度		昭和61年度	
	時期	被害の状況	時期	被害の状況	時期	被害の状況
小松島市	7月	床上浸水17戸、床下456戸	8月	床下浸水9戸	8月	床上浸水22戸、床下95戸
	9月	同7戸、同121戸				
	10月	同116戸、同600戸				
高松市	8/22	災害救助法の適用なし	8/26-27	災害救助法の適用なし		
	9/14-20		9/19			
	10/6-8					
	11/29-30				10/15-17	半壊1戸、床上浸水1790戸、 床下浸水6860戸、 河川、道路、橋、農作物等被害
八幡浜市	8/22	全壊1・一部壊1戸、床下浸2戸	9/19	一部壊1戸、床上浸6・下47戸	8/26-27	民家裏山崩壊
	9/19	梁出・樹木被害		梁出被害、道路損壊	8/30	梁出被害
高知市	8/21-22	農林・土木施設等被害、停電	9/19	農林・土木施設等被害等	6/23-25	床下浸24戸、農・土施設被害
	9/17-19	一部壊1戸等、停電、電話不通			7/15-17	床下浸2戸、農・土施設被害
	10/6-8	道路冠水、崖崩れ			10/16-17	農林施設被害
宿毛市	8~10月	一部壊76戸、床上浸9戸、 床下浸82戸、農・土施設被害	7~9月	床上浸4戸、床下63戸、 農・土施設被害	8~9月	農・土施設被害
福岡市	8~9月	被害なし	6~7月	被害なし	7~8月	一部壊136戸、停電、電話不通 軽傷12人、農作物被害
唐津市					8/30-31	半壊1戸、一部壊61戸、 公共施設一部壊108戸
福江市			夏期	一部壊20戸、床下浸5戸、 公共施設等被害、農産物被害		
					夏期 (2)	重軽傷10名、文教施設等被害 全壊19、半壊132、一部壊3994 床上浸17、非住家被害782戸
西彼町			7~9月	一部壊23戸、床下浸11戸、 負傷11人、道路河川損壊等	7~9月	全壊1戸、一部壊500戸等
熊本市			6/24	被害なし	7/15	被害なし
本渡市			7/28-29	一部壊4、床上浸1・床下67戸		
大分市	9月	農・林業被害、河川関係被害	7月	農業被害、河川関係被害	7月	農・林業被害、河川関係被害
	10月		10月		8月	住家被害59戸、非住家2戸、 文教関係29施設
					10月	
日向市	9/16-19	土木40施設、電・通信23施設	7/27-28	電・通信4施設、林道3カ所、	8/8-9	被害なし
	9/27-29	農業関係17施設、農作物被害	8/26	農業関係10施設、農作物被害		
	10/5-8	教育施設等被害			7/15-20	土木31施設、電・通信44施設
	11/29-30				8/30-31	農業関係6施設、農作物被害 林道4カ所、全壊1戸、半壊1戸
阿久根市	9/18-19	農作物被害、公共施設被害	7/28-29	全壊1戸、一部壊・床上浸10戸 床下43戸、農作・公施設被害	8/30-31	農作物被害
	10/7-8					
西之表市	9月	公立文教施設・土木施設被害	7月	公立文教施設・土木施設被害	7月	公共土木施設・農作物被害
	10月(2)	農作物被害	9月	公共建物・農作物被害	8月	
					9月	

市町村名	3 台風被害の状況									
	平成2年度		平成元年度		昭和63年度		昭和62年度		昭和61年度	
	時期	被害の状況	時期	被害の状況	時期	被害の状況	時期	被害の状況	時期	被害の状況
上屋久町	9~10月	住家被害18戸、農・水産被害 (3) 公共土木・農林水産施設被害	9月	住家被害49戸、農・水産被害 公共土木・農林水産施設被害			9~10月	漁港・公共土木施設被害 農産物被害		
名瀬市	9月(2)	全壊42戸等住家被害全919戸 農林・土木、水道等被害	8月	農林水産、公共施設等被害			8月	全壊1戸、半壊1戸等	7~8月	農林水産、公共施設等被害
大和村	9月	半壊1戸等								
宇換村	9月	家屋半壊、床上浸水等被害								
瀬戸内町	9月	死傷者18名、全半壊72戸 床上・下浸710戸、公施設被害	6月	床上・下浸水、公共施設被害					7月	床上・下浸水、公共施設被害
住用村	9/18	重軽傷5名、全3・半壊等52戸 床上・下浸279戸、公共施設等 被害、農林水産関係被害	7/1	農林水産等被害					7/16	被害なし
龍郷町	9/18	全壊3戸、半・一部壊208戸、 床上下浸36戸、公共施設等被害 負傷者2名								
笠利町	9月	住家全壊、半壊、一部損壊 公共施設、農産物被害	7月	公共施設、農水産物被害	10月	農産物被害	8月	公共施設、農産物被害	7月	公共施設、農産物被害
喜界町	夏期(5)	全壊241、半壊143、一部壊187 戸、電話不通、停電	夏期(7)	被害なし	夏期(6)	被害なし	夏期(5)	被害なし	夏期(5)	被害なし
徳之島町	9/18-19	一部損壊54戸、半壊22戸							8/25-26	一部損壊7戸
天城町	9月	一部損壊20戸					8月	全壊15、半壊8、一部壊49戸		
伊仙町	9~10月	全壊16、半壊21、一部壊29戸 (2)			6月	農作物被害			7~8月	全壊2、半壊3、一部壊14戸 (2)
和泊町	8~11月	全壊1、一部壊29戸 (5)	6~9月	床上浸水6戸 (7)	6~10月	農作物被害 (6)	8~10月	全壊1、一部壊9戸 (2)	7~8月	被害なし (2)
知名町	9~10月	住家被害、非住家被害 (3)	8月	被害なし	10月	被害なし			7~8月	住家被害、非住家被害
宇論町	9~10月	住家一部損壊、農作物等被害 (2)	7~9月	農作物被害 (3)	7~9月	農作物被害 (3)	8~10月	住家一部損壊、農作物等被害 (2)	8月	住家一部損壊、農作物等被害
那覇市	8/29	床上浸水2戸			10/6-7	住家被害5戸	8/29-30	住家被害28戸、負傷者3名	8/25-27	住家被害1戸、農産物被害
	9/16	床上浸水1戸、公文教施設被害								
	10/5	住家被害5戸、停電、 公文教施設被害								
平良市	6~10月	農作物被害 (6)	6~10月	農作物被害 (5)	6~10月	農作物被害 (5)	6~10月	農作物被害 (2)	6~10月	農作物被害 (5)
石垣市	5~9月	全壊2、半壊1、一部壊3戸 (7) 床上浸水9、床上31戸	7~9月	被害なし (5)	6~10月	床上浸水3、床上14戸 (2)	7~8月	被害なし (4)	5~11月	被害なし (5)
竹富町	5~9月	全壊1、半壊1、一部壊1戸 (7) 床上浸水1戸、非住家被害、 公共文教施設被害	7~9月	被害なし (5)	5~10月	公共文教施設被害 (2)	7~8月	床上浸水2戸、非住家被害 公共文教施設被害 (2)	5~11月	被害なし (5)

様式1

建物の潮風被害に関する状況調査

記入期日：平成3年 月 日

1 建物の概要について記入して下さい。

① 所在地			
② 用途		構造	
③ 建床面積	㎡	④ 延床面積	㎡
⑤ 階層数	階建	⑥ 建築年次	昭和 平成 年
⑦ 固定資産 評価額	千円	⑧ 再建築費 評点数	点
⑨ 損耗減点 使用状況	有 ・ 無		
⑩ 防風林の 有 無	有 ・ 無	⑪ 防風塙の 有 無	有 ・ 無
⑫ 季節風による 波しぶき状況	かかる ・ ときどきかかる ・ かからない		

2 現在、家屋の外装部分に生じている損傷について記入して下さい。

(1) 屋根

部 分	方 位	仕 上 形 式 等	階 層	範 囲	損 傷 の 程 度
棟			階		
屋根面			階		
軒			階		

(2) 基礎

部 分	方 位	仕 上 形 式 等	範 囲	損 傷 の 程 度
基 礎				

(3) 外壁

部 分	方 位	仕 上 形 式 等	階 層	範 囲	損 傷 の 程 度
上 部					
中 間 部					
下 部					
窓 回 り					
出 入 口 回 り					

(4) 外部建具

部 分	方 位	仕 上 形 式 等	階 層	範 囲	損 傷 の 程 度
窓					
出 入 口					
雨 戸					
網入ガラス					

(5) その他の部分

部 分	方 位	仕 上 形 式 等	階 層	範 囲	損 傷 の 程 度
軒 樋					
た て 樋					
戸 袋					
台所換気扇 フード					
床下換気口 金 物					
屋 外 設 置 設 備 機 器					
そ の 他 ()					

3 当該地域において、一般的に行われている建物の保全方法を箇条書で記入して下さい。

•
.....
•
.....
•
.....
•
.....
•
.....
•
.....
•
.....
•
.....

4 建物建築から現在までに「補修、交換等の工事」が行われた場合に記入して下さい。

部 分	工事年次	補修、交換等工事の概要
屋 根		
	
	
外 壁		
	
	
建 具		
	
	
その他		
	
	

(3 / 3)

補 足 調 査 表 (団体記入用)

県 名	県	市町村名	
-----	---	------	--

1 季節風について

季節風の吹く期間	月 ~ 月
季節風の吹く方位	
季節風の風速	約 _____ m/sec

(記入要領)

- ・ 「季節風」とは、一般的に、広域にわたりその季節に高い頻度で吹く風をいう。
- ・ 「季節風の吹く期間」欄には、当該団体において季節風が確認される期間を記入すること。
- ・ 「季節風の吹く方位」欄には、当該団体における方位を記入すること。(例：北西)
- ・ 「季節風の風速」欄には季節風の平均風速(秒速)を記入すること。

2 台風による被害の状況について

年 度	時 期	回 数	被 害 の 状 況
平 2			
平 元			
6 3			
6 2			
6 1			

(記入要領)

- ・ 各年度における台風による被害の状況について記入すること。
- ・ 「被害状況」欄には、台風により当該団体が受けた被害について箇条書で記入すること。

3 その他

(1) 自動車の平均寿命について

公 用 車	約 _____ 年	普通乗用車	約 _____ 年
-------	-----------	-------	-----------

(2) ガードレール及び道路標識の一般的な交換サイクルについて

ガードレール	約 _____ 年	道路標識	約 _____ 年
--------	-----------	------	-----------

(記入要領)

- ・ (1)には、貴市町における公用車及び普通乗用車の一般的平均寿命、即ち買い換えの時期を記入すること。
- ・ (2)には、貴市町が管理する道路のガードレール及び道路標識の交換の時期(交通事故等の特殊事情を除く)を記入すること。

別 添

〔記入上の注意〕

この調査は、家屋の潮風における被害の状況について、特に対象とする地域を限定し実施するものです。

調査表の記入に当たっては、次に該当する建物を選定のうえ、記入要領に基づき各建物毎に記入して下さい。

また、貴市町管内の図面（25,000分の1）に選定した建物の位置を記入し1部添付願います。

なお、必要に応じて調査表に番号を付す等、各建物が区別できるよう明示して下さい。

〔対象建物〕

対象とする建物は、沿岸から5km以内に在する木造建物（住宅用）及び非木造建物（但し、鉄骨造及び鉄筋コンクリート造で工場、倉庫用建物を除いた500㎡未満の建物とすること。）のうち建築後1～5年、6～10年、11年以上経過したものの3区分毎に、沿岸から2km未満の建物及び2km以上5km以内の建物で、木造にあっては各1棟、非木造にあっては各2棟をそれぞれ選定することとし、2km以内の建物を選定するに当たっては、より沿岸に近いものを選定すること。よって、合計18棟を選定することとなること。

〔記入要領〕

○ 記入期日について 記入した月日を記入すること。

○ 1 について

- ・ ①「所在地」欄には、当該建物の住所を記入すること。
- ・ ⑦「固定資産評価額」欄には、平成3年度の台帳登載価格を記入すること。
- ・ ⑧「再建築費評点数」欄には、平成3年度の評価替えにおいて算出された再建築費評点数を記入すること。
- ・ ⑩「損耗減点の使用状況」欄には、当該建物の評価における損耗減点補正率基準表の適用についてその有無を記入すること。
- ・ ⑫「防風林の有無」欄において、「防風林」が設置されている場合でも、その効果が十分に受けられる区域にある建物のみ「有」とし、その他については「無」とすること。なお、「防風林」には、森林法（昭和26年法律第249号）第25条第1項第5号の規定に基づくものと目的を同じくするもので、個人が植林し、かつ、その効果が十分に期待されるものも含むこと。（参考：「防風林」とは、一般的に、風の強い地方で、後方の地帯を風害から保護する目的で設けられる狭長な林帯をいう。）
- ・ ⑬「防風塀の有無」欄には、「防風林」と目的を同じくするものとする。
- ・ ⑭「季節風による波しぶき状況」欄には、季節風による波しぶきが建物にかかるかどうかについて、該当するものに○を付すこと。

○ 2 について

- ・ この項目は、特にその損傷が著しく現れている部分について記入すること。
なお、損傷がない場合においても、当該部分の「仕上げ形式等」「材料種類」欄は記入すること。
- ・ 「方位」欄には、建物の中心部分から当該部分への方位を記入すること。（例：北西）
また、全面とも同様の現象が現れている場合は、当該欄に「全面」と記入すること。
- ・ 「仕上げ形式等」欄には、その形式及び資材等を記入すること。（屋根の例：亜鉛鉄板・平葺、基礎の例：布コンクリート基礎・有鉄有り、外壁の例：土塗真壁・漆喰仕上げ）
- ・ 「階層」欄には、当該部分が建物の何階にあるかを記入すること。
- ・ 「範囲」欄には、具体的に限定した範囲を記入すること。（屋根の屋根面部分の例：下側の1/4程度）

- 「損傷の程度」欄には、部分別損耗減点補正率基準表における損耗状況の表現を使用する等、簡潔に記入すること。（屋根の例：亀裂が見られる。）
 なお、(1)から(5)の各部分毎に「損傷の程度」が特に顕著に見られる箇所について、その状況がわかる写真を添付すること。
 - (4)「その他」欄には、ベランダ、バルコニー等該当するものがあれば()内に名称を記入すること。
- 3 について
- 「…建物の保全方法…」は、建築前及び建築後の方法について記入すること。なお、両者の方法がある場合は、区別できるように分類して記入すること。
- 4 について
- この項目は、調査表を記入する者が当該建物所有者への聞き取り調査を行い、建物建築から現在に至るまでのすべての工事について、把握できる範囲で記入すること。よって、一つの部分で数回工事を行ったときはそのすべてを記入すること。
 - 「工事年次」欄には、建物建築から工事までの経過年数を記入し、不明な場合にあっては、「経年〇〇年位」と記入すること。
 - 「補修、交換等工事の概要」欄には、当該工事を行った理由及びその内容について具体的に且つ箇条書きで記入すること。

